

豊津のあゆみ

豊津地区まちづくり委員会10周年記念誌



昭和30年代撮影



一の鳥居 平成25年撮影

写真提供 飯島 昌寿 氏

豊津地区まちづくり委員会10周年記念誌

挨拶 発刊にあたって 豊津地区まちづくり委員長 飯島 亘隆
 挨拶 過去からの積み重ねとまちづくり 豊津まちづくりセンター長 高安 広子
 祝辞 鹿嶋市立まちづくり市民センター長 小堀 一様

歴代まちづくり委員長 センター長就任時あいさつ（とよつだよりより抜粋）
 初代委員長 額賀 富雄 ・ 2代目委員長 君和田 元浩
 初代センター長 石上 方雄 ・ 2代目センター長 薄井 正夫

目次（第1章～第4章）

第1章	沿革と現況（公民館の発足と「まちづくり委員会」の誕生）	
	はじめに	
	鹿嶋市の概要 豊津地区の概要 公民館の実態	1
第1節	沿革	
	昭和21年、「文部次官通牒」により公民館運動の設置奨励。 豊津小学校に併設。平成7年現在地移転。平成15年「協働の まちづくり」の市総合計画により「まちづくり委員会」が発足。	7
第2節	現況	
	平成26年度活動方針・委員会の構成・組織図・事業計画・ 事業実施一覧・委員名簿・会則	10
第2章	事業の推移	
第1節	各年度別事業報告（平成16年度～平成25年度）	18
第2節	主な事業と発足の経緯	
1	タスキを渡し続けて（1983年～2014年）	箕輪 礼子 様 28
2	忘れられない「とよつふれあい運動会」の道のり	石上 方雄 様 30
3	「とよつ親子かるた」読み札の編集回顧	青山 敏男 様 34
4	「とよつキッズ」で子どもも大人も元気に！	大川かつ子 様 38
5	地域の皆様と共に	本宮 和子 様 40
第3章	とよつまちづくりセンターだよりからみる10年のあゆみ（第1号～第31号）	
	42～104	
	参考資料 公民館だより第1号（抜粋）初代公民館長 君和田源一 氏	105
第4章	豊津の姿（資料編）	
1	豊津地区内の文化財（鹿嶋市の文化財第137集より）	107
2	年代別人口構成の推移	120
3	豊津小学校の沿革・豊津村沿革史碑の全文	124
4	豊津地区歴代区長名簿	126
5	歴代まちづくり委員会役員・公民館職員名簿	127
あとがき	10周年記念誌編集後記	130

発刊にあたって



豊津地区まちづくり委員長 飯島 亘隆

「豊津地区まちづくり委員会」（以下＝本委員会）は発足から11年を経過しました。本委員会の設立は平成15年ですが、初年度は準備・設立の段階であり、地域に運営を任された現在の「地域管理型」に移行して丁度10年を経過しました。

10年間の経緯を記録に残し、今後の活動の糧になればと記念誌の刊行を計画しました。なお、本委員会の事務局は、「豊津まちづくりセンター」ですが、当該センターは「豊津公民館」と二枚看板であり、鹿嶋市等が刊行した印刷物の宝庫でもあります。印刷物は予算の関係で市民全員には届かず、関係者に配布して「後世の資料」としたものと思慮します。そこで記念誌の構成方針としては、1. 本委員会10年の経緯、2. 本委員会の長兄とも言うべき「豊津公民館」の歴史、3. 豊津地区の大切な資料、としました。

次に作成方針としては

- (1) 手作りである。
- (2) 全戸に配布する。
- (3) 長年利用できる。

(1) は、当然経費の問題です。一般的には、募金により経費を賄い業者に委託する方法ですが、「金を出さずに、知恵と汗を出す」方法を選択しました。文字打ちや、印刷・製本等の一連の作業を編集委員と奉仕者の作業に委ね、経費は鹿嶋市からの「委託金」の一部を充ててきました。

(2) は、ともすれば役員等の一部関係者に配布する傾向にありますが、住民全戸への配付により、地域認識の共有を図る資料としました。豊津地区が鹿嶋市内で最も少ない戸数であることが幸いしています。

(3) は、地区公民館には仕事遂行上の資料や関係機関の刊行物が多数あり、住民に有意義と思われる資料を選抜・掲載し、本記念誌が末永く活用されるようにしました。

本誌の内容は数回の編集会議で検討しましたが、内容の多さ（まちづくり10年の記録と豊津の資料）と紙面の制約（手作りのため紙数に制限がある）に苦労しましたが、有能な編集委員が「幾多の記憶から一片の記録」を編纂してくれました。しかし、時間と紙面の関係上から割愛したものも多数あります。今後は「記念誌の記録集」として、後世に引継ぎ、何時の日か貴重な資料として活用されることを望みます。

刊行自体や編成内容も初めての試みであり、見直せば欠陥・不備・欠点は多々あると思います。先輩各位の忌憚のないご意見をいただき、今後の事業に生かしたいと思います。

最後に、本誌の作成に直接携わった方々、貴重な助言をいただいた地域の先輩諸氏にお礼を申し述べ、今後とも「地域（まち）づくり」事業への発展にご支援とご協力をお願いし、発刊の挨拶とします。

過去からの積み重ねとまちづくり



豊津まちづくりセンター長 高安 広子

豊津公民館の非常勤主事！今から30数年前、20代後半の未熟な私は、何もわからず勧められるままにこの仕事を受けてしまいました。

当時、公民館の建物も部屋も無く、主に豊津小学校の図書室を借りて事業を行なっておりました。和室向きの「着付け教室」などは大船津のお寺で、そして、爪木田園都市センターを借りて、運営委員会を兼ねた懇親会もあり、盛り上がった語らいの中で長老の方の「何事も社会教育、何事も・・・」など楽しかったひとときが思い出されます。また、その頃（昭和57、8年）の私は子どもたちも小さく、子育て真っ最中で、小学校の校庭に子どもたち（近所の子も）を遊ばせ、自分は校舎で仕事という“子連れ主事”の日も多くありました。それを寛容に見ていてくださった館長さん、職員さん（中央公民館兼務）、学校の先生方、地域の皆様の温かさをいただきながらの4年間でした。

歳月は流れ、平成7年4月、待望の館「豊津地区公民館」が竣工し、当時としてはめずらしくお風呂も設置され、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人々が集う公民館がオープンしました。

その2年後？の住民体育祭は、地区が団結して「仮装行列」を実施し、あの時の人々のエネルギーは「豊津の勢い！」そのものでした。今思えば、やがて開催された豊津小学校との合同運動会への胎動だったのでしょうか。

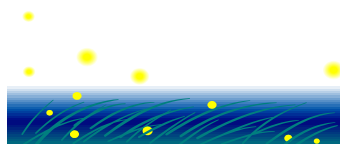
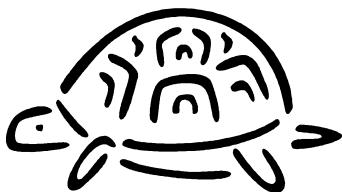
そして、平成14年、新鹿嶋市総合計画を進める基本姿勢として、「協働のまちづくり」が打ち出され、平成15年には、これまでの組織名称だった「公民館運営委員会」が「まちづくり委員会」に変わり、組織としてはそのまま「まちづくり委員会」にすべらせたかたちで、翌、平成16年4月にその活動がスタートしました。

職員主導ではなく、住民主体のまちづくり、地域課題の把握、事業の評価などを意識しながら、豊津は「ゆっくり“亀さん”の歩みで地域全体を考えたまちづくり事業に取り組もう！」と。そして、牽引役になってくださった役員さん方の、まちづくりに対する理解の深さに頭が下がりました。そして、地域の人々が一緒に歩んでくださった活動の中で、協働の意義についての住民意識の向上も図られたように思います。

これからも地域の特色を生かした水辺の環境保全や、緑の田園風景を眺めながら安心して暮らせる地域づくり、健康づくりなど、豊津は何に向かっていくのかを考えながら、ある時には肩の力を抜いたりしながら、歩んでいきたいものです。

また、まちづくりセンターとしては、誰もが（赤ちゃんから高齢者まで）気楽に憩える空間としての居場所的な役割も必要ではないでしょうか。

私は、若い頃から地域の皆さんに支えられ、育てていただきました。これからの人生、精神面、身体面でどんな状況になっても、心の奥底に生かされている幸せを見つけてつつ、日々暮らしていきたいと思っております。ありがとうございました。



祝 辞



鹿嶋市まちづくり市民センター
センター長 小堀 一

豊津地区まちづくり委員会 10周年記念誌発刊、誠におめでとうございます。

これまでの足跡を綴る記念誌が発刊されますことは、実に意義深く、心からお慶びを申し上げます。

発足当時は新鹿嶋市総合計画に沿って、協働のまちづくりを推進するため市職員で管理運営していた公民館を、地区の公民館は地域の皆さんの運営でおこなう地域管理型に移行することとなりました。

そして、時を同じくして公民館の事業や活動の企画立案などをおこなうためにまちづくり委員会が発足をしたと思います。それから早いもので、まちづくり委員会活動も10年が経過しました。

十年一昔といわれますが、豊津地区まちづくり委員会がおこなってきた事業は数多くあると思います。中でも代表的なものとして「とよつまつり」「とよつふれあい運動会」があります。それに加え霞ヶ浦浄化キャンペーンの一環として取り組んでいる、「北浦一周サイクリング事業」は今年で32回目を迎えたとのこと。まちづくり委員会が発足前からの事業をこのように受け継がれているということは、歴代役員さんの思いがこもった事業ではなかったのではと推察いたします。

そして、「とよつふれあい運動会」は、児童数が減少している小学校と地区住民が一緒になっておこなっている運動会で、子どもたちと地区住民との絆をよりいっそう深め、むすび合えるすばらしい事業だと思っています。

このような子どもたちと地域の方々がむすび合える事業は、永くまちづくり委員会の事業として、次世代に受け継いでいって欲しいと願っています。

また、豊津地区は北浦の湖岸に面し、水と緑に囲まれたすばらしい環境と地域の特色を活かした事業として、水に関する環境保全学習や浄水場等の視察研修をおこない安心、安全に暮らせる地域づくりに取り組んでいると伺っております。このような子どもたちと大人が学べる事業を、まちづくり委員会でバックアップしながら大切に育てていただきたいと思います。

結びになりますが、豊津地区まちづくり委員会 10周年記念誌発刊にあたり、大変なご尽力をいただいた豊津地区まちづくり委員会の皆様及び関係各位に、ご慰労と深い感謝を申しあげ、お祝いの言葉といたします。

豊津地区まちづくり委員会 10年を振り返って —とよつだよりより 委員長就任のあいさつ文を抜粋—

平成16年6月1日発行 第1号より（初代委員長 額賀 富雄氏）



豊津らしいまちづくり

豊津地区の田園風景も一面の青さの中から、かえるの聲が聞こえてくるこの頃です。こんなのどかな郷にまちづくりとは、のどかな地域にあった豊津らしいまちづくり、ふる里づくりをするのかなと思います。

4つの専門部に分かれて、豊津らしい地区まちづくりをしようと、各専門部部長さんを先頭に第1回の専門部の会議を設定し、一年間の方針とか行事計画を協議しいよいよスタートという感じであります。

専門部は

- 1 地区まちづくり
- 2 スポーツ健康づくり
- 3 広報記録
- 4 福祉環境

以上4部門です。

各専門部の委員さん、部長さん、それに公民館の主事の皆さんが、協働のまちづくりについて「俺たちがやらなければ、俺たちのまちなのだから」という意気込み、活気を感じる第一回の会議でした。

豊津のまちづくりを完成させましょう。

豊津の皆さんのご協力をお願いします。



平成19年6月1日発行 第11号より（2代目委員長 君和田 元浩氏）



まちづくり委員会 2代目委員長挨拶

鹿嶋市の掲げる「協働のまちづくり」を目指して発足した豊津地区まちづくり委員会も、今年度で4年目を迎えました。

平成19年度も4つの専門部（スポーツ健康づくり専門部・地域環境専門部・文化福祉専門部・広報記録専門部）を中心に、先月初めに配布された平成19年度 豊津まちづくり委員会事業計画に基づき、地区住民の方々の協力を得ながら活動を展開していきたいと考えております。

まちづくり委員会事業は、できるだけ多くの方に、活動内容を知ってもらおうと同時に、関心を示してもらうことにより、楽しく充実した時間を過ごせることが一番だと思っています。3年間の活動実績を参考にしながら、今まで以上に充実した事業となるよう努めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をお願い致します。



豊津地区まちづくり委員会 10年を振り返って ーとよつだよりより各センター長の就任のあいさつ文を抜粋ー

平成16年6月1日発行 第1号より（初代センター長 石上 方雄氏）



新しい時代の地域づくりをめざして

まったくの素人の私が地域の皆様に推され、大役をお引き受けいたしました。早2ヶ月が過ぎようとしております。

週3日の勤務体制も、ふと気がつけばほとんど毎日。その職務の重さを改めて痛感しながら、地区住民の皆さんの幸せづくりのため気持ちも新たに歩みだしたところです。

私たちの公民館も、活動および人づくりの拠点である館ができて9年目を迎え、16年4月より地域管理型、協働のまちづくりへとその姿が大きく変わりました。

これまでの経験や能力を活かし住民一人ひとりが主役となりお互いに「集い、学び、結び場」としての関係を深め常に皆さんと話し合いを持ちながら、地域の課題に取り組んで参ります。

公民館は地域の皆さんの学習の場、また心のやすらぎの館としてスポーツ、レクリエーション、まちづくりに関する講座等のさまざまな活動を通して地域住民の親睦と融和を図りながら、誰からも親しまれ、愛され、そして皆さんが気やすく来られるような、ふだん着の公民館を目指します。

一人ひとりの英知を結集した新しい時代の、新しい地域づくり実現のため惜しみないご指導、ご協力を心からお願い申し上げます。



平成20年6月1日発行 第14号より（2代目センター長 薄井 正夫氏）



さらなる前進を

このたび、地域の皆様から推薦を頂き、若輩の私がセンター長という大役を引き受けることとなり、その職責の重さを痛感しておりますが、地域の皆様と一緒にまちづくりセンターの役割を果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします

センター（公民館）も、平成16年4月から「地域管理型、協働のまちづくり」へと大きく変わり4年が経過いたしました。この間、地域の皆様、まちづくり委員の皆様、石上前センター長が、協力し合いながら「集い学び、ふれあいの場」としての活動を行い、また地域の課題等に取り組み、まちづくりが進められてきました。

本年度は、この4年間の活動実績を踏まえ更なるまちづくりを進めてまいりたいと考えています。まちづくりセンター（公民館）は、地域の皆さんの学習の場として、健康づくり、また心の安らぎの館として、地域づくり等のさまざまな活動を通し、地域住民の親睦と融和を図りながら、誰からも愛され、そして皆さんが気安く来られるようなセンター（公民館）を目指して行きたいと思っております。

一人一人の力を結集した新しい地域（まち）づくり実現のため、ご指導ご協力を心からお願いいたします。





第1章 沿革と現況

はじめに

1. 鹿嶋市の概要

鹿嶋市は、首都東京の東、約80km、茨城県のほぼ東南端に位置しています。面積は、約106km²。太平洋に面しているため、黒潮の影響を受けて、四季を通じて温暖な海洋性の気候です。夏冬の気温差が少なく、およそ夏の平均気温は長野市と、冬の平均気温は熊本市と同じで、降雪はほとんどありません。

鹿嶋・首都東京間はJR鹿島線、東関東自動車道（東関道）ともに約2時間で結ばれ、空の玄関・成田国際空港からは東関道で約30分の距離にあります。



Jリーグ鹿島アントラーズの誕生と活躍をきっかけに、ホームタウンとなった5町村に地域の一体感が強まり、やがてホームタウンの中核である鹿島開発の対象となった3町において、30年来の課題となっていた広域合併論議が再燃する中から、鹿島町と大野村が先行合併する形で、平成7年9月1日、鹿嶋市が誕生しました。

平成14年に開催された2002 FIFAワールドカップ日韓大会（「2002 W杯」）の国内開催地の一つとして、市民による手づくりのホスピタリティで高い評価を得た経験をベースに、「市民協働」をまちづくりの基本姿勢として、スポーツを柱の一つに据えて交流のまちづくりを推し進めています。



鹿島地方は古来、大和朝廷の東国経略の拠点として重要な地政を占め、常陸国一の宮・鹿島神宮を中心に栄えてきました。

千葉県香取市の香取神宮と並んで、鹿島神宮の祭神・武甕槌命（たけみかづちのみこと）に象徴される、文字通り武道発祥の地であり、室町後期には、剣聖・塚原卜伝（ぼくでん）や松本備前守尚勝が世に出て、一層“武の里”の名を高めました。

幕末には、鹿島神宮のかなめ石が地中で地震を起こす大鯰の頭を押さえているという言い伝えから、安政の大地震（1855年）をきっかけにして、錦絵じたての風刺画「鯰絵」が大流行しましたが、やがて復興で巨利を手にする資本家や黒船来航で混乱する幕府への辛辣な風刺に転じたために取締りを受け、急速に姿を消していくことになったのです。また、伊勢神宮の宮司をつとめ、神宮皇学館大学の前身となる学問所を創始する尊皇家・鹿島則文が大宮司家に生まれ、明治維新にいたる思想形成にも大きな影響を与えました。



産業的には半農半漁の町であった鹿島が大きな転機を迎えたのが、昭和30年代後半に茨城県によって始められた鹿島開発です。

交通の不便さから陸の孤島といわれた鹿島地方に、「貧困からの解放」「農工両全」をスローガンに掲げて、港湾の築造と臨海部への工業団地の造成、市街地形成と農業団地の造成等を柱とし、30万都市建設を目標に巨大開発の波が押し寄せました。これにより、対象となった鹿島、神栖、波崎（現鹿嶋市・神栖市）の三町は大きく姿を変えることになりました。

全体的には、鉄鋼や石油などの基礎素材産業を中心にした重化学コンビナートが港湾部に張り付き、これまでに150社を超える日本を代表する企業が立地しています。そのうち鹿島町（現鹿嶋市）には、住友金属工業（現「新日鉄住金」）を中心に、鉄鋼をメインとする製造業種が進出してきましたが、コンビナートの中心部は港の大半を擁する神栖町（現神栖市）になりました。

いずれにしても、これにより千古の歴史と近代技術の粋という二つが、鹿嶋市の新しいイメージとなったのです。



2. 豊津地区の歴史と概要（「鹿島町史」、「鹿嶋市史」を参考とした）

豊津の名称は明治22年の町村大合併により誕生した豊津村に始まる。豊津村は旧爪木村、旧大船津村、旧鹿野村の新田地区からなる。鹿野村の一部が編入したのは、現在の豊津地区が地形、産業構造等が類似していたとの説が有力である。

爪木畧誌（第14 豊津村長 君和田源司氏が「公民館だより」に寄稿）によると、爪木とは「指先で折り集め得る柴の薪」とある。また、同誌によると爪木部落は岡町に始まり、谷原町、原町と漸次開けたと推測している。なお、爪木の鎮守の石段は21であり、これは最初に爪木地区に移住した戸数に由来するとの説もある。

豊津郷土史（元豊津村公民館長 大川渉氏が「公民館だより」に寄稿）によると、大船津の起源は当時この地方を統治していた大掾氏の故ある者が古屋（現南町）を開拓したと推察している。その後、「流川」流域に移住した者が此处を古い家即ち古屋（古屋氏）と呼ぶ様になったとある。大船津は最初「川島」とよばれた。これは、当時の流川は現在の本流の外に幾つかの支流があり、川の中の島であるから、川島と呼んだ。その後、船戸、大船戸、大船津と変遷したが、川島、船戸、大船戸と呼ばれた期間は短く、大船津の名称になって久しい。

新田とは「広辞苑」によると、「新たに開墾した田地。特に江戸時代のものをいい、中世以前には墾田という」とある。大船津新田は等高線の2mと3mの間に道路を設け、上側を主として居住地をとり、道路と北浦の間は水田開発とした。なお、鹿嶋市内には大船津新田以外に新田の付く地名がないので現在は単に新田と呼ぶ。

第61代朱雀天皇（931年～946年）の「承平（931年～937年）」中に平園香が常陸の大掾に任ぜられ、その子貞盛・維幹の時代に大掾辺端に築城した「鹿島城」は四百余年継続されたが、天正19年（1591年）に佐竹義宣に滅ぼされた。落城後は大掾家が隆盛時に野に下った「古屋氏」を慕い現在の大船津に移住した者も相当あった様である。

豊津地区は鹿嶋市の西の玄関口に位置し、古来より鹿島神宮の参詣者は地区内大船津に在る「一の鳥居」から鹿島詣でとなり、昭和4年に神宮橋が出来るまでは、船着場（港）として賑わっておりました。人口は約1,600人、世帯数は530戸と鹿嶋市の中では一番小さな地区です。人口比率は、乳幼児と児童で10%と小子化が進み、高齢化率は24.6%と高齢社会です。のどかな田園風景の中で、3世代同居の兼業農家が多い地域です。

図1.7 橋の解体

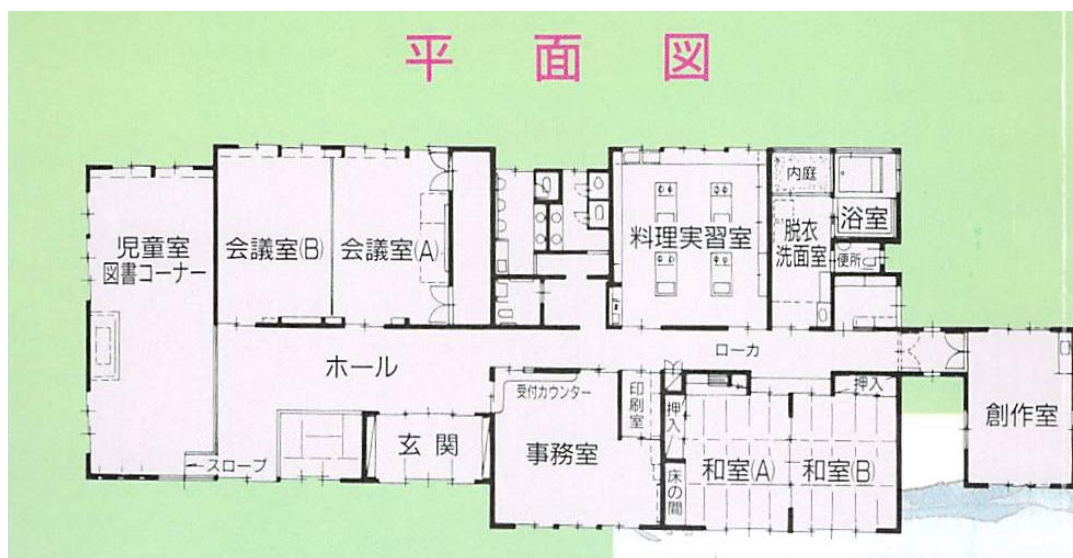


3. 公民館の概要

平成16年4月より鹿嶋市の基本計画に基き、「公民館」に「まちづくりセンター」という施設名称も加わり、地域住民の代表で組織される「公民館運営委員会」も「地区まちづくり委員会」に、そして職員体制も常勤2名、非常勤2名の体制から全員非常勤職員（館長、主事3名）に変わりました。（地区公民館は小学校区に1公民館を基本に設置）

豊津まちづくりセンターの朝は、毎日ラジオ体操から始まります。クロッケーやグラウンドゴルフの練習に集う地域の高齢者も参加し、健康づくりも広まりつつあります。また、週2回、和室はミニデイサービスの空間として高齢者の憩いの場となっています。現在の施設（大船津4277-1外）は、平成6年9月23日に着工し、翌平成7年3月20日に完成しました。豊津公民館は豊津まちづくりセンターとの2枚看板であり、職員は館長以下4名で、全員が両施設の兼務職員です。

施設は木造一部鉄骨平屋建てで施設内は、会議室（72.87㎡）・和室（60.45㎡）・料理実習室（49.69㎡）・創作室（28.98㎡）・児童図書コーナー（69.56㎡）・浴室（9.94㎡）・脱衣洗面室（12.18㎡）・事務室（41.41㎡）・トイレ等のその他（184.92㎡）の合計530㎡です。



施設外は、芝張りのクロッケー場とグラウンドゴルフ場（国安清一さんより無償借地）があります。近隣にある駐車場は、以前に豊津小学校が「水泳用プール」として使用していた跡地を引き続き借地して使用しています。また平成26年5月には、亡き笹本正朔さんが丹精込めて耕していた畑を遺族が鹿嶋市に寄贈され、豊津公民館と地続きに駐車場と豊津キッズファーム用のミニ畑を整備することが出来ました。

鹿嶋市立 豊津公民館



● 概 要

敷地面積／2750.00㎡
 延床面積／530.00㎡
 建築面積／577.18㎡
 構 造／木造一部鉄骨平家建
 着工年月／平成6年9月
 完成年月／平成7年3月
 総 工 費／16,094万円

※この施設は、厚生年金・国民年金積立金
 還元融資により、整備されたものです。

● 案内図



“鹿島の森に響け
 楽しく学ぶ声”

鹿嶋市生涯学習キャッチフレーズ

〒314 茨城県鹿嶋市大船津4277-6
 TEL 0299-83-5680
 FAX 0299-82-9115

● 利用方法

使用申込み

- 使用日の前月1日から5日前までに、使用申請書を提出してください。
- 申込み(電話予約可)は使用日の前月1日から受け付けます。

開館時間

- 午前9時から午後5時まで。ただし、館長の許可を得れば時間の変更ができます。

休館日

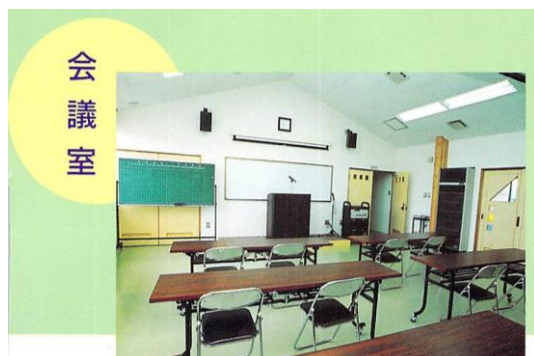
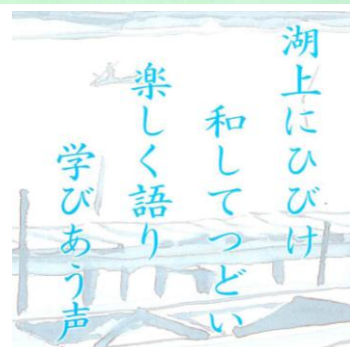
- 毎週月曜日、祝・祭日、年末・年始、その他臨時休館日。

図書コーナー

- 図書の利用・閲覧は自由にできます。

使用にあたって

- 使用前に「使用許可書」を、また、使用後は「使用報告書」を提出してください。
- 看板・ポスター等を提示する場合は、事前に申し出て許可を受けてください。
- 使用した施設・設備は、元通りに片付けてください。
- 使用後は清掃し、ゴミは持ち帰りください。
- その他、使用に際しては職員に問い合せてください。



第1節 沿革（「鹿島町史 第四巻」第五章 社会教育を参考とした）

公民館は、昭和21年7月5日、文部次官通牒「公民館の設置運営について」により設置が奨励された。同通牒の「公民館の趣旨及目的」から抜粋すると、【公民館は全国の各町村に設置せられ、此処に常時に町村民が打ち集って談論し読書し、生活上産業上の指導を受けお互いの交友を深める場所である。それは謂はば郷土に於ける公民学校、図書館、博物館、公会堂、町村集会所、産業指導所などの機能を兼ねた文化教養の機関である。それは亦青年団婦人会などの町村に於ける文化団体の本部ともなり、各団体が相提携して町村振興の底力を生み出す場所でもある。この施設は上からの命令で設置されるのではなく、真に町村民の自主的な要望と協力とによって設置せられ又町村自身の創意と財力とによって維持せられてゆくことが理想である】とある。しかし、その後10年間「豊津公民館」の活動は「鹿島町史」には記載がない。施設も職員も小学校に負うばかりの名ばかりの公民館であったようである。

昭和26年1月23日付で第1号の「豊津公民館だより」（第2章参照）が発行された。そして、「豊津小学校」の沿革誌には昭和31年の社会教育関係事項をみると、学校経営努力事項の五に、社会教育の振興につとめるには（一）青年学級の充実強化（二）PTA活動の促進（三）母親学級の開設（四）新生活運動の推進（五）各種団体との連絡提携とある。

1 町村合併以前（昭和21年～昭和29年9月14日）

終戦後の活動は、青年団や婦人会を中心に展開された。青年団では各種運動競技会・農産物品評会・農民運動の影響のもとでの政治懇談会・弁論大会などが、婦人会では、敬老会・募金運動・料理教室・舞踊などが実施された。（以下略）

これらの活動は、小学校・集会所・お寺などで行われ、公民館活動というよりも住民が自発的にすすめた生活文化活動とでもよぶものであった。昭和24年の社会教育法制定以後、公民館の位置づけが明確にされ、全国的に活動は活発になるが、26年に旧高松村公民館が開設されたが、他はいわゆる看板公民館にすぎなかった。28年には青年学級振興法に基づく青年学級が各地区に小学校を会場として開かれた。

2 町村合併以後（昭和29年9月～平成26年3月）

昭和29年9月15日、町村合併が行われたが、公民館活動については各町村毎のこれまでの活動が継続される形となり、33年、分館・本館体制に移行した。しかし分館は分館長・分館主事のみとなり旧村時代より後退した。青年学級主事は各小学校校長が、分館主事は教頭が兼務し、旧村単位の地域での自主活動は衰退ぎみであった。本館では37年に専従職員が配置され、合同紐解・敬老会・成人式・運動会などを教育委員会職員が公民館職員を兼務する体制で行われた。41年から非常勤の民間人が任命され、44年、45年、46年と組織の改正や職員増があり、本格的な公民館活動の基盤が整備された。また46年には公民館建設が着工して、翌47年4月に完成した。

豊津地区公民館（昭和 33 年からの分館を含む）の昭和 30 年体制は、大川渉館長・小倉太一副館長・君和田源一主事・石津邦夫書記とある。つまり青年学級主事は小学校長が、公民館主事は教頭が兼務していた。33 年の分館体制では、坂本新衛門分館長・石津邦夫主事・岡見保青年学級主事とある。副館長を廃し、教頭・校長が公民館の実務を兼務する体制が続いた。その後、豊津地区公民館も民間館長と教頭が主事を兼務する体制がつづき、昭和 47 年度から 50 年度は小沼温館長、伊藤常雄主事である。昭和 51 年度からは専属の職員 1 名（51～52 年度は成毛あさ、53 年～54 年度は内野典子、55 年～58 年度は高安広子の各主事）が配置された。なお、平成 7 年には現在の「豊津公民館」が完成した。

なお、「中央公民館 10 周年記念誌」から豊津地区公民館職員を抜粋すると、

47. 4～49. 3	館長	小沼 温	主事	伊藤 常雄			
49. 4～51. 3	館長	小沼 温	主事	伊藤 常雄			
51. 4～53. 3	館長	小沼 温	主事	伊藤 常雄	同	田谷 栄近	
				同 成毛 あさ			
53. 4～55. 3	館長	猿田 裕	主事	田谷 栄近	同	内野 典子	
55. 4～57. 3	館長	猿田 裕	主事	小森 一夫	同	高安 広子	
				同 坂本 昌己			
57. 4～59. 3	館長	内野 茂	主事	原田 時男	同	高安 広子	

とある。

3 まちづくり委員会の発足

平成 15 年には「協働のまちづくり」の市総合計画のもと「まちづくり委員会」が発足。翌 16 年度からは館長以下全員が非常勤の職員による「地域管理型」の公民館となった。

「まちづくり委員会」の 1 年目は組織作りであり、実際の活動は翌 16 年度からである。委員会の企画・運営は総会を中心とした地域の総意に基づき決定し、運営は市の助成金と参加者負担金により行っている。なお、施設全体の経費は「市民センター」の予算による。

まちづくり委員会の事務局は「豊津まちづくりセンター」であり、公民館と 2 枚看板であり、職員も全員が「豊津公民館」職員を兼務している。公民館は市主催の事業を、まちづくりセンターは地区独自の事業を実施しているが、施設も職員も同一であるため、現在、地区の「公民館」と「まちづくりセンター」の名称を統一する動きもある。

[注釈一公民館] 出典：『ENCYCLOPEDIA JAPONICA』
大日本百科辞典 ジャポニカー 7（昭和44年2月25日）

第二次世界大戦後につくられた市町村の設置する社会教育のための施設。地域住民の集会所的施設から発達し、公民教育のための教育施設と考えられるようになって、公民館の名称がおこった。そのおもな事業内容は、定期講座の開設・青年学級の開設・検討会・講習会などの開催・体育・レクリエーションなどに関する集会の開催などである。戦後、地域社会復興の拠点として、文部省によって公民館構想が固められた。これが具体化したのが、1946年（昭和21）7月5日の文部次官通達「公民館の設置運営について」である。ここには、住民の社会教育活動のセンターとしての公民館の機能が示されている。この通達によって、公民館設置運動は全国に展開されたが、戦後の物資欠乏の際であったため、独立施設をもたず、単に公民館的活動だけにとどまるものも多かった。そして公民館構想は、1949年の社会教育法に具体化され、その事業・職員・運営審議会の構成などが制度化した。

さらに1959年（昭和34）社会教育法の大改正を機として、「公民館の設置及び運営に関する基準」がだされ、施設・設備・職員などに関する最低基準が示されたが、多くの公民館はこの基準にさえ到達しなかった。全国の公立公民館の連絡組織としての全国公民館連合会（1951結成）は、都市化現象の進展の中で、村落施設であった公民館の近代化をはかるため「公民館のあるべき姿と今日的指標」（1967発表）をだした。これは民間団体としてはじめての公民館構想であり、ここに公民館は生涯教育のセンターとしての役割をになうに至った。なお公民館では、営利事業・政治活動・宗教活動は禁止されている。

[注釈一鳥居] （出典：広辞苑）

神社の参道入口に立てて神域を示す一種の門。左右二本の柱の上に笠木をわたり、その下に柱を連結する貫を入れたもの。神明鳥居（伊勢鳥居・鹿島鳥居など）と島木鳥居（春日鳥居・八幡鳥居・明神鳥居など）とに大別する。

<神明鳥居>



伊勢鳥居



鹿島鳥居

<島木鳥居>



春日鳥居



明神鳥居



八幡鳥居

第2節 豊津地区の歴史と概要（「鹿島町史」、「鹿嶋市史」を参考とした）

豊津の名称は明治22年の町村大合併により誕生した豊津村に始まる。豊津村は旧爪木村、旧大船津村、旧鹿野村の新田地区からなる。鹿野村の一部が編入したのは、現在の豊津地区が地形、産業構造等が類似していたとの説が有力である。

爪木畧誌（第14 豊津村長 君和田源司氏が「公民館だより」に寄稿）によると、爪木とは「指先で折り集め得る柴の薪」とある。また、同誌によると爪木部落は岡町に始まり、谷原町、原町と漸次開けたと推測している。なお、爪木の鎮守の石段は21であり、これは最初に爪木地区に移住した戸数に由来するとの説もある。

豊津郷土史（元豊津村公民館長 大川渉氏が「公民館だより」に寄稿）によると、大船津の起源は当時この地方を統治していた大掾氏の故ある者が古屋（現南町）を開拓したと推察している。その後、「流川」流域に移住した者が此处を古い家即ち古屋（古屋氏）と呼ぶ様になったとある。大船津は最初「川島」とよばれた。これは、当時の流川は現在の本流の外に幾つかの支流があり、川の中の島であるから、川島と呼んだ。その後、船戸、大船戸、大船津と変遷したが、川島、船戸、大船戸と呼ばれた期間は短く、大船津の名称になって久しい。

新田とは「広辞苑」によると、「新たに開墾した田地。特に江戸時代のものをいい、中世以前には墾田という」とある。大船津新田は等高線の2mと3mの中間に道路を設け、上側を主として居住地をとり、道路と北浦の間は水田開発とした。なお、鹿嶋市内には大船津新田以外に新田の付く地名がないので現在は単に新田と呼ぶ。

第61代朱雀天皇（931年～946年）の「承平（931年～937年）」中に平園香が常陸の大掾に任ぜられ、その子貞盛・維幹の時代に大掾辺端に築城した「鹿島城」は四百余年継続されたが、天正19年（1591年）に佐竹義宣に滅ぼされた。落城後は大掾家が隆盛時に野に下った「古屋氏」を慕い現在の大船津に移住した者も相当あった様である。

豊津地区は鹿嶋市の西の玄関口に位置し、古来より鹿島神宮の参詣者は地区内大船津に在る「一の鳥居」から鹿島詣でとなり、昭和4年に神宮橋が出来るまでは、船着場（港）として賑わっておりました。人口は約1,600人、世帯数は530戸と鹿嶋市の中では一番小さな地区です。人口比率は、乳幼児と児童で10%と小児化が進み、高齢化率は24.6%と高齢社会です。のどかな田園風景の中で、3世代同居の兼業農家が多い地域です。

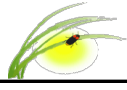
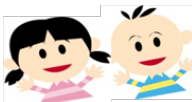
平成26年度豊津地区まちづくり委員会事業計画

専門部名	事業名	実施日	内 容
委 員 会	役員会	4月～3月	総会・役員会開催・地区社協との関係協議
	花いっぱい運動	6月、10月、2月	花植え・花壇の整備・樹木の剪定・消毒
	とよつまつり	11月	作品展示・芸能発表・模擬店
	大掃除	12月	館内の清掃
	防災避難訓練	1月	防災避難訓練(豊津小と合同)
	10周年記念誌作成	5月～1月	まちづくり委員会10周年記念誌
地域環境	豊津クリーン	5月、8月、1月	地域内のゴミ拾いと分別作業
	地域点検・一声運動	通年	啓発活動・看板点検
	石けん作り	6月	環境にやさしい石けん作り
	移動学習	8月	移動学習(水の科学館)(キッズと共催)
スポーツ 健康づくり	北浦一周サイクリング	5月17日	水質浄化キャンペーン(スポーツ父母の会共催)
	ソフトボール大会	6月8日	会場(ト伝の郷運動公園)
	高齢者スポーツ大会	6月	クロッケー・グラウンドゴルフ・輪投げ
	ソフトバレーボール大会	7月	会場(豊津小体育館)
	高齢者教室	7月～10月	①健康講座(医師講話)・②移動学習
	レッツウォーキング①	5月24日	房総館山方面
	レッツウォーキング②	11月	未定
	スポーツ健康教室	5月～2月	ピラティス4回実施
	とよつふれあい運動会	10月11日	第9回豊津小との合同運動会
	豊津ハイキング	9月28日	筑波山
文化福祉	とよつキッズ	5月	リトルファーム①
		6月	餃子作り(男の料理と共催)
		7月	3世代交流,収穫祭(リトルファーム②)
		7月	自然散策(ほたる見学会)
		8月	移動学習(水の科学館)(地域環境部と共催)
		9月	ビーズアクセサリ製作(文化福祉部と共催)
		9月28日	豊津ハイキング(スポーツ健康づくり部と共催)
		12月	ホットケーキ作り(男の料理と共催)
	とよつまつり	11月16日	模擬店出店
	とよつかるた大会	1月	未就学児～高齢者
	楽学セミナー	9月	ビーズアクセサリ製作(キッズと共催)
		12月	フラワーアレンジメント(正月の花)
	男の料理	4月4日	移動研修
		6月	餃子作り(キッズと共催)
		12月	ホットケーキ作り(キッズと共催)
		11月	とよつまつり(模擬店出店)
		1月	はくさいの漬物作り
		1月	とよつかるた大会(協力)
広報記録	とよつだより	6月	第32号発行
		11月	第33号発行
		3月	第34号発行
	かわら版(そよかぜ)	5月～	第116号～ 随時発行

関連事業

・豊津子ども会事業 ・シニアクラブ事業 ・敬老会 ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業等

平成26年度豊津地区まちづくり委員会 実施事業一覧（月別）

月	行事・大会・集い等	講座・セミナー等	とよつキッズ	会 議 ・ 広 報 等
4		男の料理① 4日 （移動研修）		総会 25日 まちづくり委員会総会 各専門部会議
5	豊津クリーン① 11日 レッツウォーキング① （房総館山方面） 24日		リトルファーム① 10日 北浦一周サイクリング 17日	かわら版発行 まちづくり委員会年間 行事発行
6	高齢者スポーツ大会3日 ソフトボール大会 8日 環境石けん作り 花いっぱい運動21日 ソフトバレーボール大会 22日	男の料理② キッズと共催	手作り餃子作り 29日	とよつだより第32号 かわら版（そよかぜ） 役員会②
7		高齢者教室① （健康講座）	ほたる見学会 5日 リトルファーム② 26日（収穫祭）	かわら版（そよかぜ） 本部役員会
8	豊津クリーン② 3日	移動学習 （キッズと共催） ピラティス①	移動学習 5日 （水の科学館）	かわら版（そよかぜ） 敬老会実行委員会 ふれあい運動会実行委 員会
9	敬老会 14日 豊津ハイキング 28 日 （筑波山）	楽学セミナー① ビーズアクセサリ制作 （キッズと共催） ピラティス②	ビーズアクセサリ 制作	役員会③ かわら版（そよかぜ） とよつまつり実行委員 会
10	とよつふれあい運動会 11日 花いっぱい運動	高齢者移動教室 ピラティス③		かわら版（そよかぜ）
11	とよつまつり 16日 レッツウォーキング②	ピラティス④ 	とよつまつり （模擬店出店）	とよつだより第33号 かわら版（そよかぜ）
12	大掃除	楽学セミナー② （フラワーアレンジメ ント） 男の料理③	お菓子作り	かわら版（そよかぜ） 役員会④
1	とよつかるた大会 豊津クリーン 防災避難訓練	男の料理④	とよつかるた大会 25日	かわら版（そよかぜ）
2	花いっぱい運動 地域点検			各専門部反省会 まちづくり市民大会
3				とよつだより第34号 かわら版（そよかぜ） 役員会⑤

その他

※適時各専門部会議

※地区社協関連行事への参加

※まちづくり連絡協議会・センター長会議・主事研修会



平成26年度豊津地区まちづくり委員名簿

敬称略 順不同

No.	氏 名	役 職 名	No.	氏 名	役 職 名
1	内 田 早 苗	大船津新田区長	45	浅 間 秀 志	実践者
2	藤 岡 源 一	大船津新田副区長	46	荒 野 昭	実践者
3	内 野 安 彦	大船津第1区長	47	飯 島 亘 隆	実践者
4	内 田 博 道	大船津第1副区長(大船津自警団団長)	48	薄 井 正 夫	実践者
5	安 重 松 雄	大船津第2区長	49	海老沢 良 政	実践者
6	糟 谷 正 也	大船津第2副区長	50	大 川 かつ子	実践者
7	木 村 正 彦	大船津第3区長	51	大 川 浩	実践者
8	浜 田 秀 夫	大船津第3副区長	52	大 川 悟	実践者
9	君和田 昇	爪木区長	53	大 森 輝 昌	実践者
10	佐 藤 修	爪木副区長	54	小 沼 和 則	実践者
11	坂 本 仙 一	市議会議員	55	柿 木 重 正	実践者
12	黒 須 は る	シニアクラブ代表	56	君和田 貢	実践者
13	大 川 浩 一	豊津小学校校長	57	君和田 正 子	実践者
14	大 川 義 幸	豊津小PTA会長	58	君和田 元 浩	実践者
15	藤 枝 英 夫	豊津子ども会育成会連合会長	59	桐 生 進 一	実践者
16	山 本 貴	スポーツ父母の会会長	60	郡 司 典 子	実践者
17	糟 谷 純 子	豊津レディースクラブ代表	61	久保原 茂 男	実践者
18	浅 間 利 夫	民生委員	62	小松崎 伸一郎	実践者
19	君和田 正 治	民生委員	63	坂 本 昌 己	実践者
20	生井澤 恵 子	民生委員	64	坂 本 善 次	実践者
21	伊 原 健 市	消防団(新田町第1)	65	坂 本 良 明	実践者
22	君和田 君 江	豊津地区社協(うらら会会長)	66	長 岡 仁	実践者
23	富 山 和 明	青少年相談員	67	生井澤 正 之	実践者
24	岡 野 実	市スポーツ推進委員	68	額 賀 孝 弘	実践者
25	小 沼 弘 一	市スポーツ推進委員	69	根 本 昭	実践者
26	笹 本 恵 子	地域福祉推進委員	70	根 本 久 男	実践者
27	名 和 茂	地区活動推進委員	71	根 本 弘 之	実践者
28	宮 崎 良 之	地区活動推進委員	72	濱 田 善 久	実践者
29	坂 本 信 次	地区活動推進委員	73	藤 枝 正 子	実践者
30	橋 本 孝 弘	地区活動推進委員	74	藤 城 賢 司	実践者
31	飯 島 一 嘉	地区活動推進委員	75	松 尾 恵 子	実践者
32	小田倉 貞 三	地区活動推進委員	76	松 岡 重 喜	実践者
33	箕 輪 良 一	地区活動推進委員	77	宮 崎 幸 子	実践者
34	黒 須 一 男	地区活動推進委員	78	本 宮 和 子	実践者
35	君和田 信 二	地区活動推進委員	79	山 町 重 信	実践者
36	藤 枝 太 一	地区活動推進委員	80	和 田 勉	実践者
37	中 村 重 信	地区活動推進委員	まちづくりセンター(公民館職員)		
38	野 口 栄	地区活動推進委員			
39	小 沼 史 明	地区活動推進委員			
40	君和田 浩 幸	地区活動推進委員	1	高 安 広 子	館 長
41	津 川 信 夫	地区活動推進委員	2	君和田 毅	主 幹
42	青 野 重 寿	実践者	3	藤 城 知 子	主 事
43	青 野 次 雄	実践者	4	黒 須 ゆ き	主 事
44	浅 間 広 道	実践者	5	遠 藤 和 子	主 事

豊津地区まちづくり委員会会則

第1章 名称及び事務所

(名称及び事務所在地)

第1条 本会は、豊津地区まちづくり委員会（以下「本会」という）と称し、事務所を豊津まちづくりセンターに置く。

第2章 目的及び活動

(目的)

第2条 本会は、豊津地区内に居住する住民の豊かな生活をめざし、これを実現するため、生活・文化・教育・福祉などの向上を目的とし、地域住民の学習要求の把握、地域・生活課題の認識等を通して、地域活動の活性化を図ることを目的とする。

(事業活動)

第3条 本会は、前条の目的達成のため、下記の事業を推進する。

- (1) 豊津地区まちづくり委員会の運営に関する事
- (2) 豊津地区内の社会教育活動に関する事
- (3) 豊津地区内の各種団体の事業・活動支援に関する事
- (4) 豊津地区まちづくりに関する事
- (5) その他、目的達成のための事業

第3章 委員

(委員)

第4条 本会の委員は、次に掲げるものを以て構成する。

- (1) 地区内の区長・副区長
- (2) 社会教育・地域活動を行う各種団体の代表
- (3) 社会教育・地域活動における研究者及び実践者
- (4) 社会教育・地域活動に関連する教育・学術・文化・産業・労働・社会事業等の団体、または機関の関係者
- (5) 第5条に定められる地区活動推進委員（各区から推薦された者）
- (6) 第5条に定める地区活動推進委員の経験者

(地区活動推進委員)

第5条

- (1) この委員会のもとに、地区活動推進委員を置く。
- (2) 活動推進委員は、担当区域の区長並びに各関係団体役員と連絡調整を図り、地区住民のまちづくり委員会活動への総参加を目指すと共に地域づくり（まちづくり）にも取り組む。
- (3) 地域づくり活動推進委員は、上記の目的達成にむけ、町内における活動の組織化とまちづくりセンターだよりの配布等を行う。
- (4) その選出・編成については、各町内一名づつを原則として各区長の推薦に基づいて行う。

第4章 組織及び役員

(組 織)

第6条 本会は次の組織を以て構成する。

- (1) 役員会 (第8条の委員)
- (2) 委員会 (第4条の委員)

(専門部)

第7条 本会は次の号に掲げる専門部を置く。

- (1) 地域環境専門部
- (2) スポーツ健康づくり専門部
- (3) 文化福祉専門部
- (4) 広報記録専門部

2 委員は、第7条(1)から(4)の専門部に所属するものとする。

(役 員)

第8条 本会に次の役員を置く。

委員長	1名
副委員長	1名
専門部長	4名
専門副部長	4名
幹事	2名
監事	2名

(役員選出)

第9条 役員は、すべて総会において選出される。

(役員の職務)

第10条

- (1) 委員長は本会を代表し、センター長と常に、連絡を密にし、会の運営を統括する。
- (2) 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 幹事は本会の事務および会計を担当する。
- (4) 専門部長は各専門部を統括する。
- (5) 専門副部長は部長を補佐し、部長に事故あるときはその職務を代行する。
- (6) 監事は委員会の会計を監査する。

(委員会の委員)

第11条 本会には委員会を置き、次の号に掲げる者を以て構成する。

- (1) 役員会 (第8条の役員)
- (2) 第4条(1)から(6)号に該当する者

(委員会の職務)

第12条 委員会委員は、委員会運営にあたる基本的事項について協議決定する。

(任 期)

第13条 本会の委員・役員の任期は1年とし再任を妨げない。

なお、補欠により選出されたものの任期は、前任者の在任期間とする。

第5章 会 議

(会 議)

第14条 本会の会議は次のとおりとする。

- (1) 総 会 (第4条の構成委員とする。)
- (2) 委 員 会 (第4条の構成委員とする。)
- (3) 役 員 会 (第8条の構成委員とする。)
- (4) 専門部会 (第7条に掲げる専門部員とする。)

(会議の開催)

第15条

- (1) 総会は年1回とする。委員長が召集し議長は委員長とする。
- (2) 委員会及び役員会は必要に応じて、委員長が召集し議長は委員長とする。
- (3) 専門部会は必要に応じて、各専門部長が召集し議長は部長とする。

(会議の成立及び議決)

第16条

- (1) 会議は構成員の過半数を以て成立する。ただし当該議長が急務を要すると認めた時はこの限りではない。
- (2) 議事は出席者の過半数を以て決し、可否同数の場合は議長が決定する。

第6章 経 費

(経 費)

第17条 本会の経費は、次の各号に掲げるものを以て充てる。

- (1) 市予算(委託金)
- (2) 地区負担金等
- (3) その他

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(補 則)

第19条 この会則に定めるもののほか、必要な事項はその都度役員会に於いて協議決定する。

(会則の改廃)

第20条 この会則の改廃は、総会の決議を経なければならない。

(付 則)

この会則は、平成15年5月2日から施行する。

この会則は、平成16年5月7日付改正する。

この会則は、平成17年4月29日付改正する。

この会則は、平成18年4月8日付改正する。

平成16年度豊津まちづくり委員会事業報告

専 門 部 名	事 業 名	実 施 日	内 容
まちづくり 委員会	役員会	5月～3月	5回開催
	花いっぱい運動	6月10月2月	樹木の移植・花壇作り・寒肥
地域環境	豊津クリーン	5月～3月(7回)	堤防・道路の缶拾い
	とよつまつり	11月20～21日	作品展示・模擬店出店・とよつのど自慢・とよつ歩く会
スポーツ 健康づくり	北浦一周サイクリング	5月23日	北浦周辺の環境美化及び浄化運動
	高齢者スポーツ大会(春)	5月22日	クロッケー・輪投げ・グラウンドゴルフ
	〃 (冬)	3月 5日	※雨天のため、輪投げ・風船バレーボール大会
	ソフトボール大会	8月 8日	※ト伝の郷運動公園にて実施
	住民体育祭	10月10日	第27回目で豊津小学校で実施
	豊津ハイキング	5月30日	月居山 豊かな自然を知り、親睦を深める 20名参加
		11月27日	養老溪谷 自然に親しみ大切さを学ぶ 53名参加
文化福祉	成人セミナー	6月 5日	講話(心に寄り添う看護とは)42名参加
		7月14日	やさしい介護実習42名参加
		9月24日	移動学習「和紙作り」31名参加
		11月 5日	楽しい健康体操23名参加
		1月22日	介護契約や介護保険について33名参加
		2月12日	在宅介護の食事作り24名参加
	高齢者移動教室	10月28日	銚子方面「ヒゲタ醤油・万願寺他」48名参加
	親子教室	8月21日	星の観察教室 夏の星座と月の観察(4館共済)100名参加
		2月 5日	星の観察教室 冬の星座観察38名参加
	男の料理	6月26日	そば打ち・天ぷら料理 15名参加
		8月 7日	中華料理・酒の肴料理 15名参加
		12月 4日	お好み焼き・海鮮鍋料理 14名参加
		2月19日	アジフライ・あじのたたき他 10名参加
	趣味の教室	6月 1日	トールペイント「Tシャツに花を描く」21名参加
		8月 1日	木目込みパッチワーク「額絵作り」23名参加
		12月 1日	籐のリース「ドライフラワーをアレンジ」18名参加
		3月 5日	フラワーアレンジメント「お正月を飾る花」20名参加
広報記録	とよつだより	6月 1日	第1号発行
		8月 1日	第2号発行
		12月 1日	第3号発行
		3月15日	第4号発行
	かわら版(そよかぜ)	7月 1日	第1号
		8月15日	第2号
		9月15日	第3号
		11月 1日	第4号
		1月 1日	第5号
		2月 1日	第6号

関連事業

・子ども会キックベースボール大会 ・シニアクラブスポーツ大会 ・敬老会

平成17年度豊津まちづくり委員会事業報告

専 門 部 名	事 業 名	実 施 日	内 容
まちづくり 委員会	役員会	5月～3月	5回開催
	花いっぱい運動	6月10月2月	樹木の移植・花壇作り・寒肥
	とよつ歩く会	11月20日	「とよつかるた」史跡めぐり
地域環境	豊津クリーン	5月・8月	堤防・道路の缶拾い
	一声運動	6月～9月	標語募集・看板作り・看板設置
	とよつまつり	11月19～20日	作品展示・模擬店出店・とよつのど自慢・とよつ歩く会
	かるた大会	1月15日	子どもから高齢者まで5部門で2回行なう 69名参加
	湖上セミナー	10月29日	水質検査・水についての講話
スポーツ 健康づくり	北浦一周サイクリング	5月15日	途中雨のため北浦大橋を渡り帰着
	高齢者スポーツ大会(春)	5月21日	クロッケー・輪投げ・グラウンドゴルフ
	〃 (秋)	11月 9日	※神野ふれあい公園にて実施
	ソフトボール大会	9月19日	※ト伝の郷運動公園にて実施
	住民体育祭	10月10日	雨のため体育館でレクリエーション的種目で実施
	豊津ハイキング	11月 6日	福島県矢祭町滝川溪谷 49名参加
	ソフトバレーボール大会	12月11日	6チーム参加で楽しめた
文化教養	成人セミナー	6月11日	講話(健康保持に役立つ薬の話) 32名参加
		9月21日	移動体験学習(ガラス工芸) 31名参加
		11月24日	健康体操 22名参加
	親子教室	7月24日	移動教室(霞ヶ浦環境科学センター) 32名参加
		8月13日	星の観察教室(はまなす公園で実施) 3館共催事業
		8月21日	環境にやさしいせっけん作り 28名参加
		1月15日	かるた大会 69名参加
	男の料理	6月18日	コロッケ・煮魚他
		10月 1日	鰻料理
		12月 3日	そば打ち・鍋料理
		1月29日	鯉料理
	趣味の教室	7月 2日	エコクラフト(おしゃれなバック作り)
		12月24日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
		8月 7日	敬老会祝い品作り ※ボランティア
広報記録	とよつだより	6月15日	第5号発行
		11月 1日	第6号発行
		3月 1日	第7号発行
	かわら版(そよかぜ)	5月15日	第7号
		6月15日	第8号
		8月 1日	第9号
		9月15日	第10号
		11月 1日	第11号
福祉	とよつふれあい塾	7月 7日	お茶っこの会(大船津・新田地区) 19名参加
		10月16日	3世代交流グラウンドゴルフ 68名参加
		11月27日	出前お茶っこの会(爪木地区) 19名参加

関連事業

- ・子ども会キックベースボール大会 ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会 ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成18年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専 門 部 名	事 業 名	実 施 日	内 容
まちづくり 委員会	運営協議	5月～3月	5回開催
	花いっぱい運動	6月10月2月	花壇整備と花植え・樹木の消毒と剪定・寒肥
	とよつまつり	11月19日	1日開催・出店団体が増え賑やかで活気があった
地域環境	豊津クリーン	5月・8月・1月	堤防、産業道路の缶拾い、不法投棄の粗大ゴミ回収
	一声運動	6月～2月	看板作り・看板設置・設置看板の点検
	地域点検	7月8・20・28日	危険箇所・廃屋・防火設備等について調査
スポーツ 健康づくり	高齢者スポーツ大会(春)	5月 6日	クロッケー・輪投げ・グラウンドゴルフ(神野ふれあい公園)
	北浦一周サイクリング	5月13日	北浦沿岸堤防・日本善行賞を受賞
	豊津ハイキング	5月21日	山梨県西沢溪谷(溪谷美と森林浴を満喫)
	ソフトボール大会	7月 2日	6チーム参加で楽しめた(ト伝の郷運動公園)
	とよつふれあい運動会	10月 8日	第1回、未就学児～高齢者までのふれあい 小学校と合同開催
	ソフトバレーボール大会	11月 4日	和気あいあいと楽しいレクリエーション的な大会実施
文化福祉	楽学セミナー	6月 9日	講話(ためになる税金の話)
		9月21日	移動体験学習・草木染(結城市)
		11月30日	太極拳に挑戦
	親子教室	8月 5日	環境にやさしい石けん作り&お楽しみ食事会(流しそうめん)
		10月 8日	おもしろ理科先生を招いてホーバークラフトに挑戦
	子育て支援	7月16日	手作りの竿でさかな釣り
		8月24日	冷たいデザート作り・大型紙芝居・かるた
		11月19日	とよつまつりに出店体験(チョコバナナ屋・石けんの販売)
		12月 3日	やっこ凧づくり
	男の料理	6月24日	餃子・ポテトサラダ・浅漬け
		8月27日	ウナギの柳川風煮
		11月 3日	うどん打ち・天ぷら
		11月19日	とよつまつりに「うどん屋」出店
	とよつかるた大会	2月 4日	新たに高齢者の部を加えて6部門で2回行う
	趣味の教室	12月23日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
広報記録	とよつだより	6月15日	第8号発行(1面 北浦一周サイクリング)
		11月 1日	第9号発行(1面 とよつふれあい運動会)
		3月 1日	第10号発行(1面 とよつかるた大会)
	かわら版(そよかぜ)	4月15日～ 12月21日	第12号～第20号(9回発行) ・事業実施に向けた募集案内とPR

関連事業

- ・子ども会キックベースボール大会 ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会 ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成19年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専 門 部 名	事 業 名	実 施 日	内 容
まちづくり委員会	運営協議	4月～3月	5回開催
	花いっぱい運動	6月10月2月	花壇整備と花植え・樹木の消毒と剪定・寒肥
	とよつまつり	11月 4日	1日開催・出店団体が増え賑やかで活気があった
地域環境	豊津クリーン	5月・8月・1月	堤防、産業道路の缶拾い、不法投棄の粗大ゴミ回収
	一声運動	6月～2月	挨拶標語の看板設置(18本追加)
	地域点検	7月8・20・28日	地域課題解決に向けてのマップ作り
スポーツ健康づくり	北浦一周サイクリング	5月12日	コースを70kmに変更
	高齢者スポーツ大会	6月 2日	クロッケー・グラウンドゴルフ・ダーツ(神野ふれあい公園)
	とよつふれあい運動会	6月 9日	第2回、未就学児～高齢者までのふれあい
	ソフトボール大会	10月 7日	ト伝の郷運動公園
	豊津ハイキング	11月24日	鍋足山トレッキング(強健コース)
	ソフトバレーボール大会	11月10日	10代から60代までのスポーツ交流
	レッツウォーキング	9月・12月	豊津地区内かるた巡りコース
文化福祉	楽学セミナー	6月22日	講話(介護保険対処法&メタボリックシンドローム対処法)
		10月11日	移動学習「明治乳業ミルク館・筑波植物園」
	子育て支援(とよつキッズ)	5月13日	リトルファーム①種まき・苗の移植
		5月20日	リトルファーム②追肥・観察
		6月17日	リトルファーム③草取り・スイカの受粉・調理
		7月21日	リトルファーム④台風後の手入れ・人参の種まき・収穫
		7月31日	大型紙芝居・グラウンドゴルフ・ダーツ(放課後子ども教室と共催)
		8月19日	環境にやさしい石けん作り、流しそうめん
		〃	リトルファーム⑤夏野菜の収穫祭・調理
		9月16日	リトルファーム⑥最後の収穫・調理
		11月 4日	とよつまつりに出店体験(チョコバナナ屋・石けんの販売)
	男の料理	8月 4日	ハンバーグ・マグロのたたき・野菜の旨煮
		10月14日	カレーライス(バイキング)・こんにゃく作り
		11月 4日	とよつまつりに「カレー屋」出店
		12月 2日	蕎麦打ち、かき揚げ
	とよつかるた大会	2月 3日	6部門(未就学児～高齢者)で実施
	趣味の教室	12月23日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
広報記録	とよつだより	6月15日	第11号(新委員長・専門部部長紹介)
		11月 1日	第12号発行(とよつふれあい運動会・子育て支援)
		3月 1日	第13号発行(とよつかるた大会・まちづくりになったの4年間)
	かわら版(そよかぜ)	4月15日～ 3月 15日	第21号～第32号(12回発行) ・事業実施に向けた募集案内とPR

関連事業

- ・子ども会キックベースボール大会 ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会 ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成20年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専 門 部 名		事 業 名	実 施 日	内 容
まちづくり委員会		役員会	4月～3月	総会・年7回役員会開催
		花いっぱい運動	6月・10月・2月	花植え・花壇の整備・樹木の剪定・消毒
		とよつまつり	11月 2日	作品展示・芸能発表・模擬店
		大掃除	12月14日	利用団体も協力
地域環境		豊津クリーン	5月・9月・1月	地域内のゴミ拾い
		一声運動	通年	啓発活動・看板点検
		地域点検	6月～	マップ落とし
		地域自然再生	5月～	ほたる再生に向けて検討
スポーツ健康づくり	とよつ 悠々健康づくり	北浦一周サイクリング	5月17日	北浦沿岸を水質浄化のキャンペーン
		高齢者スポーツ大会	6月 5日	クロケー・グラウンドゴルフ・輪投げ・ダーツ
		ソフトボール大会	6月 8日	※会場 ト伝の郷運動公園
		とよつふれあい運動会	10月11日	※ 会場(大船津アイビーグラウンド)
		豊津ハイキング	11月23日	亀山湖ハイキング(とよつキッズと共催)
		ソフトバレーボール大会	7月12日	鹿野中で開催
		レッツウォーキング①	6月21日～	ウォーキングコースマップ・看板作り
		レッツウォーキング②	8月 2日	夕涼みウォーキング
		レッツウォーキング③	9月28日	皇居周辺ウォーキング
文化福祉	子育て支援(休日子ども教室)	とよつキッズ	5月18日	「リトルファーム」①夏野菜の栽培・種まき
			6月15日	「リトルファーム」②夏野菜の栽培・追肥
			7月 5日	自然散策(ほたる学習会・見学会)
			7月30日	グラウンドゴルフ体験
			8月10日	石けん作り&パーベキュー・流しそうめん(収穫祭)
			9月 7日	豊津クリーンボランティア・ラジオ体操
			9月23日	自然探検(手作りの竿で魚釣り)
			11月 2日	チョコバナナ屋出店体験
			11月23日	亀山湖ハイキング(スポーツ健康づくり部と共催)
			12月 7日	そば打ちに挑戦
			12月24日	大型紙芝居・ケーキ作り
			2月14日	陶芸体験
		かるた大会	2月 1日	未就学児～高齢者
		楽学セミナー	5月25日	特定健診メタボ解消講座(講話・健康体操)
			12月23日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
		男の料理	6月22日	手早く簡単な野菜料理
			8月31日	竈戸で炊飯・鰯のたたき・厚焼き玉子
			11月 2日	とよつまつりカレー屋出店
			11月16日	そば打ち・こんにやく作り
			12月 7日	そば打ち(とよつキッズと交流)
			7月 5日	ほたる学習会食事賄ボランティア
広報記録	とよつだより		6月 1日	第14号発行
			11月 1日	第15号発行
			3月 1日	第16号発行
	かわら版(そよかぜ)		5月～ 月	第33号～第46号発行

関連事業

- ・子ども会キックベースボール大会
- ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会
- ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成21年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専門部名	事業名	実施日	内容
まちづくり委員会	役員会	4月～3月	総会・年6回役員会開催
	花いっぱい運動	6月・10月・2月	花植え・花壇の整備・樹木の剪定・消毒
	とよつまつり	11月 8日	作品展示・芸能発表・模擬店
	大掃除	12月13日	館内の清掃(利用団体も協力)
地域環境	豊津クリーン	5月・9月・1月	地域内のゴミ拾い
	一声運動	通年	看板点検・流川の環境啓発看板の設置
	地域点検	10月～3月	マップ完成、地域へ配布
スポーツ健康づくり	とよつ北浦一周サイクリング	5月16日	北浦沿岸の水質浄化のキャンペーン
	とよつ高齢者スポーツ大会	6月 2日	クロッケー・グラウンドゴルフ・輪投げ・ダーツ
	とよつソフトボール大会	5月31日	※会場 ト伝の郷運動公園
	とよつソフトバレーボール大会	7月 4日	豊津小学校体育館で開催
	とよつふれあい運動会	10月 4日	豊津小との合同運動会
	豊津ハイキング	10月31日	塩原ハイキング(とよつキッズと共催)
	レッツウォーキング①	8月 1日～	かるた巡りウォーキング(夕涼み)
	レッツウォーキング②	9月20日	東京ウォーキング
	レッツウォーキング③	2月 9日	新春ウォーキング(水郷県民の森)
	高齢者教室	7月28日,11月12日	健康講座・移動学習
文化福祉	子育て支援(休日子ども教室)とよつキッズ	5月 9日	「リトルファーム」①夏野菜の栽培・種まき
		5月10日	プードルのフラワーアレンジメント(母の日に向けて)
		5月16日	北浦一周サイクリング(スポーツ部と共催)
		6月 7日	「リトルファーム」②夏野菜の栽培・追肥
		7月 5日	自然散策(ほたる映画会・見学会)
		8月 1日	かるた巡り夕涼みウォーキング(スポーツ部と共催)
		8月 2日	石けん作り&バーベキュー・流しそうめん(収穫祭)
		8月 5日	陶芸体験①器作り(成形)
		8月22日	陶芸体験②色塗り・絵描き
		9月23日	自然探検(手作りの竿で魚釣り)
		10月25日	万灯描き・いも掘り
		10月31日	塩原ハイキング(スポーツ健康づくり部と共催)
		11月 8日	とよつまつりチョコバナナ屋出店体験&ちょうちん上げに参加
		1月16日	星の観察教室
	とよつかるた大会	1月31日	未就学児～高齢者
	楽学セミナー	6月13日	健康講座(AED研修)
		12月23日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
		2月 9日	新春ウォーキング(水郷県民の森)
	男の料理	6月20日	やわらかとんかつで夏バテ解消
		8月30日	鰻蒲焼&バイキング料理
		11月 8日	とよつまつり模擬店出店
		11月15日	移動教室(そばフェスティバル)
広報記録	とよつだより	6月 1日	第17号発行
		11月 1日	第18号発行
		3月 1日	第19号発行
	かわら版(そよかぜ)	5月～2月	第47号～59号発行

関連事業

- ・子ども会キックベースボール大会
- ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会
- ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成22年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専門部名	事業名	実施日	内 容
まちづくり委員会	役員会	4月～3月	総会・年6回役員会開催
	花いっぱい運動	6月、10月、2月	花植え・花壇の整備・樹木の剪定・消毒
	とよつまつり	11月 7日	作品展示・芸能発表・模擬店
	大掃除	12月 4日	館内の清掃(利用団体も協力)
地域環境	豊津クリーン	5月、8月	地域内のゴミ拾い
	一声運動	通年	看板点検
	地域点検	10月～3月	安全マップに基づき、危険箇所の点検及び確認
	移動教室	8月26日	環境科学センター・宇宙センター(とよつキッズと共催)
スポーツ健康づくり	北浦一周サイクリング	5月15日	北浦沿岸の水質浄化キャンペーン(スポーツ父母の会共催)
	高齢者スポーツ大会	6月 3日	クロッケー・グラウンドゴルフ・輪投げ・ダーツ
	ソフトボール大会	5月23日	ト伝の郷運動公園
	ソフトバレーボール大会	7月 3日	豊津小学校体育館
	とよつふれあい運動会	10月 9日	豊津小との合同運動会
	豊津ハイキング	11月20日	みかも山公園(とよつキッズと共催)
	レッツウォーキング①	8月 1日	かるた巡りウォーキング(夕涼み)
	レッツウォーキング②	9月26日	東京ウォーキング(スカイツリー周辺・浅草)
	レッツウォーキング③	1月12日	新春ウォーキング(新田かぐら見学)
文化福祉	高齢者教室	7月27日・11月12日	健康講座・移動学習(小美玉市方面)
	とよつキッズ	4月10日	波野・豊郷・豊津で3世代グラウンドゴルフ
		5月 9日	夏野菜の栽培・種まき・パフェ作り
		5月15日	北浦沿岸の水質浄化キャンペーン(スポーツ父母の会共催)
		7月25日	手作りの竿で魚釣り
		6月26日	ほたる見学会・読み聞かせ
		7月28日・8月18日	①器作り(成形)②色塗り絵描き
		8月 8日	石けん作り・収穫祭・バーベキュー
		8月26日	環境科学センター・宇宙センター(地域環境部と共催)
		10月23日	いも掘り・お菓子作り(スイートポテト)
		11月20日	みかも山公園(スポーツ健康づくり部と共催)
	とよつまつり	11月 7日	チョコバナナ屋出店体験&ちょうちん上げに参加
	とよつかるた大会	1月30日	未就学児～高齢者
	楽学セミナー	10月 3日	移動教室(東京消防庁・防災体験)
		10月23日	作品作り(真竹で作る花器)
		11月13日、20日	パソコン教室①②(年賀状作成)
		12月26日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
	男の料理	6月8日・8月22日	①簡単料理(中華) ②うどん打ち
		11月 7日	とよつまつり模擬店出店(焼き鳥・カレーライス)
		11月27日	移動教室(築地市場 他)
広報記録	とよつだより	6月 1日	第20号発行
		11月 1日	第21号発行
		3月 1日	第22号発行
	かわら版(そよかぜ)	4月～12月	第60号～71号発行

関連事業

- ・子ども会キックベースボール大会 ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会 ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成23年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専門部名	事業名	実施日	内 容
まちづくり委員会	役員会	4月～3月	総会・年5回役員会開催
	花いっぱい運動	6月、10月、2月	花植え・花壇の整備・樹木の剪定・消毒
	とよつまつり	11月 6日	作品展示・芸能発表・模擬店
	大掃除	12月17日	館内の清掃(利用団体も協力)
	防災訓練	1月31日	防災、避難訓練(豊津小と合同)
地域環境	豊津クリーン	5月、8月、1月	地域内のゴミ拾い・ゴミ分別講習(文化福祉部と共催)
	一声運動	2月～3月	あいさつ標語募集と看板立て替え
	地域点検	10月～2月	安全マップに基づき、危険箇所の点検及び確認
	移動教室	8月 4日	移動教室(東京消防庁・東京タワー)文化福祉部共催
スポーツ健康づくり	ソフトボール大会	5月22日	ト伝の郷運動公園
	高齢者スポーツ大会	6月 5日	クロッケー・グラウンドゴルフ・輪投げ
	ソフトバレーボール大会	7月 9日	豊津小体育館
	北浦一周サイクリング	9月10日	北浦沿岸の水質浄化キャンペーン(スポーツ父母の会主催)
	とよつふれあい運動会	10月 8日	豊津小との合同運動会
	豊津ハイキング	11月26日	土岳(花貫溪谷の奥)とよつキッズ共催
	レッツウォーキング①	6月25日	夕涼みウォーキング
	レッツウォーキング②	9月25日	東京ウォーキング(東宮御所一周・赤坂散策)
	レッツウォーキング③	1月28日	新春ウォーキング(かるためぐり・人形おくり等)
文化福祉	とよつキッズ	5月14日	リトルファーム①夏野菜苗植え・お菓子作り
		6月11日	リトルファーム②草抜き・お菓子作り
		6月25日	ほたる見学会
		7月31日	流しそうめん、収穫祭(とうもろこし他)
		8月 4日	移動教室(東京消防庁・東京タワー)地域環境部共催
		9月17日	プリザーブドフラワー
		10月22日	いも掘り・お菓子作り(スイートポテト)
		12月 3日	3世代交流ユニカール(スポーツ父母の会共催)
	とよつまつり	11月 6日	駄菓子屋出店体験&提灯上げに参加
	とよつかるた大会	1月29日	未就学児～高齢者
	楽学セミナー	6月19日	環境にやさしい石けん作り(地域環境部と共催)
		8月 7日	出前講座、ゴミ分別教室(地域環境部と共催)
		10月23日	移動教室(九十九里方面)、作品作り(まつり展示)
		12月24日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
	男の料理	7月 3日	アジのたたき、肉じゃが料理
		11月 6日	とよつまつり模擬店出店(うどん・カレーライス)
		11月27日	移動教室(北茨城方面他)
		1月29日	かるた大会
広報記録	とよつだより	6月 1日	第23号発行
		11月 1日	第24号発行
		3月 1日	第25号発行
	かわら版(そよかぜ)	4月～12月	第72号～84号発行

関連事業

- ・子ども会キックベースボール大会
- ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会
- ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成24年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専門部名	事業名	実施日	内 容
まちづくり委員会	役員会	4月～3月	総会・年5回役員会開催
	花いっぱい運動	6月、10月、2月	花植え・花壇の整備・樹木の剪定・消毒
	とよつまつり	11月 4日	作品展示・芸能発表・模擬店
	大掃除	12月22日	館内の清掃(利用団体も協力)
	避難道整備	9月13日	爪木原向き坂～浄水場方面整備
	集落別防災避難訓練	11月18日1月30日3月2日	防災避難訓練(爪木大船津新田)
地域環境	豊津クリーン	5月、8月、1月	地域内のゴミ拾い
	石けん作り	8月19日	石けん作り&ピザ作り(とよつキッズ共催)
	地域点検・一声運動	通年	安全マップに基づき、危険箇所の点検及び確認
	防災避難マップ作成	3月27日	地震、津波、風水害時の避難場所など
スポーツ健康づくり	豊津ハイキング	5月19日	
	ソフトボール大会	6月 3日	ト伝の郷運動公園
	高齢者スポーツ大会	6月 8日	クロッケー・グラウンドゴルフ・輪投げ
	ソフトバレーボール大会	7月 9日	豊津小体育館
	北浦一周サイクリング	9月29日	北浦沿岸の水質浄化キャンペーン(スポーツ父母の会共催)
	とよつふれあい運動会	10月 6日	豊津小との合同運動会(第7回)
	レッツウォーキング①	6月23日	夕涼みウォーキング
	レッツウォーキング②	11月25日	鎌倉ウォーキング
	レッツウォーキング③	1月19日	新春ウォーキング(かるた巡りと御手洗方面)
	高齢者教室	7月28日、10月12日	健康講座、移動学習(ヨネビ醤油六角堂見学)
文化福祉	とよつキッズ	5月26日	リトルファーム①(種まき、苗植え)
		6月23日	ほたる見学会
		7月28日	三世代交流食事会(スポーツ健康づくり共催)
		8月 4日 5日	体験学習(キャンプ)
		9月 9日	おもしろ理科先生
		9月19日	石けん作り&ピザ作り(地域環境共催)
		11月 4日	リトルファーム②(大豆の収穫祭)
		2月 3日	豆腐作り・おからドーナツ作り
	とよつまつり	11月 4日	バナナチョコ
	とよつかるた大会	1月27日	未就学児～高齢者
	楽学セミナー	7月 7日	タオルで草履作り
		9月19日	AED講習
		12月27日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
		2月23日	移動教室(真壁ひなまつり&雨引観音)
	男の料理	4月10日15日	簡単料理
		11月 4日	とよつまつり模擬店出店(うどん・カレーライス)
		12月13日	移動研修(美浦トレーニングセンター、ポケットファームドキドキ)
		1月27日	かるた大会のもちつき協力
広報記録	とよつだより	6月15日	第26号発行
		11月 1日	第27号発行
		3月 1月	第28号発行
	かわら版(そよかぜ)	4月～1月	第85号～99号発行

関連事業

- ・子ども会ドッジボール大会 ・シニアクラブスポーツ大会
- ・敬老会 ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業

平成25年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

専門部名	事業名	実施日	内 容
まちづくり委員会	役員会	4月～3月	総会・年5回役員会開催
	花いっぱい運動	6月、10月、2月	花植え・花壇の整備・樹木の剪定・消毒
	とよつまつり	11月 4日	作品展示・芸能発表・模擬店
	大掃除	12月22日	館内の清掃(利用団体も協力)
	防災避難訓練	1月20日	避難道確認と防災避難訓練(豊津小と合同)
地域環境	豊津クリーン	5月、8月、1月	地域内のゴミ拾いと分別作業
	石けん作り	7月11日	環境にやさしい石けん作り
	地域点検・一声運動	通年	安全マップに基づき、危険箇所の点検及び確認
	環境浄化啓発看板設置	6月18日	豊津小児童が描いた看板設置(キッズと共催)
	水質検査	8月 6日	移動学習、霞ヶ浦環境科学センター(キッズと共催)
スポーツ健康づくり	豊津ハイキング	5月18日	高尾山ハイキング(キッズと共催)
	北浦一周サイクリング	5月25日	北浦沿岸の水質浄化キャンペーン(スポーツ父母の会共催)
	ソフトボール大会	6月 2日	ト伝の郷運動公園
	高齢者スポーツ大会	6月 6日	クロッケー・グラウンドゴルフ・輪投げ
	ソフトバレーボール大会	7月 7日	豊津小体育館
	高齢者教室	7月27日、10月21日	健康講座、移動学習(築地、国会議事堂見学)
	とよつふれあい運動会	10月12日	豊津小との合同運動会(第8回)
	レッツウォーキング①	6月29日	夕涼みウォーキング
	レッツウォーキング②	10月20日	とよつかるためぐり(キッズと共催)
	レッツウォーキング③	11月17日	東京ウォーキング(皇居周辺)
文化福祉	とよつキッズ	5月11日	リトルファーム①(とうもろこし種まき、スイカ苗植え)
		6月29日	ほたる見学会
		7月24・25日	体験学習(キャンプ)
		8月 3日	リトルファーム②(収穫祭、バーベキュー)
		8月 6日	移動学習、霞ヶ浦環境科学センター(環境部と共催)
		10月20日	とよつかるためぐり(スポーツ健康づくり部と共催)
		12月 8日	そば打ち体験(男の料理と共催)
	とよつまつり	11月 3日	模擬店(チョコバナナ)・ちょうちん上げ
	とよつかるた大会	1月26日	未就学児～高齢者
	楽学セミナー	6月21日	移動研修(東京都美術館、スカイツリー)
		8月24日、9月7日	陶芸教室①(成形)②(色ぬり)、まつりの展示
		12月 7日	栈俵の編み方講習
		12月27日	フラワーアレンジメント(お正月を飾る花)
	男の料理	4月14日	ちらし寿司、ポテトサラダ、餃子、春巻き
		7月28日	巻き寿司に挑戦
		11月 3日	とよつまつり模擬店出店(うどん・カレーライス)
		12月 8日	そば打ち体験(キッズ共催)
		1月16日	移動研修(群馬方面、富岡製糸場他)
		1月26日	とよつかるた大会のもちつき、花餅作り協力
広報記録	とよつだより	6月15日	第29号発行
		11月 1日	第30号発行
		3月 1月	第31号発行
	かわら版(そよかぜ)	4月～1月	第100号～115号発行

関連事業

・子ども会事業 ・シニアクラブ事業 ・敬老会 ・豊津地区社会福祉協議会(うらら会)事業等

第2節 主な事業と発足の経緯

タスキを渡し続けて（1983年～2014年）

元豊津公民館長 箕輪 礼子



昭和58年4月1日、豊津小学校勤務が決まった。校舎の屋上に上がり周囲を眺めた時の感動を今も忘れない。

眼下に横たわる満々と水を湛えた北浦。背後には、遠くに、関東平野の名峰筑波を望む行方台地がどっしりと構えていた。最後の赴任校と決めていた豊津小学校。「とうとう、ここにたどり着くことができた」という思いが体中をかけめぐり胸が熱くなった。

残された教員生活は13年。私に出来ることで子供達に伝えられる大切なことは何か考える。そして、たどりついた一つが「北浦の水を守る」ということだった。

前任校の延方小スポーツ少年団で、社会奉仕の一環として、2月に北浦の浄化を呼びかける北浦一周サイクリングを提案させてもらい実施してきたばかりだったからである。その際、沿岸に住む人々や、釣りをしている人達とのやりとりの中で確かな手応えを感じることができたのである。

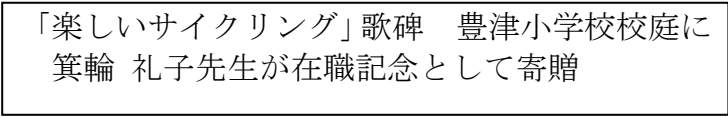
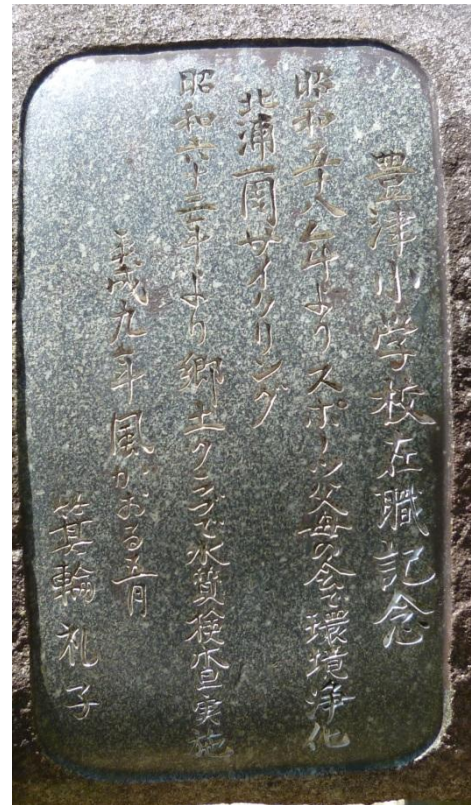
そして、この年の10月10日、延方スポーツ少年団と合同で、豊津小スポーツ少年団として第1回目となる「霞ヶ浦浄化キャンペーン北浦一周サイクリング」を実施した。

次の年からは、豊津スポーツ父母の会として独自に実施することになり、春5月と決め、今年は32回目を行った。

県の湖浄化のキャッチフレーズにもなっている「湖はみんなの宝、みんなの命」は当時4年生の女兒が、県の標語に応募して最優秀賞をもらった作品である。今では誰の作品か確かめようもないが、当日みんなが掛ける黄色のタスキには、北浦への思いが込められた言葉があふれている。10周年記念の年には、児童達の作詩・作曲による「楽しいサイクリング」の歌もでき、子供達が歌う澄んだ声が北浦沿岸や湖上に響き渡った。

「泳げる北浦」を目指し、これからもみんなの願いが込められたこの黄色のタスキが渡し続けられていくことを心から願っている。





忘れられない「とよつふれあい運動会」の道のり



初代豊津まちづくりセンター長 石上 方雄

私の脳裏に去来する忘れられない「とよつふれあい運動会」。日本中を騒がせた、不審者出没事件。新聞、テレビはトップニュースとして大きく報道され、すべての学校は門扉を閉ざし、出入りも一層厳しくなり、学校はその対策に追われる毎日でありました。このままでは、益々学校と地域の距離が遠くなって行くことに危機感を感じました。

当時、行政が進めていた「地域で支える学校づくり」を地域課題の基軸として、合同運動会の実現のため、地域住民の総意で提唱し、無理難題は覚悟の上で懇願しましたが、やはり避けては通れない、不審者対策と安全性の問題がありました。

私たち地域に難しい対応が求められましたが、このまま諦める訳にはいかない。子供たちを犯罪から守らなければならない使命と責任があり、他には全く例のない係として、協調性を押さえ、和みのある「安全指導係」を新たに設けて犯罪の抑止に万全を期すことを約束し、お互いに問題を共有しながら、前に進むことを確認して、学校は保護者へのアンケート調査、秋の行事の調整と動き始めました。

石崎校長先生（当時）はじめ先生方、そしてPTAの皆様方の勇気ある判断と行動に心から感謝を申し上げ、長い歴史と伝統ある豊津小学校の新しい時代の幕開けになって、ついに平成18年10月8日、記念すべき、「第1回とよつふれあい運動会」が、盛大に実施されました。

校庭を埋め尽くした、人、人、人、人。私はこのすばらしい光景に感動し、このまま無事終わってくれることを祈る緊張の一日でした。きびしい道のりではありましたが、多くの皆様に支えられ、励まされ、又適切なご指導、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

職員の皆さんには、準備に、企画検討に、遅くまで取り組まれたその姿に感謝し、特に高安さん（現センター長）には、担当者として連絡調整に奔走していただきました。大変ご苦勞様でした。

未来ある子どもたちに夢と希望を、そして大人たちに寛容と豊かな知識を心に秘めて、地域が一丸となり、さらに充実した「とよつふれあい運動会」が今後大きく発展されることを願いたします。





年度別スローガンと入賞地区

【平成16年度】

第27回住民体育祭（10月10日）

スローガン 「 みんなでつくる たのしい笑顔 」

優 勝（大船津第2区） 準優勝（大船津第1区）

【平成17年度】

第28回住民体育祭（10月9日）

スローガン 「 みんなでつくる たのしい笑顔 」

雨天のため室内競技にしたため、区対抗戦は行わず順位なし

【平成18年度】

第1回ふれあい運動会（10月8日）

スローガン 「 いまひとつ とよつのちから ちいきのわ 」

優 勝（大船津第2区） 準優勝（大船津第3区）

【平成19年度】

第2回ふれあい運動会（6月9日） ※学校工事のため

スローガン 「 手をつなぎ みんなでつくろう 豊津の輪 」

優 勝（大船津第2区） 準優勝（大船津第1区）

【平成20年度】

第3回ふれあい運動会（10月7日） ※アイビーグラウンドで実施

スローガン 「 運動会 みんなでつなごう とよつの輪 」

優 勝（大船津第2区） 準優勝（大船津第3区）



【平成21年度】

第4回ふれあい運動会（10月4日）

スローガン 「 手をつなぎ 大きくしよう 地域の輪 」

優 勝（大船津第2区） 準優勝（爪木区B）

【平成22年度】

第5回ふれあい運動会（10月9日）

スローガン 「ふれあいと笑顔あふれる運動会 」

優 勝（大船津第1区） 準優勝（新田区）

【平成23年度】

第6回ふれあい運動会（10月8日）

スローガン 「 運動会 笑顔でつなぐ 豊津の絆 」

優 勝（爪木区A） 準優勝（大船津第2区）

【平成24年度】

第7回ふれあい運動会（10月5日）

スローガン 「 大空の下 ^{もと} 未来へ羽ばたけ 豊津の子 」

優 勝（新田区） 準優勝（大船津第2区）

【平成25年度】

第8回ふれあい運動会（10月12日）

スローガン 「 この笑顔 みんなにつなぐ 豊津の子 」

優 勝（新田区） 準優勝（大船津第1区）



「とよつ親子かるた」読み札編集回顧



とよつ親子かるた編集委員 青山 敏男

「とよつ親子かるた」大会も、まちづくり事業の一つとして定着し、編集に関わった一人として嬉しく思います。

顧みれば、読み札作成の編集委員が、藤枝先生・故笹本先生・元石上館長・高安主事（現館長）・私を含め五名で構成され、他に、まちづくり委員・公民館主事等の皆さんにも、いろいろと協力を頂き編集にあたりました。

「豊津の歴史・伝統・文化・自然環境等」を、「七五調の読み易い文言とする」を基本とし、編集にあたりました。

作業をして行く中で、「いろは・・・」の文字を、読み札の文頭に位置付けることの難しさに苦慮しながら、知恵を絞り合って、何とか四十六枚の読み札を完成させました。

最後の一枚が仕上がったときの感動・喜び・安堵感は、今でも忘れられません。地域を巡り、資料収集・文献探りに多くの時間が費やされました。そうした作業を通して、改めて見直す郷土の歴史、現代人の生きる糧を学ばせていただきました。

今後も、「とよつ親子かるた」を家庭、地域の行事等で活用され、郷土を愛し、恵まれた自然を大切にする意識、友達・家庭の絆が、一層密になることを期待しております。

最後に、豊津地区まちづくり委員会のますますの充実と発展を祈念します。





※（学年）は平成16年度作成年次

	読 み 札	絵札	絵札作成者
い	いちばん いち とりい はつもうで いの一番 一の鳥居より 初詣		君和田 祐弥（3年）
ろ	ろくじぞう みちび ねが 六地藏 こころをこめて 導き願う		笹 本 悠 希（4年）
は	はっさく よる あんどん 八朔の 夜のにぎわい 行灯まつり		遠 藤 篤 史（6年）
に	にんぎょう かない あんぜん あくまばら 人形おくり 家内安全 悪魔払い		郡 司 穂乃佳（2年）
ほ	ほ び ぶね しらう おわかさぎ えび ざっこ 帆引き舟 しらうおわかさぎ えび 雑魚		藤枝 泰一郎 石上 珠妃愛（1年） 石上 千代
へ	へ どもなく みずきよ う へどろなく 水清かれと あさざ植え		藤枝 泰一郎 高 安 広 子
と	どうぞじん さと まも みち 道祖神 里を護って 道しるべ		遠 藤 篤 史（6年） 遠 藤 操
ち	ちようちん ごこくほうじよう 提灯ゆれる 五穀豊穡		郡 司 穂乃佳（2年） 郡 司 典 子
り	りそうきよう つくろうもり じぞういん 理想郷 創ろう杜の 地藏院		大川 かつ子 藤 枝 正 子
ぬ	ぬれぎぬを き せられて ち てんぐとう ぬれぎぬを 着せられて散る 天狗党		小池 由紀子（4年）
る	るんるんと ゆめ かたろう こうみんかん るんるんと 夢を語ろう 公民館		高 安 広 子
を	かいうん ねがうつまぎ さ ん やさま 開運を 願う爪木の 二十三夜尊		石上 珠妃愛（1年） 石上 千代
わ	わかしゆう かっこ しあわ むらきとう 若衆が 各戸に倅せ 村祈禱		青 野 雄 輔（5年）

か	かしまし あした じんぐうばし 鹿嶋市の 明日にかける 神宮橋		中村 あずさ (6年)
よ	よしきり な かわぎし すいじんぐう よしきり鳴き 川岸さわぐ 水神宮		山 岨 梓 (3年)
た	たいも たいりょういのる た えび す 鯛持って 大漁祈る 立ち恵比須		藤 枝 瑠 海 (6年)
れ	れいけん やくし 霊験あらたか お薬師さま		山 口 貴 大 (6年)
そ	そよ かげ ゆれる あし は みず そよ風に ゆれる葦の葉 水ぬるむ		奥 田 翔 (6年) 平 沼 翔 太 郎 (4年)
つ	つまぎはな あそ ひ ち 爪木鼻 かいつぶり遊びし 肥よくの地		藤 枝 泰 一 郎 高 安 広 子
ね	ねんがん か し ま さいしよ かん いすいどう 念願の 鹿島町で最初の 簡易水道		高 安 広 子
な	ながれかわ かみよ 流れ川 神代のすがた いつまでも		郡 司 穂 乃 佳 (2年) 根 本 佳 緒 (2年)
ら	らんせい おもかげ だいじょうべ た 乱世の面影しのぶ 大掾辺田		高 安 広 子
む	むかえび も ふ な つ じょうやとう むかえ火が 炎える大船津の 常夜燈		高 安 広 子
う	うつく じん でん あおた なが 美しい 神田の青田に なあば流し		立 花 美 咲 (6年)
え	えいれい みたましずめん ちゅうこんひ 英霊の 御霊鎮めん 忠魂碑		根 本 佳 緒 (2年) 笹 本 正 朔
の	はなみゆめみる どてざくら のびやかに 花見夢見る 土手桜		宮 崎 幸 子
お	おおふなつごう あんたいいのる ちんじゅ やしろ 大船津郷 安泰祈る 鎮守の社		根 本 佳 緒 (2年)
く	くまの じんじや さんしんまつる たいこ かみ 熊野神社 三神祀る 太古の神		君 和 田 祐 弥 (3年)
や	やくはらい むらびとまもる しんでん 厄払い 村人守る 新田かぐら		笹 本 匠 夢 (2年)
ま	まつおかじゆく かんがく さいほう ぎょうぎみならい 松岡塾 漢学 裁縫 行儀見習		高 安 広 子
け	けんしき たかめん さいほう かんがく いじゆつ あかしじゆく 見識を高めん 裁縫 漢学 医術の明石塾		君 和 田 耕 平 (5年) 君 和 田 元 浩
ふ	ふつとじ お たから ふなこしじぞう 普渡寺に 座わす宝物の 船越地藏		郡 司 遥 佳 (5才) 郡 司 典 子

こ	こやちょう 古屋町に あんざんいのる 安産祈る こやすさま 子安様		関 口 康 平 (6年)
え	えふだ か 絵札描く とよつしょう 豊津小の こどもたち こどもたち		岡 野 司 (5年) 小 泉 直 希 (5年)
て	て 手をあわせ ごうかくいのる 合格祈る かくらいてんじん 鶴来天神		君和田 拓也 (6年)
あ	あ ^よ の世へは だれ ^{わた} もが渡った 極楽橋 ごくらくばし		富 山 美 香 (2年)
さ	さいしょういん 最勝院 おん ^な 女性の守神 しゅしん 淡島様 あわしまさま		君和田 麻優 (1年)
さ	き ^み 聞かざる 見ざる 言わざるの 三猿護る さんえんまも しょうめんこんごう 青面金剛		藤 枝 瑠 海 (6年)
ゆ	ゆめ ^{さんばし} 夢の棧橋 じょうきせん 蒸気船		藤 枝 瑠 海 (6年)
め	め ^{おと} 夫婦の守護神 しゅごじん 比咩宮 ひめのみや		富 山 美 穂 (6年)
み	み ^{こし} 神輿かついで あまごいてんじん 雨乞い天神		君和田 拓也 (6年)
し	しょうばいはんじょう 商売繁盛 きが ^ん 祈願は もり 森の稲荷様 いなりさま		郡 司 遥 佳 (5才) 郡 司 典 子
ひ	ひやくやつつ 百八つ ぼんのうしず 煩惱沈めん ろうば 老婆たち		高 安 広 子
も	も ^{ゆうひ} 燃ゆる夕日 は 映える北浦 きたうら		本 宮 和 子
せ	せんどう 先導で すすむ ^は 進むは御座舟 ござふね 御船祭り おふなまつ		小 池 由 紀 子 (4年)
す	すいそじん 水祖神 みず ^{あんぜん} 水の安全 まも ^{がみ} 護り神		富 山 美 香 (2年) 富 山 和 子

い ろ は

の文字は

藤枝 泰一郎 氏

解説本絵は

実川 克宏 氏



『とよつキッズ』で子どもも大人も元気に！



元センター主事 大川 かつ子

『とよつキッズ』事業が始まって今年で9年目となります。振り返りますと、平成15年度に実施致しました豊津地区へのアンケート調査で、「豊津には子どもが安心して遊べる場所がない」、「少子化で地域の明るさが減少した」等の地域課題が浮かび上がりました。その課題対策の一環として、平成18年度に、それまで親子教室を担当していた文化福祉専門部では子育て支援を大きな柱とし、『とよつキッズ』事業を企画・実施して現在に至っています。

『とよつキッズ』は、“子どもは地域の宝、地域の子は地域で育てよう”を根底に、豊津の恵まれた自然環境を生かし、地域の方々にボランティアをお願いし、様々な体験と参加者の触れ合いを事業の目的として始められました。

最初の事業は北浦に目を向け、手作りの竿で魚釣りを企画。魚釣りを得意とする地域の方達に、竹などの材料の準備から竹竿作りや魚の釣り方までを、優しく丁寧に指導していただきました。たくさんの魚を釣ることができましたが、釣りの楽しさや難しさを参加した子どもたちは体験できたように見えました。

また、まちづくりセンターの花壇を畑にして「リトルファーム」と称し、“作って食べよう！”と野菜作りを実施しました。子どもたちは慣れない手つきで鍬を持ち、地域の方達の指導を受けながら畑を耕し、畝を作り、トウモロコシやスイカなどの夏野菜作り体験をしました。夏の収穫祭には80数名の子どもと大人が汗を流して協力し、まさに体験と触れ合いのにぎやかな一日となりました。

6月には地域の方から寄せられた「流川にほたるがいるよ。」という情報をきっかけに、「ほたる学習会・見学会」を実施することができました。ほたるという小さな命への出会いに大人も子供も感動の一夜でした。

以後、魚釣りは3回実施し、「リトルファーム」「ほたる見学会」は現在も『とよつキッズ』事業として継続されています。他にもグラウンドゴルフ、陶芸、そば打ちなどたくさんの体験とふれあいの事業が実施されてきました。

私事ではございますが、公民館主事として10年間勤務させていただき、平成22年3月に退職いたしました。まちづくり委員会の皆様、また地域のたくさんの方々に助けていただき、支えていただいた10年間は私にとってかけがえのない時間となっています。

お世話になった部長さん、まちづくり委員の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。現在は文化福祉専門部員、また地域ボランティアとして『とよつキッズ』に参加しています。心新たに子どもたちとのふれあいの時間を楽しみつつ、子どもたちから元気をいただいている今日です。

地域の皆様と一緒に『とよつキッズ』事業をこれからも応援していきたいと思っています。





地域の皆様と共に



元センター主事 本宮 和子

「るんるんと夢を語ろう公民館」。

とよつかるたにも詠まれているように、豊津まちづくりセンターは、いつも笑顔があふれる楽しい職場です。豊かな自然に恵まれ、風光明媚な職場で働けた10年間。地域の人たちの温かいご支援と深いご理解に支えられ、地域の皆様と共に学び、共に成長いたしました。

平成8年に主事になり、その頃は市役所の職員が2名勤務し、館長と主事だけが地域の方でした。成人セミナーも8回ほど実施しておりましたが、地域型に変わってからは、その他の事業がふえたので少なくなりました。また、地域の方の発案により、成人セミナーから楽学セミナーに変わり、現在に至っております。計画を立てるにあたっては、海老沢部長（当時）をはじめ、移動学習の下見など協力してくださった方々に、心より感謝いたしております。セミナーの中でも特に思い出に残るのは、自分だけのオリジナル作品を作った山方町（現常陸大宮市）での紙漉き体験・九十九里町でのガラス工芸・結城市での草木染め体験などです。その時の作品はずっと愛用しています。

また、恒例となりました「とよつまつり」は、「楽しい催し物や日頃の活動を発表、創作作品を展示し、新たな創作意欲を高めると共に、多くの方々に鑑賞する機会を提供し、併せて地域文化活動の向上と地域住民相互の交流を図る」ことを目的とし、回を重ねるごとに、にぎやかさを増してきました。実行委員さんはもちろん、多くの方々の熱心なご協力が、豊津地区ならではの温かみのある「とよつまつり」を盛り立ててくれています。作品展示の方も、始った頃より内容豊富で、豊津の文化活動、サークル活動等の「あしあと」が感じられます。

これからも末永く、まちづくり（公民館）事業に参加することで視野が広がって行くと思いますので、皆さんもどうぞ積極的にお気軽に参加しませんか？





第3章



とよつまちづくりセンターだよりから見る

10年のあゆみ

参考資料

公民館だより第1号（抜粋） 初代公民館長 君和田 源一 氏

広報記録専門部委員名簿

年度	部長	副部長	委員
16	和田 勉	黒須 ゆき	浜田 善久・君和田 正子・藤枝 英夫 桐生 進一・宮本 恵子
17	和田 勉	黒須 ゆき	浜田 善久・君和田 正子・藤枝 英夫 桐生 進一・宮本 恵子・糟谷 純子 中村 博元
18	和田 勉	黒須 ゆき	浜田 善久・君和田 正子・藤枝 英夫 桐生 進一・宮本 恵子・糟谷 純子 中村 博元
19	和田 勉	浜田 善久	黒須 ゆき・君和田 正子・藤枝 英夫 桐生 進一・宮本 恵子・糟谷 純子 中村 博元
20	浜田 善久	君和田 正子	和田 勉・黒須 ゆき・藤枝 英夫 桐生 進一・宮本 恵子・糟谷 純子 中村 博元
21	浜田 善久	君和田 正子	和田 勉・黒須 ゆき・藤枝 英夫 桐生 進一
22	浜田 善久	藤枝 英夫	和田 勉・君和田 正子・桐生 進一
23	藤枝 英夫	桐生 進一	和田 勉・浜田 善久・君和田 正子
24	藤枝 英夫	桐生 進一	和田 勉・浜田 善久・君和田 正子
25	桐生 進一	藤枝 英夫	和田 勉・浜田 善久・君和田 正子 郡司 典子

豊津まちづくりセンター かわら版 平成20年8月1日発行

そよかぜ 第37号 広報記録専門部

ゴミのないきれいな豊津を！
第2回豊津クリーン

<地域環境専門部>

豊津地区の皆様、暑中お見舞い申し上げます。
第2回「豊津クリーン」が、下記日程で実施されます。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

“夏休み中の「とよつキッズ」のみなさんも、「豊津ク
リーン」に参加してください。” ホタルの住む豊津をみ
んなでさらにきれいな環境にしましょう！

◆日 時 8月17日(日)
午前8時～

◆集合場所 各地区資源ゴミ回収場所

◆内 容 堤防等地区内のゴミ拾い

◆準備物 手袋・ぼうし・ゴミを入れる袋

☆可燃・不燃ゴミ分別のご協力もよろしくお願いいたします。

「とよつまちづくりセンターだより」は、事業報告を中心に、まちづくりに関する出来事を掲載している。大体年3回発行している。

かわら版「そよかぜ」は、行事案内・イベントのお知らせを中心に、原則毎月1日と15日の行政委員の配付に合わせて発行を心掛けている。

とよつまちづくりセンターだより

第 1 号

平成 16 年 6 月 1 日 発行

編集・発行

広報記録専門部

「豊津らしいまちづくり」



豊津地区
まちづくり委員会
委員長 額賀 富雄

豊津地区の田園風景も一面の青さの中からかえるの音が聞こえてくるこの頃です。こんななかなか郷にまちづくりとは、のどかな地域にあった豊津らしいまちづくり、ふる里づくりをするのかなと思います。

四つの専門部に分かれて、豊津らしい地区まちづくりをし、各専門部部長さんや先頭に第一回の専門部の会議を設定し、一年間の方針とか行事計画を協議しいよいよスタートという感じであります。

専門部は

- 一 地区まちづくり
- 二 スポーツ健康づくり
- 三 広報記録
- 四 福祉環境

以上四部門です。

各専門部の委員さん、部長さん、それに公民館の主事の皆さんが、協働のまちづくりについて「俺たちがやらなければ、俺たちのまちなのだから」という意気込み、活気を感じる第一回の会議でした。

豊津のまちづくりを完成させましょう。

豊津の皆さんのご協力をお願いします。

「新しい時代の地域づくりをめざして」



豊津公民館
館長 石上 方雄

まったくの素人の私が地域の皆様に推され、大役を引き受けたいとして早二ヶ月が過ぎようとしております。

週三日の勤務体制も、ふと気がつけばほとんど毎日。その職務の重さを改めて痛感しながら、地区住民の皆さんの幸せづくりのため気持ちも新たに歩みだしたところです。

私たちの公民館も、活動および人づくりの拠点である館ができて九年目を迎え、十六年四月より地域管理型、協働のまちづくりへとその姿が大きく変わりました。

これまでの経験や能力を活かし住民一人ひとりが主役となりお互いに「集い、学び、結び場」としての関係を深め常に皆さんと話し合いを持ちながら、地域の課題に取り組んで参ります。

公民館は地域の皆さんの学習の場、また心のやすらぎの館としてスポーツ、レクリエーション、まちづくりに関する講座等のさまざまな活動を通して地域住民の親睦と融和を図りながら、誰からも親しまれ、愛され、そして皆さんが気やすく来られるような、ふだん着の公民館を目指します。

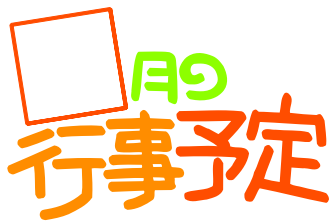
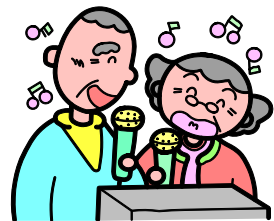
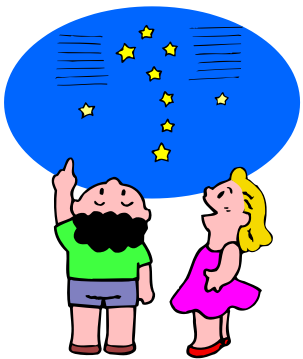
一人ひとりの英知を結集した新しい時代の、新しい地域づくり実現のため惜しみないご指導、ご協力を心からお願い申し上げます。

平成16年度豊津地区まちづくり委員名簿

敬称略 順不同

No.	氏 名	役 職 名	No.	氏 名	役 職 名	No.	氏 名	役 職 名
1	青 野 稔	大船津新田区長	33	大 川 けい子	実践者	61	重 田 敏 美	実践者
2	青 野 市 郎	大船津新田副区長	34	宮 本 恵 子	実践者	62	山 口 敏	実践者
3	宮 崎 富 雄	大船津第1区長	35	内 田 次 雄	実践者	63	亘 利 治	実践者
4	小 倉 俊 明	大船津第1副区長	36	君和田 信 二	実践者	64	君和田 靖 弘	実践者
5	岡 野 要 司	大船津第2副区長	37	海老沢 勝 男	実践者	65	君和田 通 子	実践者
6	山 口 昭 三	大船津第3区長	38	根 本 四 郎	実践者	66	君和田 正 子	実践者
7	藤 枝 太 一	大船津第3副区長	39	柿 木 重 正	実践者(市体育指導員)	67	額 賀 由美子	実践者
8	額 賀 富 雄	爪木区長・まちづくり地区委員	40	海老沢 茂	実践者	68	君和田 しお子	実践者
9	小 沼 文 雄	爪木副区長	41	内 野 賢 良	実践者	69	山 町 京 子	実践者
10	坂 本 仙 一	市議会議員	42	和 田 勉	実践者	70	宮 崎 勇	上手町
11	藤 枝 昭 司	シニア会長	43	小 室 富 保	実践者	71	大 川 喜 美	下手町
12	石 崎 とも子	小学校長	44	黒 須 均	実践者	72	箕 輪 章	田 町
13	君和田 元 浩	PTA会長	45	岡 野 実	実践者(市体育指導員)	73	柴 田 良 吉	出口町
14	富 山 和 明	子ども会育成会長	46	濱 田 善 久	実践者	74	飯 島 昌 寿	仲 町
15	中 村 博 元	青少年相談員、父母の会	47	内 野 安 彦	実践者	75	富 山 義 雄	南町第1
16	黒 須 ゆ き	公民館運営審議会委員	48	海老沢 良 政	実践者	76	山 沢 彰	南町第2
17	青 山 敏 男	まちづくり地区委員	49	藤 枝 英 夫	実践者	77	藤 枝 定 夫	川岸町
18	根 本 芳 子	民生委員	50	桐 生 進 一	実践者	78	青 塚 幸 一	須保居町
19	斎 藤 幸 子	民生委員	51	海老沢 貴 志	実践者	79	(兼)藤 枝 太 一	通 町
20	宮 崎 幸 子	福祉推進委員・まちづくり地区委員	52	長 州 よしゑ	実践者	80	内 田 俊 郎	清 町
21	藤 枝 泰一郎	実践者	53	石 上 千 代	実践者	81	藤 枝 健 一	新田町第1
22	笹 本 正 朔	実践者	54	藤 枝 正 子	実践者	82	(兼)内 野 賢 良	新田町第2
23	糟 谷 純 子	レディースクラブ	55	小 亀 恵 子	実践者	83	君和田 貢	岡 町
24	青 野 重 義	消防団	56	松 尾 恵 子	実践者	84	野 口 幸 男	谷原町
25	笹 本 剛	消防団	57	君和田 章	実践者	85	君和田 政 道	原 町
26	松 岡 美 光	職工組合	58	小 沼 和 延	実践者	地区活動推進委員		
27	大 川 長 男	実践者	59	遠 藤 操	実践者			
28	内 田 早 苗	実践者	60	山 町 重 信	実践者			
29	大 川 悟	実践者	今年一年よろしく おねがいします。					
30	宮 本 勝 典	実践者						
31	大 川 一 雄	実践者						
32	青 野 次 雄	実践者						
						公 民 館 職 員		
						No.	氏 名	役 職 名
						1	石 上 方 雄	館 長
						2	高 安 広 子	主 事
						3	大 川 かつ子	主 事
						4	本 宮 和 子	主 事

平成16年度豊津地区まちづくり事業計画

月	行 事	セ ミ ナ ー ・ 教 室	研 修 ・ 会 議	関 連 事 業
5	北浦一周サイクリング 23 日 (日) 高齢者スポーツ大会 (春季) 22 日 (土) 豊津ハイキング (月居山) 30 日 (日)	高齢者教室 22 日 	まちづくり委員会総会 7 日 (金) 各専門部長会 7 日 スポーツ健康づくり専門部 福祉環境専門部会 14 日 広報記録専門部	
6		成人セミナー① 5 日 (開講式・講話) 趣味の教室 ① 12 日 (開級式 トールペイント) 親子教室 20 日 (とよつかるたづくり) 男の料理 26 日 (そば打ち)	公民館だより発行 (第1回)  そうですね おじいさん 一緒に参加しようかね。おばあさん	
7		成人セミナー② 14 日 (介護実習) 趣味の教室② 17 日 (木目込みパッチワーク)	スポーツ専門部会 2 日 (金) (ソフトボール大会について)	子ども会 11 日 (日) キックベースボール大会 豊津スポーツ父母の会 親子ハイキング (筑波山) 24 日
8	ソフトボール大会 8 日 (日) 	男の料理 7 日 (中華料理・酒の肴)	公民館だより発行 (第2回) スポーツ専門部会 (体育祭種目について) 20 日 (金) スポーツ・区長・推進員 (体育祭について) 27 日 (金)	
9		成人セミナー③ 24 日 (移動学習 和紙作り) 趣味の教室 ③ 11 日 (籐のリース)	住民体育祭実行委員会 17 日 (金)	敬老会 予定
10	第27回住民体育祭 10 日 (日) 予備11 日 (月) 	高齢者移動教室 21 日 	体育祭反省会 16 日 (土) 福祉環境専門部会 各クラブ代表 1 日 (金) (公民館まつりについて) 公民館まつり実行委員会 27 日 (水)	
11	豊津ハイキング (養老溪谷) 27 日 (土) 第9回公民館まつり 20 (土)・21 日 (日)	成人セミナー④ 6 日 (地区内の歴史・文化散策)		
12	 	男の料理③ 4 日 (お好み焼き他) 親子の料理教室 23 日 (ケーキ作り) 趣味の教室 ④ 25 日 (フラワーアレンジメント)	公民館だより発行 (第3回) 	豊津スポーツ父母の会 親子スポーツ大会 12 日 (日) 大掃除 26 日 (日)
1		親子星の観察 15 日 成人セミナー⑤ 22 日 (在宅介護の食事作り)		成人式 9 日 予定 豊津スポーツ父母の会 スキー教室 (米沢) 29 日 (土) ~ 30 日 (日)
2		成人セミナー⑥ 12 日 (閉級式 介護について) 男の料理④ 19 日 (魚料理)	福祉環境専門部会 (事業の反省・新年度の取 り組みについて) 20 日 (金)	
3	高齢者スポーツ大会 5 日 (土)	高齢者教室 5 日	公民館だより発行 (第4回) まちづくり委員会反省会 18 日 (金)	

豊津クリーン清掃 毎月第3土曜日 (午前9時~) 公民館集合
但し、市主催の美化運動の一斉清掃日は除きます。

とよつまちづくりセンターだより

第2号

平成16年8月1日発行

編集・発行

広報記録専門部

平成十六年度
とよつまちづくり
センター専門部長
ごあいさつ

地域づくり専門部
部長 青山 敏男



地域づくり専門部では「美しく潤いのあるまち豊津」を目指し、本年度は「親子かるた作り」「豊津クリーン」「一声運動」を実践テーマとして設定し、活動しております。愛する郷土豊津がクリーンで潤いのある、より住みよいまちづくりを推進するには、地域住民の皆さんのご指導・ご協力が不可欠です。よろしくお願いします。

広報記録専門部
部長 和田 勉



豊津地区の皆さんの活躍を紹介したく本年度も部長を拝命しました。よろしく願います。

スポーツ健康づくり部専門部
部長 岡野 実



近年の少子、高齢化により社会環境が大きく変化するなか、地域住民主体のスポーツ活動が、今後ますます重要になってくると思います。

日常生活の中でスポーツを通して、健康・体力の維持増進を図り親睦を更に深めながら展開して行きたいと願っています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いします。

福祉環境専門部
部長 根本 芳子



福祉環境は委員さん始め公民館主事さん、豊津地区住民のみなさんからご意見を出して頂き、学習課題・生活課題を楽しく勉強し、コミュニケーションづくりをしたいと思います。微力ながら頑張っていきたいと思えます。みなさん、よろしくご指導ご協力をお願い致します。

第22回 霞ヶ浦浄化キャンペーン「北浦一周サイクリング」 5月23日(日)晴 参加者62人

豊津サッカークラブ8名は、試合当日にため5月30日(日)に完走したそうです。おつかれさまでした。



石上館長激励あいさつ



六年間完走賞は遠藤篤史くん一人でした。また、永年ご協力いただいている山町さんと遠藤さんへ特別賞をお贈りしました。



サイクリングを六年間やって遠藤 篤史
ぼくは、北浦や利根川のサイクリングを六年間やり続けました。一年生のときはつらかったけど、徐々になれていきました。そして今年走り終わると六年間やり遂げたという達成感があふれてきました。

ぼくは、北浦が昔のように早くきれいになってもらいたいです。



次回もよろしくお願いします

第1回趣味の教室

日時 平成16年6月12日(土)
内容 トールペイント
【Tシャツに花を描く】
講師 大川美佐子 先生(宮下在住)
参加者 21名



布に絵を描くこと、しかも1本の筆だけで……。多分ほとんどの受講生が初心者であり、始まりのときの表情をみていると緊張と戸惑いが感じられるものでした。しかし時間がたつにつれ、教室内のあちこちで話し声が聞こえ和やかな雰囲気となり、テーブルの上には色とりどりの可憐なマーガレットが描かれつつありました。
好みの色合いのオリジナルTシャツが完成し、受講生も満足したことと思われます。

高齢者スポーツ大会(春季)

日時 5月22日(土)
小雨まじりの開会式となり、5月にしては寒い1日でした。
地域づくり部、スポーツ健康づくり部などのまちづくり委員さんの協力をいただき、スムーズに進行することができました。

【成績発表】
クロッケー ＊6組参加
優勝 新田A 青野 吾妻 大川
準優勝 爪木B 野口 君和田 君和田
第3位 大船津A 富山 笹本 藤枝
輪投げの部(9投×5回) ＊51人参加
優勝 生井沢 久(新田)
準優勝 藤城 まさ(新田)
第3位 藤岡 とみ(新田)
グランドゴルフの部 ＊48人参加
優勝 君和田 三郎(爪木)
準優勝 藤岡 源左エ門(新田)
第3位 藤枝 栄子(大船津)

豊津クリーン

「美しい潤いのあるまち豊津」をめざし七月十七日(土)に実施しました。今回は百名以上の方に参加いただきました。猛暑の中本当にお疲れ様でした。「皆さんのご協力ありがとうございます。」

5月25日の地域づくり専門部会で、平成16年度は、豊津クリーン・一声運動・とよつ親子かるた作り、この3つの事業を実施することになりました。



日時 六月二十日(日)
内容 豊津地域に関することなら(歴史・風景他)なんでも自由に詩句にまとめ、紙芝居の大きさの用紙(ボード)に親子で考えたかるたの絵を完成させる。
講師 藤枝泰一郎先生
参加者 実川克宏氏(市職員) 小学生十八名 父兄二十二名



豊津小学校校庭 水神様のいわれの紹介

第1回「男の料理」

日時 平成16年6月26日(土)
内容 そば打ち
講師 尾口 昭夫先生
(平井在住)
参加者 15名



一般的に素人がそばを打つ、しかもおいしいそばを打つことは難しいという観念があり、不安と期待の中でそば打ちに挑戦しました。多少緊張気味で始まったものの、徐々に和やかな雰囲気となり、どのグループも真剣にしかも楽しくそば打ちを体験することができたようです。



日時 五月三十日(日)
参加者 二十名
袋田の滝との組み合わせで奥久慈最高の観光地とされ、四季を通して多くの人に登られている山である。前山と後ろ山で成る双耳峰で高い後ろ山の標高は四百二十三メートルです。
登りは勾配の急な鉄の階段から始まり、やがて石段へと変わり生瀬の滝、前山、観音堂を経て後ろ山について昼食を食べました。当日は暑くてちよつと疲れました。

月居山ハイキング

第1回 6月5日(土)
参加者 44名
「心に寄り添う看護、介護とは」
講師 松田 敏裕(医師)先生
(さくらクリニック)

介護される人の身になって言葉を考えると
言うことや、視線を下げて接する事の大切さが心によりそう看護・介護であることを楽しく学ぶことができました。

成人セミナー

第2回 7月14日(水)
参加者 33名
「介護実習と施設見学」

在宅ケアセンター・たかおざきでのやさしい介護実習と、特別養護老人ホーム・うえるさんて大洋の施設見学を実施しました。



行事紹介

とよつ親子かるた作り

とよつまちづくりセンターだより

第3号
平成16年11月1日発行
編集・発行
広報記録専門部

第27回住民体育祭 大船津第2区初優勝



＜区対抗種目＞

種目	1位地区名
チューブレース	大船津第1
ボイスで禁止	爪木A
棒とり合戦	新田
つなひき	大船津第2
よちよちペンギンレース	新田
パンアメリカン食うこう	新田
天までキック	大船津第1
区対抗リレー	大船津第2

住民体育祭最終成績表

順位	地区名	得点
第1位	大船津第2区	480点
第2位	大船津第1区	420点
第3位	新田区	390点
第4位	爪木A区	270点
第5位	大船津第3区	200点
第6位	爪木B区	190点

＜個人賞＞

クイズチャンピオン	爪木B	君和田 章
天までキック男子の部	大船津第1区	高橋 昌敏
天までキック女子の部	爪木B	君和田 廣子
MVP	大船津第2区	笹本 剛



競技内容を変えて実施した、一般男女自由参加の「人生山あり谷あり」はとても盛り上がりました。写真を見ただけでもおわかりいただけると思います。



ハッスル爪木ペア



大型の台風二十二号が通過した翌十月十日、台風一過の晴天には恵まれましたが、第二十七回豊津地区住民体育祭が開かれました。前日までの雨で、多少柔らかなめのグラウンドでしたが、その中で栄えある総合優勝は「大船津第二区」が獲得しました。途中までは、三種目で一位をとった新田区が独走かと思われましたが、前半から万遍なく高得点を積み上げ、最後の区対抗リレーも制した大船津第二区に優勝トロフィーが渡されました。（総合成績は、別表のとおり）今年度は、これまで出た意見を反映し、区対抗種目の数を減らしたり、新種目を多数盛り込んだりとプログラムの大幅な変更を行いました。実行委員として参加された地域の皆さんのご協力により滞りなく進行、そして終了することができました。未就学の子どもからお年寄りまで、地区の皆さんが一堂に集い、競い、笑い、楽しんだ一日でした。皆さん、お疲れさまでした。

台風一過の開催は混戦を制したのは「大船津第二区」



高安・本宮・黒須・根本・宮崎さんによる「よさこいソーラン節」です。

豊津地区

祝 鹿嶋市敬老会



9月26日、豊津地区敬老会が開かれました。
豊津地区の該当者（71歳以上）は、263人で、参加者は113人でした。
米寿が3人、喜寿は17人おり、新しく仲間入りした方は11人いました。
敬老者のみなさん、いつまでもお元気で。また来年お会いしましょう。



ご来賓
石崎校長
大川教育委員
坂本市会議員

小学一・二年生
による
「よさこい
琉球王」の
披露

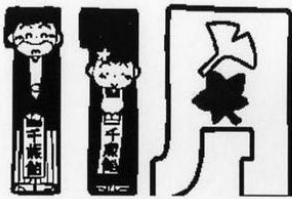


参加した
新敬老者の
皆さん

第9回とよつまつり

作品募集

陶芸・絵画・書道・写真・工芸
手芸・華道・その他
豊津小学校児童作品



20日(土)
21日(日)

参加対象者・・・ 豊津地区在住・在勤者
申し込み期限・・・ 11月13日(土)
作品搬入飾りつけ・・・ 11月19日(金)
問い合わせ先・・・ 豊津まちづくりセンター
申し込み先電話・・・ 83-5680

のど自慢大会参加者募集



公民館はみんなが幸せを感じる場所
地域のみんなの笑顔がもっとも似合う
そんな豊津のおまつりに参加しませんか！



当日は、フリーマーケット・喫茶コーナー・
ちびっこ体験コーナーetc
老若男女、誰もが楽しめる企画が盛りたくさん
楽しみにまってね！

とよつまちづくりセンターだより

第4号

平成17年3月15日発行

編集・発行

広報記録専門部



市民大会の第一部で、花植え活動等で地域美化に貢献されている「大船津みなも会」(代表 黒須はるさん)と、ゴミ回収活動等で環境美化に貢献されている(野沢政朗さん)が表彰されました。これからもよろしくお願いします。

二月二十七日、三笠まちづくりセンターで『第二回鹿嶋市まちづくり市民大会』が行われました。これは、市民の主體的なまちづくり活動を広く共有し、情報交換の場とすることなどを目的に行われたものです。

第二部で、青山敏男さん(豊津まちづくり委員会地域づくり専門部長)が豊津での取組み(『とよつ親子かるた』作り)を報告しました。内容は、先人から受け継いだ豊かな豊津の自然や史跡を、歴史資料・お年寄りからの説明・史跡めぐりなどから「絵札」・「読み札」にまとめるまでの過程をまとめたものです。

プロジェクトを用いてのわかりやすい説明に、会場を埋めた参加者たちから感心の声がありました。

アジフライ
アジのたたき
ロール白菜
大根サラダ



豊津ハイキングで
晩秋の養老の
自然を満喫

53名参加

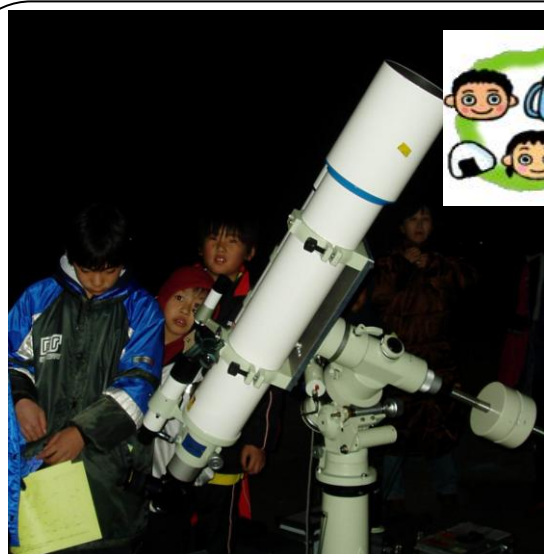
フラワーアレンジメント
〔お正月を飾る花〕



簡単なクリスマスケーキ
& ドリンク作り



親子ケーキづくり

親子
星の観察

天体望遠鏡
による観望会
と学習会



成人セミナー

在宅介護の食事づくり

高齢者
スポーツ大会



風船バレー

二月二十七日、新田船溜りから根三田側への鰐川堤防に桜五〇本が植栽されました。この植栽事業は三回目になり、豊津小プールの下から新田側にきれいに桜の木が並びました。今回は、プール側で成長の悪い十六本も植え替えられました。早く成長し、私たちの目を楽しませてほしいですね。寒い中、参加した皆さん、お疲れ様でした。



鰐川堤防
植栽事業

とよつまちづくりセンター だより

第5号

平成17年6月15日発行

編集・発行

広報記録専門部

地域・家庭・学校が一体となった北浦一周サイクリング

平成17年5月15日(日)



雨にも負けず

第二十三回北浦一周サイクリング

五月十五日、スポーツ少年団父母の会・豊津公民館共催の「北浦一周サイクリング」が行われました。午前七時、初参加の一年生二人も含め、折り返し地点の銚田を目指し、元氣いっぱい小学校を出発しました。今年は四歳児(小沼竜太郎君)の参加もあり総勢八十人の一行が地域の方や釣り客に「私たちの願い・北浦浄化」を呼びかけました。ところが、居合を過ぎたあたりからパラパラと小雨が降り始めやがて大粒の雨に。雨宿り休憩で様子をみている中、役員さんが協議。その結果、北浦大橋を渡る短縮コースに変更し、小降りになったところで再出発。途中何度か小雨に降られながらも正午頃、無事、豊津公民館に到着しました。閉会式では、六年間完走した二人に賞状と楯が贈られました。短縮コースに物足りなさそうな子どもとホッとした大人が印象的な第二十三回サイクリングでした。

参加された皆さん、お疲れ様でした。日頃の生活でもPRした「北浦浄化」に努め、また来年、健康づくりを兼ねたこのサイクリングに参加しましょう。地域の皆さんも、どうぞ参加ください。お待ちしております。

参加者談

小沼弘一さん(爪木)

四歳の息子を連れて参加。

「完走は難しいかなと思ったけど、行けるところまで頑張れば、何かしら得るものがあるだろうと思って参加させました。完走できて良かったです。」

完走者談

富山秀人くん(大船津)

「一年の時は転んでケガをしたけれど、最後まで走れてうれしかった。今年はお父さんやお母さん、妹と一緒に楽しかった。」

遠藤真輝くん(爪木)

「幼稚園の時に初めて参加し七回走った。最初の頃は辛かったけど、だんだん辛くなってきた。六年生までずっと参加できてうれしかった。」



豊津まちづくりセンターにスナップ写真を沢山掲示していますのでみにきてくださいね。

平成十七年度
豊津地区まちづくり委員会活動方針

豊津地区まちづくり委員会は、地域社会の核として住民・まちづくりセンター・行政の3者で、「協働のまちづくり事業」を推進するために設立され2年目を迎えました。

地域には多くの課題があり、その課題解決にそれぞれ努力していますが解決に至っていないものもあります。委員会はその課題解決に立ち向かい、豊かな地域の醸成をめざし、3者が協力してまちづくりを推進していきます。

しかし、設立して2年目の委員会が本格的に活動し本格的に目的を達成するまでに多くの時間が必要であり、また多くの対話が必要であります。その対話と支えあいによって3者間が共通理解を深められ、実質的な活動が展開されると思われます。

豊津まちづくり委員会は、対話による協働のまちづくり事業により地域課題の解決に向け、豊津まちづくりセンターと共に歩んでいきます。

《目標》

一 住民主体のまちづくりセンター活動の推進

- ① まちづくり委員会の活動の充実
 - ② 専門部による事業の計画と立案
 - ③ 事業ごとにおける実行委員会の充実
- 二 地域づくり、地域福祉活動の展開
- ① 「何が課題なのか」を見つめながら目的を持った活動の推進

② 地域福祉活動の充実に向けた学習や活動の推進と、福祉施設関係機関との連携

- ③ 人間関係づくりのための交流機会の拡充
 - ④ 郷土愛を育む活動の展開
 - ⑤ 事業を通じた地域社会文化の保存、継承活動の推進
- 三 生涯学習に対応する活動の展開
- ① 余暇拡大に対応した自主的な事業の充実
 - ② 学習機会の提供及び学習情報・資料の収集と提供
 - ③ 自主学習グループの育成

四 青少年健全育成の充実

- ① 地域ぐるみの健全育成活動の推進
 - ② 親子ふれあい事業の実施
 - ③ 青少年の公民館活動への参加拡充
- 五 関係団体との連携強化

- ① 共催事業の実施
- ② 相談機能の充実（資料、情報の収集と提供）
- ③ 施設、設備の提供（活用の働きかけ）
- ④ クラブ・サークル等の育成及び援助

役員紹介

委員長	額賀 富雄
副委員長	君和田 元浩
地域環境専門部長	青山 敏男
// 副部長	大川 一雄
スポーツ健康づくり専門部長	岡野 実
// 副部長	柿木 重正
文化教養専門部長	海老沢 良政
// 副部長	藤枝 正子
広報記録専門部長	和田 勉
// 副部長	黒須 ゆき
福祉専門部長	根本 芳子
// 副部長	宮崎 幸子
幹事	松尾 恵子
//	宮本 恵子
監事	大川 一雄
//	糟谷 純子



5月21行事紹介

高齢者教室
交通安全講話



鹿島市役所の土屋さんや鹿島警察署の永峰係長・鹿嶋市交通安全母の会の下鳥会長にお世話になりました。

輪投げの部

輪投げ大会成績
第1位 岩崎ふじ
第2位 遠藤 実
第3位 藤城まさ



グランドゴルフの部

グランドゴルフ大会成績
第1位 野口二三枝
第2位 伊原ケイ
第3位 小沼敏夫



クロッケーの部

クロッケー大会成績
第1位 大船津A 富山しも・吉川きみ・藤枝みよ
第2位 新田A 吾妻功一・青野 啓・大川久一郎



とよつまちづくりセンターだより

第6号

平成17年11月1日発行

編集・発行

広報記録専門部

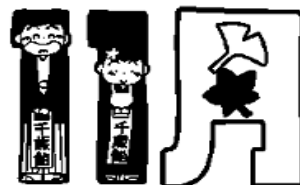
第10回とよつまつり

作品募集

陶芸・絵画・書道・写真・工芸
手芸・華道・その他
豊津小学校児童作品



のど自慢大会参加者募集



19日(土)
20日(日)

参加対象者… 豊津地区在住・在勤者
申し込み期限… 11月12日(土)
作品搬入飾りつけ… 11月18日(金)
問い合わせ先… 豊津まちづくりセンター
申し込み先電話… 83-5680



公民館はみんなが幸せを感じるところ地域のみんなの笑顔がもっとも似合うそんな豊津のおまつりに参加しませんか！



当日は、フリーマーケット・喫茶コーナー・ちびっこ体験コーナーetc
老若男女、誰もが楽しめる企画が盛りだくさん楽しみにまわってね！

イベント紹介

◎作品展

絵画・書道・写真・工芸・手芸・華道・他
日時 11月19日(土) 9:00~18:00
11月20日(日) 9:00~13:00
会場 会議室&和室

とよつまつりを見にきてね



とてもステキな作品を



◎模擬店

焼きそば・おでん・混ぜご飯・花の苗・野菜・焼きたてのパン・その他
日時 11月19日(土) 9:00~
会場 公民館前広場

◎大型紙芝居

日時 11月19日(土) 9:00~随時
会場 公民館前広場(雨天の場合ロビー)

◎フリーマーケット

11月19日(土) 9:00~14:00
会場 公民館前クロケコート(雨天の場合はロビー)

欲しいものがたくさんあるよ！



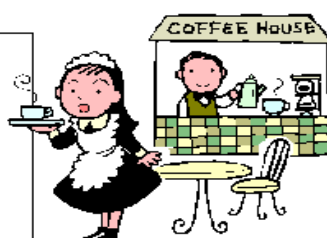
◎とよつのだ自慢

カラオケ・大正琴・その他
日時 11月19日(土) 14:30~16:00
会場 図書コーナー及びロビー



◎喫茶コーナー

11月19日(土) 9:00~14:00
会場 公民館敷地内(雨天の場合は図書コーナー)



◎ちびっこ体験コーナー

スポーツチャンバラ 11月19日(土) 10:00~14:00
昔の遊び 11月19日(土) 10:00~14:00
ビーズ 11月19日(土) 10:00~14:00
押し花 11月19日(土) 10:00~14:00

第28回住民体育祭

観客参加者大
笑白狭
い熱し
と



秋雨が降りしきる十月十日、第二十八回豊津地区住民体育祭が豊津小学校体育館で行われました。雨天のため、参加者が少なくなったものの、会場にきたほぼ全員が参加する豊津らしいアットホームな雰囲気でした。

当初予定の十月九日は大雨で、翌日に順延。しかし、みんなの願いもかなわず、十日も朝から雨は降り続き、体育館での雨天用プログラムで実施されました。プログラムからは残念ながら区対抗種目がなくなり、午前中に終了できる9種目と縮小されましたが、子どもからお年寄りまで、各種目で参加のお断りが出るほど多くの方が積極的に参加され、にぎやかに進行了しました。

体育館内ということで定番種目に代わって行われた新（臨時？）種目が大好評。大会長とのじゃんけん大会『グーチョキパー』では、子どもたちが大活躍。百二十人あまりの参加を制したのは爪木の君和田源幸君（小4）でした。また雑巾がけ競争の『豊津クリーン』では、子どもたちばかりでなく、お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃんも大ハッスル。翌日の足腰の痛みなどを考えず、ゴールめがけての雑巾ダッシュに、館内は大盛り上がりでした。そして、最後の種目はみんなのお目当て『クイズチャンピオン』。

『グーチョキパー』以上に膨れ上がった参加者の中で、第二十八回大会の王者（優勝者）は新田上手町の藤城智恵子さんに決まりました。賞品の自転車に乗ってのウイニングランに、館内からは羨望のまなざしと拍手が送られました。

雨天による体育館での開催という初めての試みでしたが、参加者たちの協力の下、ケガやトラブルもなく、無事終了しました。競技というよりは、レクリエーションの色が濃いた大会となり、ちょっとしたっかりされた方もいたかもしれませんが、豊津住民の結束力、協力性の強さを改めて実感させられる場となりました。皆さん、お疲れ様でした。



クイズチャンピオン
新田上手町の
藤城智恵子さん



「とてもうれしいです。でも、この自転車、どうやって帰ろうかしら・・・（笑）」

とよつまちづくりセンターだより

第7号

平成18年3月1日発行

編集・発行

広報記録専門部

2006年1月17日 茨城新聞に紹介していただきました。

鹿嶋の史跡、祭り、自然が分かる



第1回豊津かるた大会で競技する参加者ら
鹿嶋市大船津の豊津まちづくりセンター

鹿嶋市豊津地区の史跡、生活、文化、祭り、行事、自然などを紹介する「とよつ親子かるた」が完成し、同市大船津の豊津まちづくりセンターで十五日、第一回豊津地区かるた大会が開かれた。

かるたは、豊津地区ま 子供時代の記憶は大人 ンゲをして史跡などを巡 ちづくり委員会（額賀富 になっても残ることか り、地域を勉強。その 雄委員長）の地域環境専 ら、子供のうちに郷土を 後、児童らが絵を描い 門部（青山敏男部長）が 覚えてもらうのも狙い とた。読み札と解説は元 中心となり発行。親子の 目的。 員の藤枝泰一郎さん 市立豊津小の児童や父 母が昨年六月、サイクリ 母が昨年六月、サイクリ 母が昨年六月、サイクリ

とよつ親子かるた完成

入賞者感想

絆や郷土愛深める

七調でまとめた。四百部 を作成し、学校、地区の 希望者、小学校の同窓会 などに配布した。

鹿嶋神宮への玄関口と なる一の鳥居を紹介した のが「いの一の鳥 居より 初詣」。そのほ か、天狗党、神宮橋、御 船祭りなどを題材として いる。二千年前の話から 現代まで幅広く収録し た。

かるた大会には六十六 人が参加。未就学児、小 学一・二年、三・四年、 五・六年、一般の五部門 に分かれて競技を行い、 入賞者が決まった。

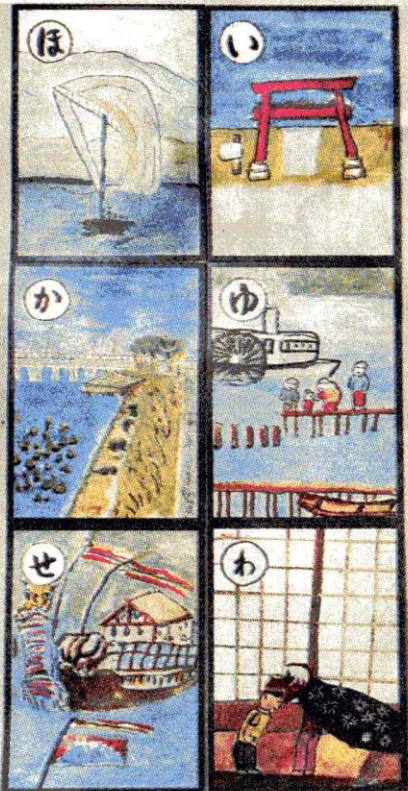
一般 青山 和子
記念すべき第一回の豊津 かるたに出場し、豊津の歴 史を楽しみながら学ぶ機会 をいただきありがとうございます。

六年 遠藤 真輝
友だちの描いた「とよつ かるた」が完成し、初めて の大会で優勝でき、トロフ ーに名前が刻まれてよか った。

四年 石上 瞬也
同じクラスの拓真さんと 敬さんに負けると思ったけ ど、逆転優勝ができてうれ しかった。

二年 君和田 勁
かるた大会では、一瞬ダ メかと思ったけど、優勝で きてよかったです。その 夜も家族でかるたをやりま した。

未就学児 青山 昂生
たくさんかるたがとれ てきもちよかったです。ら いねんもやりたいです。



豊津まちづくりセンター事業紹介



7/7 とよつふれあい塾（お茶っこの会）



6/26 花いっぱい運動



ザリガニつり

11/19・20
とよつまつり



のど自慢大会に歌手の
軽部美智子さんがゲスト出演



9/11 ソフトボール大会



12/24 趣味の教室



10/16 三世代交流グランドゴルフ



8/21 親子教室石けん作り



11/6 滝川溪谷ハイキング



1/29 男の料理教室

とよつまちづくりセンターだより

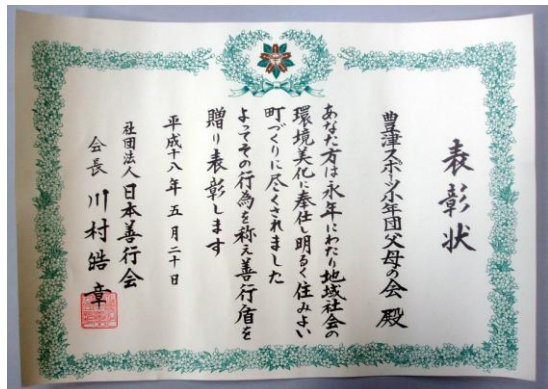
第 8 号

平成18年6月15日発行

編集・発行

広報記録専門部

豊津スポーツ父母の会 平成18年度春季善行表彰を受賞



石上館長・箕輪先生・桐生父母の会会長

去る五月二十日（土）、豊津スポーツ父母の会（旧名・豊津スポーツ少年団父母の会）が、（社）日本善行会から東京明治神宮参集殿に於いて、平成十八年度春季善行表彰を受けました。受賞理由は、長年に渡る湖の「環境美化」で、四半世紀に及ぶ「北浦一周サイクリング」が評価されました。表彰式には、この事業の火付け役であり現在も指導者として係わっていただいている箕輪礼子先生も参加されました。賞状と盾は、まちづくりセンターに飾っており、七月上旬に行われる小学校の授業参観日に合わせ、小学校にも展示する予定です。

第24回霞ヶ浦浄化キャンペーン 北浦一周サイクリング

コース
豊津小～水原～白浜～掛崎～豊津公民館
(約35km) 参加者数 78名



感想

北浦沿岸の恒例行事となった「北浦一周サイクリング」（豊津スポーツ父母の会豊津地区まちづくり委員会共催）を、五月十三日に実施しました。今回は、先に神宮橋を渡って行方路を北上し、北浦大橋を渡る「北浦一周」のコース設定であったことから、九十名余りの申込みがありました。当日は、はつきりしない空模様の中七十八名で元気に出発。前半は向かい風に苦しみながらも、いつもと違う眺めを楽しみ、後半は小雨に降られながら昼食を取らずに公民館へ向かいました。しかし、ゴールしたみんなの表情には、やり遂げたという充実感も漂っていたように感じられました。

残念ながら、今年度は六年間完走賞がありませんでした。しかし、今後の活躍を期待することから一年生五人に「努力賞」を贈りました。年々、北浦護岸のゴミは少なくなってきたように見受けられますが、「継続は力なり」の言葉のように、沿岸に住む地域住民として、北浦の浄化に日々努めていくことを確認して終了しました。

一年 青野 加奈

雨と風でたいへんでした。今年はみんなより、おくれてしまいましたが、来年はもっと自転車乗りを練習して、がんばりたいです。来年のサイクリングがたのしみです。

一年 藤枝 健太郎

僕は初めて北浦一周サイクリングに参加しました。自転車に乗り始めたばかりで、遠くまで行ったことはないのですが、最後まで走れるかどうか心配でしたが、何とか走れてうれしかったです。でも疲れしました。雨が降っていて冷たかったです。北浦の周りを走ったので景色がきれいで気持ちよかったです。北浦がもっときれいになったらいいと思います。

三年 君和田 勁

今年は去年に続いて、2回目のさんかでした。雨がふっていてさむくて大へんだったけれども、みんな頑張ってくんぞできてよかったです。来年もがんばってさんかしたいです。

爪木 大内 晃夫

あいにくの雨模様でしたが、慣れた景色も自転車ですっきり走っていくと、普段気付かないことに出会えたような気がしました。雨にうたれながら頑張っていた子ども達の姿にも感激しました。来年も参加したいです。



今年も在宅介護支援センターたかおぎの石田さん（介護支援専門員）に健康体操を指導していただきました。足腰を鍛えるため毎日少しの時間を利用して健康体操を行いましょう。（公民館で指導します。）

数日前からの天気予報は悩ましく、一日延期で実施された西沢溪谷ハイキング。月晴れの中、二十三名の参加者でいざ山梨へ向かいました。輝くばかりの新緑と溪谷の水音は心地よく、あちらこちらに見られるピンクのしゃくなげも美しいものでした。マイナスイオンをいっぱい吸い込み、空気ビタミンのシャワーを浴びながら、冷水浴森林浴を思いきり楽しむことが出来た素晴らしい一日でした。

西沢溪谷で身も心もリフレッシュ！



華道クラブの皆さんに感謝！



後列左より小室・秋竹・郡司・大川・長洲
前列左より飯島・笹本・青山代表・黒須（敬称略）

クロッケーの部
優勝新田B
吾妻功一 大川金作
宮本元子
2位新田D
大川久一郎
岩崎 耀 青野静江
3位新田A
青野 啓 内田勝男
大川淑江

グランドゴルフの部
優勝 笹本キヨ子
2位 坂本 ふみ
3位 野口二三枝

輪投げの部
優勝 野口二三枝
2位 藤岡 とみ
3位 伊原 けい

高齢者 5月6日（土）
スポーツ大会



「七ツ釜五段の滝」

西沢溪谷
ハイキング
5月21日（日）



紹介

豊津まちづくりセンター開館以来、来館される皆様をいつも明るくやさしく迎えてくれる生け花・・・皆さんお気付きですよね。華道クラブの生け花です。華道クラブは月二回、青山マサさんを代表とし十名のクラブ員で活動。毎回ボランティアでまちづくりセンターの玄関と和室の床の間に、四季折々の花を心を込めて生けて下さっています。長年の皆様のボランティアに、心から感謝申し上げます。

5月20日（土）
豊津クリーン

ご協力ありがとうございました



お知らせ

今年より、豊津地区住民体育祭と小学校の秋季大運動会が共催として実施になります。詳細については、現在スポーツ健康づくり専門部の皆さんが学校と協議をしながら検討中です。お楽しみに。

とよつまちづくりセンターだより

第 9 号

平成18年11月1日発行

編集・発行

広報記録専門部

スローガン 『いまこそひとつ とよつのちから ちいきのわ』



仲良く・楽しくでも勝負は
真剣大人も子供も楽しみま
した頑張りました

『いまこそひとつ とよつのちから ちいきのわ』を合い言葉に十月八日「第一回とよつふれあい運動会」が行われました。今大会は、鹿嶋市初の、小学校運動会と住民体育祭の合同運動会となりました。これまで住民体育祭に小学校を招待する形式では行われましたが、合同開催ということで、関係者の中には一抹の不安を覚える方もいたようです。あいにくの天気で一日順延になりましたが、先の不安など吹き飛ばすかのように、未就学児から高齢者までの豊津の力が一つになり、和やかな雰囲気の中でも熱い真剣な戦いが繰り広げられました。

種目は児童たちの競技・演技の間に区対抗種目や自由参加種目が入る形で構成されました。

地域の皆さんは、児童たちの競技や演技、それに進行や放送準備などの係活動に一生懸命取り組む姿に感心し、惜しみない大きな拍手をしていました。特に、高学年のブラスの演奏と低学年の遊技（ソーラン節）には、会場一杯の手拍子も出、スローガンどおりの『地域の輪』が確認できました。

区対抗の結果ですが、コンスタントに高得点を積み重ねた大船津第二区が優勝しました。第二位は大船津第三区、そして第三位は新田区となりました。反省会では、今後検討すべき課題も出されましたが、素晴らしい出来映えだったことから、次年度以降もこの形式で、豊津の誇る連帯感・地域力を更に高めていきたいということで意見は一致しました。

最後になりますが、一年以上かけてこのような素晴らしい運動会を練り上げてきた役員さん、そして参加された皆さん、お疲れ様でした。そして、来年もまたこのような豊津ならではの素晴らしい運動会を行いたいものです。

特集号

とよつふれあい運動会

感想と記録



大会長
豊津小学校長
高正 孝行

多くの地域の皆様方に参加していただき、第一回の「ふれあい号」を実施することができました。とても素晴らしい運動会でした。参加されたみなさんの思いが伝わるようなとてもよい雰囲気での運営することができました。地域の皆様方のご協力、誠にありがとうございました。

今回の運動会を通して、子ども達が、いろいろな競技で最後までやりぬいたことや係活動や応援で意欲的に活動できたこと等で大きく成長できたことと思います。

これからも地域の皆様方と連携して、「よりよい豊津小」を目指したいと思っております。



「ふれあい号の船出」
大船津第2副区長
飯島 亘隆



優勝を引っ張る



僕は第一回のとよつふれあい運動会で、児童代表の実行委員に選ばれました。開会式のあいさつは心臓がドキドキしましたが、練習したかいがあつて、みんなの前で大きな声で元気に言えました。この運動会で僕が一番頑張ったことは地区対抗リレーです。力いっぱい走り終わった後、同じ地区の人から「すごく早かったよ、頑張ったね。」といわれたのでとてもうれしかったです。この思いは大人になっても絶対に忘れません。このように小学校最後の運動会は、僕にとってすばらしい心の宝になりました。

改めて、地域のみなさん本当にありがとうございました。



「思い出に残る運動会」
笹本 裕希



記念すべき第一回の「とよつふれあい運動会」は秋晴れの基に実施され、久々に小学生と競技し、心地よい汗をかいた。以下は恒例の須保居町シンポジウム（本来の意は集って飲む）の一人一言からの集約である。

①対抗種目が少なく選手集めが容易であり、集合も早かった。

②通学路で会う小学生の顔と学年が十分分かった。

③観戦者も増えた等の、全て好意的な意見であつた。

「ふれあい号」は船出の段階であり、舵取りは住民自身である。



PTA会長
野口 庄壽



荒天のため一日延期となりましたが、「第一回とよつふれあい運動会」での子ども達の真剣な取り組み、地域の方々の交流いががでした。

参加していただいた皆様には、豊津地区のすばらしさを改めて感じてもらうような運動会になったのではないかと考えています。

来年度は、開催会場や時期が不確定ではあります。今年以上に多くの方々に参加していただきさらに充実した「とよつふれあい運動会」となりますよう、引き続き皆様のご協力をお願いしたいと思います。



お楽しみに

十八年度子育て支援事業紹介

- ◆第一回 (七月十六日)
釣竿を作って魚釣りをしよう
- ◆第二回 (八月二十四日)
大型紙芝居・かるた&冷たいデザート作り
- ◆第三回 (十一月十九日)
とよつまつり模擬店出店体験
(チョコバナナ・手づくりせつけん販売)
- ◆第四回 (十二月三日)
たこ作り 十一月一日発行
かわら版で募集案内予定
- ◆第五回 (二月四日)
チョコレートケーキ作り



ちょっとおすまし顔の新敬老の皆さん

鹿嶋市敬老会（豊津地区）
九月十七日実施

- ①対象者 二百七十三名
- ②出席者 百十五名
- ③新敬老者 二十八名のうち十一名が参加

とよつまづくりセンターだより

第 1 0 号

平成19年3月1日発行

編集・発行

広報記録専門部



2月4日、豊津まちづくりセンターで「第2回とよつま大会」が行われ、幼児、小学校低学年・中学年・高学年・一般シニアの6部門に分かれて熱戦が繰り広げられました。この「とよつま親子かるた」は、一昨年に実施した「親子史跡めぐり」を基に、子どもたちが豊津小学校区内の名所・旧跡などを絵札に描き、読み札と解説文を編集委員が作成したもので、豊かなふるさと『豊津』の自然・文化・歴史などを、綿々と伝えていきたいという熱い気持ちで込められています。読み手の発声と同時に反応する子どもたちの横で、微笑ましい絵札とにらめっこする大人たち。元気にはしゃぐ子どもたちと苦笑いや感嘆の声を発する大人たちの対照的な姿がとても印象的なひとときでした。

大会後は、まちづくり委員会文化福祉部の皆さんによりおしるこが振舞われ、参加者・役員一同、舌鼓を打ちました。

「るるんと夢を語ろう
公民館」でかるた取り

青柳教育長や
高正校長先生も
参加しました。

成績紹介

- | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|
| <p>○幼児の部（九人）</p> <p>優勝 君和田むつみちゃん</p> <p>準優勝 大内 あおいちゃん</p> <p>三位 松岡 れなちゃん</p> | <p>○低学年の部（十八人）</p> <p>優勝 青山 昂正君</p> <p>準優勝 大川 歩美ちゃん</p> <p>三位 郡司 遥佳ちゃん</p> | <p>○中学年の部（十七人）</p> <p>優勝 君和田 勁君</p> <p>準優勝 遠藤 愛美ちゃん</p> <p>三位 笹本 匠夢君</p> | <p>○高学年の部（十八人）</p> <p>優勝 笹本 悠希君</p> <p>準優勝 石上 瞬也君</p> <p>三位 君和田 恵哉君</p> | <p>○一般の部（八人）</p> <p>優勝 小泉 直希君</p> <p>準優勝 伏見 文さん</p> | <p>（教育委員）</p> <p>三位 山本 明美さん</p> <p>○シニアの部（七人）</p> <p>優勝 青山 マサさん</p> <p>準優勝 長洲 よしゑさん</p> <p>三位 君和田 美佐子さん</p> |
|--|--|--|---|---|---|



<出演者>
着付け（帯結び）
藤見家流踊り
祭頭囃子等

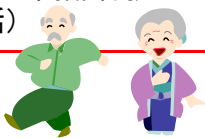
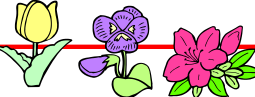
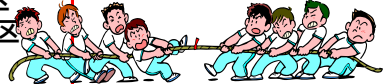
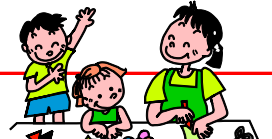
11月19日
とよつまつり
芸能発表会の
スナップ



平成18年度豊津地区まちづくり委員会事業報告

みなさんのご協力でここまで活動できました。ありがとうございました。



月	スポーツ健康づくり	地域環境	文化福祉	広報記録	まちづくり委員会
4	4/8 第1回専門部会議	4/8 第1回専門部会議	4/8 第1回専門部会議	4/8 第1回専門部会議 4/15かわら版発行	4/8(金)総会
5	5/6(土) 高齢者スポーツ大会83名参加	5/20(土)豊津クリーン① 	5/6(土) 高齢者教室(健康講話) 	5/1かわら版発行	花いっぱい運動
	北浦一周サイクリング 5/13(土) 78名参加	5/30(火) 花いっぱい運動 	子育て支援アンケート調査		5/27役員会① 
	5/21(日)豊津ハイキング(山梨市西沢溪谷) 23名参加 				
6			6/9(金) 楽学セミナー① 講話(ためになる税金の話) 27名参加 6/24(土) 男の料理① (餃子他) 19名参加	まちづくりセンターだより 第8号発行 	
7	7/2(日)ソフトボール大会 90名参加	7/8, 20, 26地域点検	7/16 子育て支援① (手づくりの竿でさかなをつろう) 47名参加		
8		8/19(土)豊津クリーン② 	8/5(土) 親子教室① (石鹸作り・お楽しみ食事会) 41名参加 8/24(木) 子育て支援② (おかしづくり大型かみしばい) 31名参加 8/27(日)男の料理② (うなぎの柳川風煮他) 22名参加		
9			9/21(木) 楽学セミナー② (移動学習結城市方面) 30名参加		9/17敬老会
10	10/8日(日)とよつふれあい運動会 800名参加 優勝 大船津第2区 準優勝 大船津第1区 	10/28(土) 花いっぱい運動	10/29(日)親子教室② (おもしろ理科先生) 29名参加		10/14(土)体育祭反省会③ 10/20(金)役員会③ 花いっぱい運動 10/28(土)
11	11/4(土)ソフトバレーボール大会 45名参加 		11/3(金)男の料理③ (うどん打ち) 16名参加 11/7(火)高齢者移動学習 絵付体験笠間方面43名参加 11/19(日)子育て支援③ (チョコバナナ屋体験14名参加) 11/30(木)楽学セミナー③ (太極拳に挑戦!) 17名参加	 まちづくりセンターだより 第9号発行	11/18(土)とよつまつり準備 
12		ワンちゃんへのお願い フンはちゃんと	12/3(日) 子育て支援④ やっこ風つくり14名参加 12/23(土) 趣味の教室① (フラワーアレンジメント)		12/17(日)大掃除 12/21(木)役員会④
1		1/20(土)豊津クリーン③ 			
2			2/4(日)かるた大会77名参加		2/17(土)役員会⑤ (反省会)
3				まちづくりセンターだより 第10号発行	

※かわら版10回発行

とよつだより

第 1 1 号

平成 1 9 年 6 月 1 日 発行

編集・発行

広報記録専門部

鹿嶋市の掲げる「協働のまちづくり」を目指して発足した豊津地区まちづくり委員会も、今年度で四年目を迎えました。

平成十九年度も四つの専門部（スポーツ健康づくり専門部・地域環境専門部・文化福祉専門部・広報記録専門部）を中心に、先月初めに配布された平成十九年度 豊津まちづくり委員会事業計画に基づき、地区住民の方々の協力を得ながら活動を展開していきたいと考えております。

まちづくり委員会事業は、できるだけ多くの方に、活動内容を知ってもらおうと同時に心を示してもらうことにより、楽しく充実した時間を過ごせることが一番だと思っております。三年間の活動実績を参考にしながら、今まで以上に充実した事業となるよう努めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をお願い致します。



H19年度委員長
君和田 元浩

まちづくり委員会 新旧委員長挨拶



H16～18年度委員長
額賀 富雄

豊津地区まちづくりが地域管理型まちづくりとしてスタート以来、早くも三年が過ぎました。

私、この三年間まちづくり委員長としてその職責をはたし得ました事は、住民の皆様と各委員の皆様方の御指導と御協力によるものと衷心より感謝を申し上げる次第でございます。

豊津らしいまちづくりといえるイベントは、小学校と住民による合同の運動会「とよつふれあい運動会」でありましょう。

この運動会の成功には、小学校の先生方と住民との打ち合わせに、何回も何回も労を惜しまず繰り返し返された事で成功に結びついたと思います。先生方に、又協力下さった住民と各委員の方々に御礼申し上げるものであります。

私も古希を迎え身体の不自由なところも出てまいりました。ここで現職を退かせて戴きたいと思っております。

新しいまちづくり委員長は、若々しいスポーツ万能でリーダーシップも抜群の君和田元浩君が引き継いで下さることになりましたので、益々豊津地区のまちづくりが発展するものと期待し、安心しておまかせできるものであります。

末筆になりましたが、豊津地区住民の皆様のお多幸を祈念しつつ筆をおかせて戴きます。

ありがとうございます御座いました。

とよつふれあい運動会



○スポーツ健康づくり専門部
部長 山町 重信
副部長 安重 松雄

○地域環境専門部
部長 額賀 富雄
副部長 飯島 亘隆

幹事 松尾 恵子
幹事 宮本 恵子
監事 青山 敏男
監事 黒須 ゆき

委員長 君和田 元浩
副委員長 飯島 亘隆

平成十九年度 役員紹介

敬称を省略させていただきます



○広報記録専門部
部長 和田 善久
副部長 浜田 勉



○文化福祉専門部
部長 海老沢 良政
副部長 青野 次雄

豊津小学校と地区住民による「第2回とよつふれあい運動会」が開催されます。今年のスローガンは、次のとおり決定いたしました。

「手をつなぎ みんなでつくろう とよつの輪」

- 1.日時 6月9日（土）8時30分～
- 2.会場 豊津小学校校庭
- 3.主催 豊津小学校・豊津地区まちづくり委員会
とよつふれあい運動会実行委員会
- 4.対象 豊津小学校児童・保護者・職員
豊津地区住民

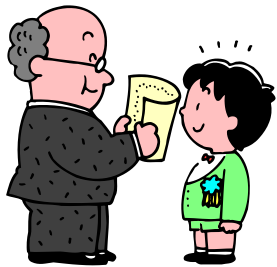
※ 雨天の場合は、10日（日）
16日（土）17日（日）に順延です。



「第二十五回
霞ヶ浦浄化
キャンペーン
北浦一周
サイクリング」



豊津小学校校舎大改築のため
サイクリングでは最後の記念
撮影となりました



雨の日、風が強い日、日差しが強い日も、一生けんめいにペダルをこいで六年間完走できました。完走ができたのは、他のみんなといっしょに楽しく参加できたからです。このキャンペーンも三十回、四十回、五十回と続くとうれしいです。



君和田源幸くん



亘 徳之助くん



五月十二日、快晴の下、恒例の北浦一周サイクリング（豊津スポーツ父母の会との共催）を実施しました。二十五回という節目でもある今年、一年生四人を含め約八十人の参加がありました。今年のコースは、豊津小学校を出発して、掛崎地区から北浦大橋を渡り、行方市（北浦西岸）を北上。鉾田市のエコハウスで昼食をとったあと、北浦東岸を南下して小学校へ戻るといふ長丁場のコース（約七十キロ）でした。午後から多少向かい風に吹かれましたが、天候に恵まれたこともあって、全員でゴールの小学校へ戻ってきました。閉会式では、君和田源幸君と亘徳之助君の二名が六年間完走賞の表彰を受け、日焼けして充実した顔の皆に祝福を受けました。

ぼくは、サイクリングに六年間参加しました。でもお父さんは十三年間も参加しています。二人のお兄ちゃんたちも六年間参加して小学校を卒業しました。だからぼくも絶対に参加しようと思っていた。去年とおとしは雨が降って四十五キロまでとなり今年以前どおりの七十キロでした。豊津小学校に着いたときはとてもうれしかった。実は去年のサイクリングで不満なことがありましたそれは学年が上がるごとに後ろの方になり、サイクリングの歌が聞こえなかったことです。でも、ぼくの希望をかなえてくれて、先導車と後方車から放送してくれたのがとてもよかった。無事に完走できて賞状をもらえてうれしかったです。ぼくは北浦が大好きです。

受賞おめでとうございます

みんなの真心が花ひらいた



善行表彰を受賞した豊津華道クラブのみなさん

第四回鹿嶋市まちづくり市民大会が去る二月二十四日に行われ、私たち豊津華道クラブが善行表彰を受けました。誰からともなく、公民館は豊津地区の顔でもあり、ホッとする気持ちになるような館でなければならぬので何かボランティアをということになり、情操教育にもなることから、和室と玄關にお花を活けてあげようかと話がまとまりました。昔とった杵柄ではないけどおさらいのつもりで「楽しく、無理をせず」をモットーに始めたのが平成七年八月でした。 「いつもきれいにお花が活けてありますね。」と言われると自然と顔がほころび、誠意を持って何事も継続すれば人の心を動かすことを知らされました。 現在、毎月第二、第四の水曜日に和気あいあいのなかでおさらいをしており、表彰されたことでこれからもできる限り続けようという気持ちで一人ひとり強くなったような気がします。また、石上館長さんはじめ、ベストメンバーの職員の皆さんが活けた後の心配りや山口生花店さんが花代を安くして下さいっており、こうした協力も長続きする要因の一つかと思っています。皆さんの協力を得て、これからもボランティアをして地域のために貢献していきたいと思えます。

とよつだより

第 1 2 号

平成19年11月15日発行

編集・発行

広報記録専門部



6/9
手をつなぎ
みんなでつくろう
とよつの輪



地区対抗の総合優勝は昨年に続き大船津第二区でした



子育て支援紹介 「リトルファーム」

『子どもと大人が
楽しく体験しています』

昨年、から地域の子どもと大人が交わって、いろいろな体験に取り組み子育て支援事業が始まりました。今年度は「リトルファーム」と称して土に親しむ農業体験、グラウンドゴルフ体験、とよつまつりで模擬店・チョコバナナ屋出店体験を実施しました。

特に「リトルファーム」ではまちづくりセンターの花壇を畑にして、近所の郡司さんや専門部委員にお手伝いいただき野菜作りに挑戦し、採れたての野菜で三回の調理を行い、手作りの旬の野菜の味を味わいました。

これからも地域の皆さんの協力をいただきながら、子育て支援事業を充実させていきたいと思っています。



8月19日 バーベキューの食材
(とうもろこし なす ピーマン等)の
収穫をしました



大きなスイカが
12個できました。



スイカの苗の植え付け作業





9/17 敬老会



本年は、豊津小学校大改修工事のため
鹿島ハイツで行いました。新敬老者
24名。出席者は112名でした。
皆さんおめでとうございます。



芸能発表の皆さん



安重さん 司会



君和田委員長
ご挨拶



おなじみのヨサコイソーラン



着付教室の皆さん

とよつまつり 11/4

今年は天気に恵まれ、屋外での催しを多く企画し、大勢の方々の参加で大盛況でした。



青空市場



カレーライス

模擬店も
完売しました



チョコバナナ



軽快なギター演奏に、
まつり会場も心地よい
空気に包まれました。



焼そば



焼き鳥

主な行事



11/10 ソフトボール大会



10/7 ソフトボール大会



8/19 豊津クリーン

編集後記

豊津地区のみなさん、月日がたつのも早いもので本年も残りわずかになりました。限られた紙面で活動を紹介をするのは大変ですが、参加されている人たちの表情を見ながら編集していると、次はどんな活動を紹介できるのかな、という興味がわいてきます。これからのいろいろな計画がありますので、参加をよろしくお願いたします。

広報記録専門部一同

とよつだより

第 1 3 号

平成20年3月15日発行
編集・発行
広報記録専門部

本年も昨年に引き続き新聞で紹介していただきましたので豊津の皆さんに紹介いたします。 H20.2.14(木)よみうりタウンニュース



幼児の部
佐藤賢吾君



低学年の部
君和田睦さん



中学年の部
大内海渡君



優勝者のみなさん
おめでとう
ございます



高学年の部
君和田悠哉君



一般の部
山本教頭先生



シニアの部
根本芳子さん

かるたを通して、郷土愛を育み、地域のコミュニケーション活性化などにつなげようとこのほど、「第3回とよつかるた大会」が鹿嶋市大船津の豊津まちづくりセンターで開かれた。



豊津地区でとよつかるた大会 楽しく郷土愛を育む

鹿嶋

今年の参加者は5、82歳の80人で、会場の和室は、熱気にあふれた。写真。未就学児部門で、21枚の札をとった佐藤賢吾君(5)第

使用したのは「とよつ親子かるた」。豊津地区にまつわる歴史や文化などを題材にして平成17年に作られたもの。46枚の絵札は、豊津小児童と保護者らが協力して描き、編集委員が作成した読み札には、解説文も添えられている。

四幼稚園(は「熱気で」暑かったけれど、おもしろかった。頑張っ、いっぱいいたからよかった」とニコリ。同地区まちづくり委員会の君和田元浩委員長(45)は「今後は、いかにして中学生を巻き込んでいくかが課題。より盛大な大会に発展させたい」と。



開会式直前の参加者

冷たい雨もなんのその、当日の会場は闘志満々、参加者の熱気があふれんばかりの情景でした。参加者は六部門で二回かるた取りを行いました。今年は「よろしくお願ひします。」「ありがとうございます。」「と挨拶もしつかりと気持ちよく、また接戦の場面もたくさんみられ、第三回にふさわしいかるた大会となりました。閉会式終了後に『お楽しみ食事会』でいただいたお雑煮は、役員さん達の愛情たっぷりの味付けで、子どもも大人も大満足でした。役員・参加者の皆様、ごくろうさまでした。

「挨拶で始まる
第三回とよつかるた大会」



つきたての餅でお雑煮作り風景
120人分のお雑煮作り、ご苦労様でした。

広報記録専門部が話し合った四年間の主な出来事

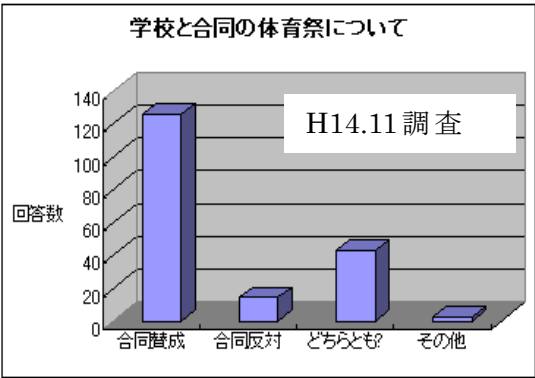
① 豊津親子かるた

親子で楽しんで作ったかるたを通して、自分たちの地域のすばらしさ良さを理解できた。



② 住民体育祭 → とよつふれあい運動会

地域アンケートをとり、豊津住民の意見を学校やPTAに伝え、長期間にわたり数多くの打ち合わせを実施し成功裏に終了した。



いまこそひとつとよつのちからちいきのわ



てをつなぎみんなでつくろうとよつのわ

③ 豊津クリーン

地域ぐるみで空カン等を拾い街がきれいになった。
1月27日には軽トラック6台のゴミが収集された。



ゴミ拾いの
後の一月の
豊津はさら
に美しいで
すね。



④ 子育て支援・大人と子どもが触れ合って・・・「とよつキッズ」

ものづくり体験を中心にはじめたが、19年度は食育の一環として旬の野菜作りから調理して食べるという体験ができた。

スイカの受粉6月



人参の種まき8月



石けん作り8月
収穫祭・流しそうめん



枝豆の調理9月



⑤ 男の料理教室

スタートしたときは数人だったが現在会員数23名と沢山の参加者があり、楽しいコミュニケーションの場となっている。

平成18年度第2回調理風景



「青野重秋さん お世話になりました」
男の料理が始まって五年。慣れないながらも少しずつ、和・洋・中といういろいろな調理に挑戦してきました。
その中でも魚をさばく魚料理には関心が高く、皆が熱心で雰囲気もいつもと違うものがありました。初年度から参加している青野さんには自ら魚釣りやうなぎや鯉、わかさぎなど新鮮な地魚を提供していただき、まさにこれが男の料理という包丁さばきも指導していただきました。青野さんの支えにより豊津らしい男の料理が展開されてきたのです。
青野さん、お世話になりました。美味しい魚と優しい笑顔がありがとうございました。美味しい魚と優しい笑顔をお祈りいたします。

編集後記
本年度もあと半月余りとなりました。広報記録専門部の最後の会報を送らせていただきます。例年であれば直近の活動報告を掲載するわけですが、一部の部員からこの四年間で館の呼称の変更や事務局が市の職員から地域の人たちへのバトンタッチ等めまぐるしく活動体制が変化したね。という意見があり、なにか良くなったり、変わったりしたかな、という話し合いをしました。沢山意見が出て楽しい討議となりましたが、全て掲載することは無理です。上記の五点到りしました。過去の活動を振り返り、今後の活動をみんなで支えていきましょう。

広報記録専門部一同

とよつだより

第 1 4 号

平成20年6月1日発行

編集・発行

広報記録専門部

題字 藤枝 泰一郎

今年度よろしく申し上げます。



まちづくり委員長 飯島 亘隆

未知の駅へ

万緑の候、いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。

まちづくり委員会活動は市の「協働のまちづくり」の一環として、地域活動の拠点「地区公民館」から「まちづくりセンター」に軸足を移し、数年を経ました。今は諸団体との関係も含めて、組織と事業の再点検をする時期と思われま

さて、忘れかけた言葉に「旦那」があります。語源を調べると仏教用語（サンスクリット語）で「布施」を意味する「dana」に由来し、英語ではドナー（提供者）へと変遷したといえるでしょう。

体の活力には、好きなことに知恵と汗を出すのが有効といわれます。地域の活性も同じではないでしょうか。未知の駅から明日へのたびに出かけましょう。

センター長 薄井 正夫

さらなる前進を



このたび、地域の皆様から推薦を頂き、若輩の私がセンター長という大役を引き受けることとなり、その職責の重さを痛感しておりますが、地域の皆様と一緒にまちづくりセンターの役割を果たしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。センター（公民館）も、平成十六年四月から「地域管理型、協働のまちづくり」へと大きく変わり四年が経過いたしました。この間、地域の皆様、まちづくり委員の皆様、石上前センター長が、協力し合いながら「集い学び、ふれあいの場」としての活動を行い、また地域の課題等に取り組み、まちづくりが進められてきました。本年度は、この四年間の活動実績を踏ま

え更なるまちづくりを進めてまいりたいと考えています。まちづくりセンター（公民館）は、地域の皆さんの学習の場として、健康づくり、また心の安らぎの館として、地域づくり等のさまざまな活動を通して、地域住民の親睦と融和を図りながら、誰からも愛され、そして皆さんが気安く来られるようなセンター（公民館）を目指して行きたいと思っております。一人一人の力を結集した新しい地域（まち）づくり実現のため、ご指導ご協力を心からお願いいたします。

前まちづくり委員長 君和田 元浩

豊津らしく



「協働のまちづくり」を目指して発足した豊津地区まちづくり委員会も、平成二十年度で五年目を迎えました。

四年間、役員の一人として委員会事業に携わってきましたが、地区住民の皆さん・まちづくりセンターの皆さん等大勢の方々にご協力をいただきながら、無事に事業を展開することができました。紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

今年度は、実践者の一人としてまちづくり委員会に携わっていくことになりました。生まれ育った地である豊津地区の住民として、さらに「豊津らしい事業」の展開に協力していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

前センター長 石上 方雄

思いやりに感謝

新緑の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私の度、三月三十一日を以って豊津まちづくりセンター長を退任致しました。在任中は、公私にわたり大変お世話様になり、厚くお礼申し上げます。



長い歴史と伝統のある公民館活動から住民主体のまちづくりの新たな課題にやささかの戸惑いはありましたが、委員長さんをはじめ地域の皆様の深いご理解とご協力により、「あわてず・あせらず・じつくり」とを合言葉に、充分な話し合いと関係団体との連携を密に取り組んで参りました。

二期四年間の多くの出逢いと沢山の思い出は、私にとって終生忘れられない貴重な体験となり、地域の皆様の豊かな人間性と思いやりにあたたかみを感じ上げると共に、職員の皆さんには常に非力な私を支えていただき本当にありがとうございます。今後は、一委員としてまちづくり活動に参加できればと願っております。

豊津地区まちづくり委員会の益々のご活躍と、皆様方のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

職員移動

☆退職 本宮 和子
☆採用 藤城 知子



平成20年度 役員紹介

◆委員長	飯島 亘隆	◆文化福祉部	部長 海老沢 良政
◆副委員長	和田 勉	部長 青野 次雄	
◆監事	黒須 ゆき	副部長 青野 次雄	
◆幹事	宮崎 幸子	◆広報記録専門部	
	松尾 恵子	部長 浜田 善久	
	笹本 晴美	副部長 君和田 正子	
◆地域環境専門部		◆スポーツ健康づくり専門部	
部長 隅本 祐司	田本 四郎	部長 山町 重信	
副部長 隅田 祐司		副部長 安重 松雄	

第26回霞ヶ浦浄化キャンペーン北浦一周サイクリング

主催 豊津スポーツ父母の会
会長 大川 正美
共催 豊津地区まちづくり委員会



風薫る五月というにはいささか強い風が吹く中、豊津小学校の児童、教師、保護者、豊津まちづくり委員、まちづくりセンター職員総勢六十三名が、午前七時三十分、元気に小学校を自転車で出発しました。

今回で二十六回を数えるサイクリングですが今年も北浦浄化を北浦周辺の住民や釣り人に訴えながら、北浦を一周するコースで行われました。全行程七十キロに及ぶ長距離のサイクリングですが、一人の落伍者もなく、無事完走しました。小学校に入ったばかりの一年生など、ついてこれるかどうか心配されましたが、堂々と先頭集団を走ってきました。

六年間連続完走者は、桐生貴子さんと富山美香さんの二名で、表彰状と記念の盾が贈られました。

また、長年この事業にご尽力されました箕輪礼子さんに感謝状が贈られました。

この活動が北浦浄化に微力ながら貢献していることは、誇りに思います。北浦沿岸に住む豊津地区の住民として、北浦浄化は切実な願いであり、今後もこの活動が続いていくことが望まれます。



桐生 貴子さん



富山 美香さん



六年間で晴れの日、雨の日、風の強い日、いろいろなありました。いつも足やおしりが痛くなりますが、北浦を見たり、友達と話しながら走る北浦一周サイクリングは、とても楽しい行事です。

ずっとこの行事が続き、早く北浦がきれいになってくれるといいなと思います。

私は姉や兄と一緒に参加したくて、小学校入学前の年から参加しました。この七年間には、北浦一周や利根川まで行くコースなどいろいろ変わりました。距離も短くなったり長くなったりしました。自転車一回転したり、北浦に落ちそうになったりしたこともありましたが、でも北浦をきれいにしてほしいという運動に参加できたことは私の自慢です。

表彰していただいてありがとうございます。

5月18日 第1回とよつキッズ スイカの苗の植え付け風景



5月18日第1回豊津クリーン ご協力ありがとうございました。



5月25日 第1回楽学セミナー 「特定健診制度を学習」

無理なく、楽しく とよつ悠々健康づくり



講話

講師 市国保年金課 池田香代美保健師

特定健診を受けて
メタボの予防と改善を
しましょう！
食事のコントロールと
適度な運動を
無理なく長続きさせる
ことが大切です。



メタボ予防体操

毎朝、9時になると
まちづくりセンターでは
ラジオ体操がはじまります。



平成20年11月1日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

豐津地区敬老会

汗あり 笑いあり 感動あり
第三回とよつふれあい運動会

豊津小PTA会長 桐生 進一

『運動会 みんなでつなごう とよつの輪』をキャッチフレーズに、小学校運動会と住民体育祭合同の「第三回とよつふれあい運動会」が十月十二日に行われました。今年は、学校の大規模改修工事のために校庭が使えないため、会場をアイビーグラウンド（旧・盛楽園）に移して実施しました。雨のため一日順延になりましたが、翌十二日は抜けるような青空が広がり、豊津地区のみなが、走って、笑って、楽しい一日を過ごしました。

学校の土の校庭と違い、今回は芝の上。また、前日の雨で若干ぬかるんでいたため、競技への影響を心配していましたが、最初の数種目でそんな心配も吹き飛ばすような皆さんの活躍。子ども達の種目では元気な声、楽しい演技に観客席から大きな拍手や歓声が湧き、一般種目では翌日の筋肉痛も恐れずに走る人や滑稽な動きで笑いを誘う人などに激励の声や失笑も漏れるなど、『豊津の一大イベント』は和やかに進みました。

さて、関心事の「地区対抗」ですが、最終種目の地区対抗リレーに圧勝した大船津第二区が三年連続の優勝を飾りました。来年はまた、小学校校庭での開催に戻りますが、大船津第二区の連覇が続くのか、それとも他の区が阻止するのか、楽しみです。皆さん、来年に向けてお早目のご準備を。

最後になりますが、実行委員の皆様には例年以上のご苦勞をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。



小学校高学年の組み体操



デカパンレース、スタート！



絵 小泉夏来さん

第7回豊津キッズ 9月23日
「手作り竿で魚つり」

子ども達と地域の方とのふれあいを目的にした「豊津キッズ」。今回は、昨年好評だった「手作り竿で魚つり」。まずは公民館内で仕掛けを教わり、釣り竿作り。苦勞して作った竿を背負い、23人の釣り師はいざ北浦へ。最初は反応がなく、魚との持久戦かと思ったところ、一度かかると、その後は続々と獲物をゲット。歓声やら悲鳴やら。楽しい時間でした。

竿竹切りや餌のミミズ取りから、かかった魚の針外しまで、ご協力いただいた方々ありがとうございました。引き続き「豊津キッズ」へのご協力をよろしくお願いします。



十数年前、豊津でもホタルの優しい光があちこちで見られました。今はどんな状況か、今の子どもたちにホタルを見せてあげたい、という思いから、今回、初めて企画しました。七月五日、七十四人（うち子ども四十人）の参加者は、水資源機構の講師からホタルについての講義を受け、流れ川へ移動。流れ川ではホタルの歓迎を受け、子どもも大人も感激しました。豊津では、廃油せつけんの利用促進など、北浦に面する地域として、環境活動に力を入れています。ホタルが住めるような環境がずっと続くように、私たち一人ひとりが気をつけていかなければ、とあらためて感じさせられました。



雰囲気だけでも…

とよつの自然探検
ホタル見学会・学習会

私は、今回、公民館のつり大会に参加しました。のりえさんとやりました。私が土手であそんでいたから、「えさ、とれたかな」と言っていたら、竿を上げてみたらブルギルとナマズとフナがつかれました。さいしよはブルーギルで、次はフナ、さいごにナマズをつりました。とてもうれしかったです。たくむさんが大きいナマズをつったのですごく良かったです。つりをおわって、私はタオルをもらいました。うれしかったです。

四年 小泉 夏来

九月二十三日につり大会に参加しました。公民館の人たちや、地域みなさんに手伝ってもらって、つりざおを作ってから北浦に行つてつりをしました。最初はぜんぜん浮きが沈まないから、少し多めにえさをつけて入れてみました。そうしたら、大きなタナゴがつかれました。すごうれしかったです。またつり大会があったら、参加したいです。楽しかったです。

四年 横田 拓真



楠正成像前 51人参加

皇居周辺ウォーキング

江戸の歴史と秋の風を感じる「とよつ悠々健康づくり 皇居周辺ウォーキング」を九月二十八日に開催しました。豊津地区にウォーキング愛好者が多いためか、今回の企画（天皇皇后両陛下のお住まいである御所周辺の散策）に魅力があったためか、募集枠はあっという間にいっぱいになりました。（行けなかつた方、次回の企画をお楽しみに！）

皇居外苑の楠正成像前を出発した一行は、日比谷公園（松本楼）で早お昼。お腹がいっぱいになった後、皇居の東御苑で、大河ドラマ「篤姫」の場面を思い出しながら大奥跡地などを散策。その後、北桔橋門、乾門、イギリス大使館、半蔵堀、桜田門などを巡り、約七キロのコースに心地よい汗を流しました。

とよつだより

第 1 6 号

平成21年 3月1日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

「第6回鹿嶋市まちづくり市民大会」開催 とよつキッズ「ほたる学習会・見学会」を発表

二月一日に第六回鹿嶋市まちづくり市民大会がまちづくり市民センターで開催されました。テーマは、「元気な鹿嶋っ子を育む市民活動を考える」でした。

豊津まちづくりセンターを代表して和田副委員長、文化福祉専門部海老沢部長、岡野体育指導委員、高安・大川・藤城の各主事と六名が参加し、総勢二百名の参加がありました。第一部では、茨城大学の長谷川先生の講演、第三部では三つの分散会が行われました。その中の「自然とのふれあい体験活動を考える」をテーマにした第二分散会のBグループで、海老沢部長が「第三回とよつキッズホテル学習会・見学会」と題した事例発表を行いました。

内容は、昨年七月五日に実施したホテル学習会・見学会について、実際に至るまでの経過、そして当日の様子をまとめたものでした。特に、今回は「男の料理教室」による手作りカレーを食してから、の開催であったことや、沢山の方々の協力により目的が達成できた事、等を短い時間の中で発表した。海老沢部長が熱く発表しました。わかりやすい発表に加え、手作りで見やすくまとめた資料のおかげで、参加者は豊津の取組みに非常に興味をもたれたようです。発表と資料づくり、大変お疲れ様でした。

なお、この市民大会の中で、子どもたちを地域で元気に育むためには、「子どもに限らず、価値発見が必要」「体験を通して感動する事」「子どもは何を望んでいるかを理解すること」等が大事なことであることをあらためて学びました。この事を今後の活動に活かしていきたいと思えます。



発表者 海老沢良政部長

「事業の成果・課題」

ホテル見学会・学習会を地域や学校にかかわる版で案内すると、徐々に役員や地域の方、子どもたちが「流川」に注目するようになった。情報が寄せられ、夜の水田や水路に足を運ぶ。毎日のようにホテルが話題になる。ホテルが沢山見られた頃の昔話に想いを馳せる。ホテル見学会への期待が膨らむ。

なぜホテルが激減してしまったのか？原因は、農薬散布やU字溝の水路にあるのか。来年も、二年・三年・十年後もホテルを見たいという想い。

さらに学習を通して、子どもたちの気づき《「流川」にはホテルのえさになるカワナがいる。コケや草もある。水の流れも緩やかで良い。あとはある程度の泥が堆積していれば、ホテルは生育できるのだ。》

河川への取組みには難しさがあるが、子どもたちの気づきに対して、地域の大人が協力できないだろうか。夏の風物詩『ホテル』が見られる美しい豊津に向かっての環境作り、子育て支援が大事と思われる。

(レジュメからの抜粋)



第四回 とよつかるた大会開催

二月八日、この時期の風物詩となった「とよつかるた大会」が開かれました。回を数えて四回目となった今回も、未就学児から高齢者まで六十六名の参加がありました。会場の和室には元気な声と笑いが響き渡り、和気あいあいと進行了しました。大会後は、お雑煮も振舞われ、楽しい一日となりました。結果は、次のとおりです。

歴史と
文化の
伝承

△未就学児の部▽

優勝 海老沢更紗ちゃん
二位 額賀寛未ちゃん
三位 藤枝元輝くん

△低学年の部▽

優勝 君和田睦さん
二位 海老沢翼くん
三位 浅間美穂さん

△中学年の部▽

優勝 青山昂正くん
二位 小沼裕次郎くん
三位 大川歩美さん

△高学年の部▽

優勝 大内海渡くん
二位 君和田勁くん
三位 石上珠妃愛さん

△一般の部▽

優勝 渡辺健二校長先生
二位 岡野則子さん
三位 黒須ゆきさん

△高齢者の部▽

優勝 根本芳子さん
二位 君和田美智子さん
三位 額賀幸枝さん

次回も、頑張るぞ！
(参加、お待ちしております)

陶芸室に陶芸釜が一台増えました

この度、市内猿田地区にお住まいの渡辺芳男さんが、ご使用にならなくなったということで、まちづくり市民センターを経由して、当まちづくりセンターに陶芸釜の寄贈がありました。

市内で陶芸が楽しめる場所は限られていることから、有効活用させていただきます。

渡辺さん、ありがとうございました。



▲左側が寄贈の釜



毎回、趣向を凝らしたテーマで取り組んでいる「とよつキッズ」。今回は、土の味わいを肌で感じられる焼き物作りに挑戦。藤枝泰一郎先生や協力者の指導の下、カップやトレイなど、好みの形・サイズ、いろいろなものができあがりまして。みんな悪戦苦闘しながらも、できあがった作品に名前などを刻み、焼き上げを楽しみに解散しました。

(参加児童二〇人)

私にもできた！ とよつキッズ「陶芸に挑戦」



豊津小体育館

卒業式までに完成へ

豊津小学校の体育館工事が、請負業者の経営破たんで一時的に断ったことは、新聞等で読んだ方も多いかと存じます。小学校へ通う子どもがいる家庭は、学校からの文書により、現在の状況はご存知かと思いますが、どうなっているのか心配されている地域の方もいるのではないのでしょうか。市はその後、別の業者と契約し、工事は再開しています。一時中断により、工事は当初より若干遅れています。三月中には完成の予定です。心配されていた卒業式（三月十九日）には間に合うことも確認されており、六年生は改修された新しい体育館で無事に卒業することができそうです。ご安心ください。普通教室棟も昨年五月に新しくなり、今回の体育館・特別教室棟の完成により、四月にはグラウンドも元通りになって、校庭を走り回る子どもたちの姿を見ることができるよう。新しい地域の拠点として、大事に使っていきましょう。

とよつ「親子かるた」

解説本発行について

平成十六年に当時の地域づくり専門部が中心になって作成したとよつ「親子かるた」。かるたの箱に収められていた解説文が今回、ウォーキングマップを綴じこんだ解説本として、新たに完成しました。これは、「とよつ悠々健康づくり」の活動の一環として、かるためぐりを兼ねた史跡めぐりと地域の散策に利用していただくとして作成したものです。今月中に各家庭に配布される予定です。これから暖かくなりますので、これを片手に豊津ウォーキングを楽しんではいかがでしょうか。

ポケット版 とよつ「親子かるた」解説本（マップ付き）

《今回の設定コース》

- ・かるためぐり大船津新田コース
- ・かるためぐり爪木コース
- ・あさぎタヤケコース
- ・とよつ小町コース
- ・神宮橋コース
- ・佃屋河岸コース



とよつ「親子かるた」解説本

豊津地区まちづくり委員会

トントン、トントン、かすかに太鼓の音がする。しばらくしてまたトントン、トントン、闇の中からせまってくる太鼓の音。

足音がしたかと思う間もなく、玄関先で「あけましておめでとうございます！」の声と同時に若衆が扮したかぐらが現れます。

今日は新年の一月十八日（日曜日）、男衆によって新田行事の村祈祷が行われる日です。早朝より今年の当番さんが、集会所（地藏院）でお稲荷様の前にしめ縄を張りかぐらを奉納し、《奉轉讀大般若經一部六百卷》と唱えられたお札作りや、酒盛りの準備をします。

午後二時、区長さんをはじめ新田の男衆が集会所に集まり、お祝いの酒を酌み交わし、和やかなお正月のひとときとなります。

やがて夕暮れ時になると、若衆が各戸に幸せ村祈祷と「とよつ親子かるた」にもあるように、奉納したかぐらの前で手を合せ、神聖なる儀式村祈祷が始まります。最後に全員で祭頭囃子を囃し、景気をつけてかぐらが集会所を出発します。かぐらは新年のあいさつと厄除けや安全祈願のお札を納めながら各家々を回り、玄関で迎えた人達の頭を大きな口をあけてばくつと噛みます。その様子が恐ろしく、泣きだしたりする子もいます。大人もその一瞬は厳粛な気持ちになるものです。かぐらを迎えて安全祈願をし、村人にとって新春丑年の始まりとなります。

太鼓の音がだんだん小さくなっていきます。今、かぐらはどの家でしょうか。トントン、トントン・・・

新春の行事・村祈祷

『新田かぐら』



まちづくりセンターに勤め始めて

主事 藤城知子

「ふれあい運動会」「とよつまつり」「かるた大会」等、いろいろな事業に関わり、これまで以上に地域の人達と多く接する事になりました。それにより、色々な事を学び、毎日が勉強の日々です。まだまだ、主事として勉強不足ですが、これからもビシバシよろしくお願いします。

とよつだより

第 1 7 号

平成21年6月15日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

霞ヶ浦浄化キャンペーン

「第27回北浦一周サイクリング」開催



岡野さん 体指功労者表彰受賞



五月二十九日、土浦市で行われた茨城県体育指導員協議会総会で、大船津の岡野実さんが「体育指導員功労者表彰（十年表彰）」を受賞しました。豊津地区でも運動会を始め、様々な体育行事で指導いただいています。今後ますますのご活躍を祈念いたします。

「6年間サイクリングをやって」

6年 大内海渡

1年生の時に参加したのはばく一人で、この年は一番長い距離でしたが必死で走り、なんとかゴールできました。

雨の日も風の日もありましたが、『6年間完走』をめざしていたので、達成することができ、うれしいです。

これから先もこの霞ヶ浦浄化キャンペーンが続いて、北浦がきれいな湖になってほしいと思います。



「はじめてのサイクリング」

1年 まつおかきら

はじめてのサイクリングはつかれたけれど、お友達といっしょに自転車にのれてたのしかったです。ころんだときは、すごくいたくて泣いちゃったけど、さいごまで走れてうれしかったです。しょうじょうがもらえるように、6年生までがんばりたいです。

※小学生時代に参加したことのあるお母さんとお姉ちゃん2人（4年生、3年生）と家族4人で楽しく参加してくれました。

来年は、皆さんも一緒にペダルを踏んで楽しい汗をかくてみませんか？

五月十六日（土）、耐震改修が済んだ小学校の玄関前に自転車勢揃い。児童二十九人を含めた六十六人（自転車五十五台）が北へ向って一斉に出発しました。

今日は、霞ヶ浦浄化キャンペーン『第二十七回北浦一周サイクリング』です。昨年の道路交通法の改正により、参加児童はヘルメットをかぶつての参加で、昨年までとはちよつと様相が違っていました。耳慣れた「♪今日は楽しいサイクリング・・・♪」のメロディーはいつもと一緒に。子どもたちのにぎやかな話し声も同じです。

スポーツ父母の役員やまちづくりセンター職員の検討・協議で決まった今年のコースは、小学校を出発し、北浦東岸を北上、鉾田市（旧・大洋村）と行方市（旧・北浦村）を結ぶ鹿行大橋を渡り、北浦西岸を下して神宮橋を渡って小学校へ戻る約五十三キロコース。

小学校を出発し、須賀から堤防に出た一行は、大野区域の津賀城址公園で休憩をとり、鉾田市札の鹿行大橋を目指しました。鹿行大橋はご存知のとおり、すれ違うには待避所を利用しなければならぬ狭い橋。もちろん自転車では渡れません。父母の役員のご配慮で、橋のそばのコンベニからマイクロバスに分乗し、すぐ北側に建設が進む新・鹿行大橋の工事風景を見ながら、対岸にある行方市老人福祉センターへ（自転車はトラックに乗せて対岸へ搬送）。そこから再び自転車に乗り、近くの行方市文化会館で待ちに待った昼食。栄養補給と休憩が目的のはずですが、子どもたちは公園で大はしゃぎ。（サイクリングより疲れた？）

午後一時、午後の部再開。時折、小雨に降られて心配しましたが、大事には至らず、途中、白浜と大生で北浦をバックに記念撮影。JR鹿島線の鉄橋下をくぐる頃には疲れもピークに達していたように見えました。が、小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む足に力が入ったようです。

途中、疲れからか、無口になったり、集中力が途切れて衝突、転倒したりする子どもたちもいましたが、また一つ楽しい思い出ができたようです。六年間参加した児童に贈られる完走賞は、大内海渡君が受賞しました。

第1・4回とよつきッズ

5 / 9 ・ 6 / 7



2回に渡り、25人の児童が参加し、トウモロコシやスイカなど9種類の夏野菜の播種・定植をしました。収穫が楽しみです。

第1回豊津クリーン

5 / 10



児童3人を含む91人の参加で、可燃物6袋、不燃物10袋を回収しました。お疲れ様でした。

まちづくり委員会事業

～ 5・6月の報告 ～

ソフトボール大会

5 / 31



雨で順延開催になりましたが、老若男女が汗を流しました。爪木同士の対戦になった決勝を制したのは、爪木Bチーム。おめでとう。

第1回楽学セミナー・第2回とよつきッズ 感謝をこめて、贈るアレンジメント



5 / 10



「母の日」に向けて、文化福祉専門部の「とよつきッズ」と「楽学セミナー」が共同でアレンジメント教室を実施しました。子ども20名・大人16名の参加で、可愛いプードルと5月にふさわしい爽やかな色合いの作品が完成しました。短期間の募集でしたが、数日で希望者が集まり、アレンジメントは大好評でした。

高齢者スポーツ大会

6 / 2



こちらも順延開催になりましたが、皆さん楽しく競技しました。
※紙面の関係で、優勝者のみの掲載です。

- ★クロケーの部＝大船津Cチーム
(藤枝洋子さん・郡司みよ子さん・大川昭二さん)
- ★グラウンドゴルフの部＝小沼なみさん (爪木)
- ★輪投げの部＝遠藤実さん (爪木)
- ★ダーツの部＝山口清さん (爪木)



新緑が美しい「山法師」です

お知らせ

大船津の小田倉せつ様より山法師の木が寄贈され、まちづくりセンターの前庭に植樹しました。新緑の若葉が目優しく、また4枚の白い三角の花びらが青葉の中から顔を出し、爽やかさをかもし出しています。まちづくりセンターへご来館また周辺をウォーキングの際は立ち寄ってご鑑賞下さい。

☆山法師の花言葉 (友情)



熊野神社は、紀州が有名ですが（熊野古道、熊野水軍など）このあたりの熊野神社は、那珂湊、小見川、潮来、爪木と、水辺に近い所に在る事から、海、湖や川を、生活の糧とする民の守り神として祀りしてきたことも想像できます。八朔の行灯の灯かりがいつまでも私たちを守ってくださいますように・・・。

今年の八月一日は、「かるた解説本」のウォーキングマップを基に「とよつ悠々健康づくり・八朔まつりウォーキング」を実施します。奮ってご参加ください。

＊詳しくは、『そよかぜ』でご案内します。



はっさく 八朔まつり

とよつかるためぐりシリーズ②

「八朔の夜のにぎわい行灯（あんどん）まつり」と、「とよつ親子かるた」の中にあるように、毎年、八月一日は、爪木の熊野神社（氏神様である鎮守様）の八朔まつりです。

「八朔」は、昔から「五穀豊穡」・「天下泰平」・「家内安全」を祈り、爪木では行灯を奉納してきました。夜になると、熊野神社の社殿、拝殿や二十一ある階段のわきに行灯が灯り、境内は幽玄な空気に包まれます。

「八朔まつり」は、かなり昔から行われていたようで、当番の福宜（ねぎ）様と、子ども会、育成会の方たちが午前中から準備に取り掛かります。子どもたちの行灯づくりは半紙に豊作祈願や、夢、思いの願いごとなどを認（し）たため、やがて行灯のろうそくに火が灯り、何とも言えない灯かりが、たそがれの鎮守の森の境内に浮かびあがり、参拝に来る集落の人々を迎えます。

とよつだより

第 1 8 号

平成21年12月1日発行

一編集・発行一

豊津まちづくり委員会

(広報記録専門部)

充実の秋 豊津のイベント 報告します

頑張りました 第四回とよつふれあい運動会

『手をつなぎ 大きくしよう 地域の輪』をスローガンに、会場を豊津小学校グラウンドに戻して、今年も地域の一大イベント「ふれあい運動会」が行われました。

十月三日の予定でしたが、荒天が予想されることから、前日に順延を決定。翌四日は素晴らしい好天に恵まれて、約六〇〇人（主催者発表）の参加で白熱した競技が繰り広げられ、とても熱い（暑い？）一日でした。

小学生の競技では、新しい種目も加わり、小さいアスリート達の活躍に会場は盛り上がり、また、地区の競技では、地区対抗種目はもちろんのこと、プログラム毎に参加者も観戦者も楽しんでいました。観戦席では、「あれは、どこの人だよ」とか、「〇〇さんは、まだ若いな」などの会話もあり、地域の輪がさらに深まったようです。



かごに（青空に？）むかってエイッ



個人の力、そして豊津の団結力を再確認

さて、肝心の結果ですが、今年の地区対抗優勝は大船津第二区でした。これでナント四年連続の優勝を飾りました。閉会式での講評で、飯島まちづくり委員長が「大船津第二区には、3つのVの方程式がある」とコメントしていました。各地区でも、「打倒！大船津第二区」をキャッチフレーズによく工作戦を練って、来年の優勝を目指して頑張ってください。

最後になりましたが、準備そして後片付けとご協力いただいた実行委員の皆さん、そして参加された皆さん、お疲れ様でした。



賑やかに、楽しく敬老会を開催

参加された 新敬老者の皆さん

今年も鹿嶋ハイツを会場に、九月十三日、『鹿嶋市（豊津地区）敬老会』が開かれました。

今年の豊津地区の敬老者は二九〇名（男性一二〇名・女性一七〇名）を数え、新敬老者（昭和十三年度生まれの方）は二十五名いました。

また、米寿（八十八歳）が四名、喜寿（七十七歳）が十二名で、最高齢者は九十四歳の太川えいさん（新田）でした。

第二部では小学生や実行委員などによる歌や踊りの披露もあり、楽しい一時を過ごしました。

お若く、お元気な皆さん、これからも文化の継承役として、そして現役の実践家として、豊津地区のために活躍いただきたいと思ひます。

（参考）鹿嶋市データ

- ・ 敬老者 八八〇七名
- ・ 一〇〇歳以上 十九名
- ・ 最高齢 一〇四歳



とよつまつり



十一月八日 秋晴れの日にとよつまつりが開催されました。昨年同様、暖かい日和に恵まれ、芸能発表では子ども達のグループ「サファリ」がヒップホップダンスを披露したり、恒例である「ちようちん祭り」は六一会とちようちんの協力で行われ、もちようちんも賑やかに行われました。カラオケ大会では、ニューフェースが唄と踊りを女性より優雅に披露してくれました。



男の料理教室研修視察 西金砂神社にて集合写真

十一月十五日 男の料理教室で金砂郷のそば祭りに参加しました。そば打ちは何回も行っていますが、会員での視察は初めてのため和気あいあい、本格的なそば打ち体験イベント見学や神社の見学を行いました。



とよつかるためぐりシリーズ③

秋祭り

穀物の神を祀り、地域の守護神とされた稲荷神社は、大船津第一区の出口町と大船津第三区の新田町（四ッ谷）の森の稲荷と大船津には二ヶ所あります。今回紹介する出口町の稲荷神社は、宇賀魂命（ウガノミタマノミコト）を祀り一八六八年九月に再興されました。地域の人たちは「鎮守様」と呼んでいます。大船津通りの住宅の密集したところであり、見過ごしてしまいそうな場所にあります。正面の鳥居前には常夜塔が二基、その先には使わしめのキツネがお出迎えしてくれます。本殿は小さいのですが、上屋の立派な神社です。



お祭りは、二月の初午と十月二十二日に行われます。今年の十月の祭りは、雲一つない秋晴れの中で行われました。和やかな雰囲気の中、出口町の人たちがのぼりを立て、田町の人たちが稲ワラを持ち寄ってしめ縄掛けなど準備が進められていました。境内には、祭りの手伝いの人たちの笑顔や笑い声があふれていました。七十代の男性は「昔、ここで土俵を作って相撲大会があった」と懐かしそうに話してくれました。そうこうしているうちに祭りの支度が整い、本殿前で神官から禰宜様をお迎えして祭りが執り行なわれました。現在は、毎月一日と十五日に「文化を守る会」の方達が本殿で太鼓や念仏でお祈りしてくれます。祭りを通じて、地域の人たちの大船津の鎮守様を大切に思う気持ちの絆を感じました。

編集後記（ある主事のひとりごと）

九月二十九日、ひたちなか市の中央公民館など公民館関係者、二十数名が、視察研修のため豊津まちづくりセンターに来館されました。豊津地区まちづくり委員会の、「協働のまちづくり」に視点を置いた活動など、プロジェクトに映し出しながらの事業報告を熱心に聴いてくださいました。質疑応答では、「協働のまちづくり」事業を進めていくなかでの「豊津地域の皆様」の多大な貢献に感心されておりました。あっ！という間の一年でしたが、改めて地域の方々に感謝の念を抱いた一年でした。ありがとうございました。いよいよ来年は還暦の私。赤いちゃんこを考える年になってしまいました。正絹は無理かな……。来年もよろしくお願い致します。

とよつだより

第 1 9 号

平成22年3月1日発行

一編集・発行一

豊津まちづくり委員会

(広報記録専門部)

賑やかに、和やかに「かるた大会」

1月31日、恒例の『第5回とよつかるた大会』が開かれました。当日は、「未就学児の部」から「シニアの部」まで6部門に合計66名が参加。まちづくりセンターの中は、参加者や役員の熱気であふれました。

会場の和室では、読み手の「よろしくお願いします!」という美しい掛け声(?)までは和やかだったものの、枚数が進むにつれ、徐々に「1枚でも多く…」という競争心が芽生え、各部門で熱い戦いが繰り広げられました。2回実施した合計枚数で勝敗を決めるのですが、表彰式では喜びや悔しさが表情に見え隠れし、充実した大会になりました。

閉会式では、編集委員の藤枝泰一郎先生から「とよつかるた」ができた経緯や豊津の文化や歴史を伝えていくことの重要性が語られ、あらためて豊津地区の素晴らしさを学びました。

閉会式の後には、文化福祉専門部の役員さんを中心に、餅つきが行われ、参加者たちにお雑煮やきな粉餅が振る舞われました。あまりの美味しさに、用意した1斗のお餅はアツという間になくなりました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。また来年のご参加、お待ちしております。また、役員の皆さん、ご苦労様でした。

入賞者は、次のとおりです。



- 【成績】
- (敬称略)
- <未就学児の部>
- 1位 君和田莉央
- 2位 大川みさき
- 3位 君和田理澄
- <中学年の部>
- 1位 青山昂正
- 2位 君和田睦
- 3位 松岡佑香
- <一般の部>
- 1位 黒須ゆき
- 2位 斉藤幸子
- 3位 大川和子
- <低学年の部>
- 1位 君和田潤貴
- 2位 藤枝元輝
- 3位 海老沢更沙
- <高学年の部>
- 1位 君和田勁
- 2位 石上珠妃愛
- 3位 大内海渡
- <シニアの部>
- 1位 君和田美智子
- 2位 君和田美佐子
- 3位 藤城まさ



- 【優勝者の一言】
- 未就学児の部 君和田莉央
- 「かるたがいっぱいとれて、うれしかったです」
- 低学年の部 君和田潤貴
- 「少ししか練習しなかったけど、優勝できてうれしかった」
- 中学年の部 青山昂正
- 「優勝できてうれしかった。来年も優勝したい」
- 高学年の部 君和田勁
- 「久しぶりに優勝できてうれしかった。また来年もがんばります」
- 一般の部 黒須ゆき
- 「童心に返って楽しむことができました。優勝は想定外だったので、びっくりしました」
- シニアの部 君和田美智子
- 「孫に負けないように、来年もがんばります」



ウォーキングは、淡いもえぎの時期【4月初旬】がお勧めだそうです。



「水郷県民の森でリフレッシュ!」

今年度最後の事業である「第四回楽学セミナー」は「新春ウォーキング」と共催で、二月九日に潮来市の水郷県民の森で実施されました。

鹿嶋から近い所に、こんな良いウォーキングコースがあるなんて感激しました。気持ちいい風を受けながら自然の中のウォーキングは、日頃のストレスを十二分に発散することができました。

また、水郷県民の森敷地内の間伐材(桜の木)で作った「ふくろう」や、松かさ、どんぐりを材料としたリース作りでは、時間が経つのも忘れるほど夢中になり、久しぶりに物作りを楽しむことができました。

リースの材料を集めてくださった担当の方には心より感謝します。



『茨城県水郷県民の森』

◇所在地：潮来市島須

◇総面積：51.5ha(雑木林、平地林)

＊大膳池、大生古墳群を有し、自然観察会や体験学習、ウォーキングが楽しめる。

◇平成17年6月に『第56回全国植樹祭』開催(天皇・皇后両陛下により、ケヤキ・スタジイ・タブノキが植樹された。)

星の観測会

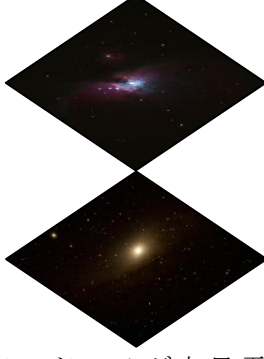


1月16日、大寒間近の冷え込む夜、5年ぶりに星の観測会を実施しました。インフルエンザ流行の心配もよそに、子ども23名・大人15名の参加があり、『鹿行星の会』の協力をいただき、賑やかな観測会となりました。

室内での学習会の後、「そろそろ、宇宙のたびに出かけましょう！」という講師の掛け声で、全員が屋外へ移動し、観測会が始まりました。



オリオン大星雲



アンドロメダ大星雲

「星の観測会に参加して」 4年 藤枝健太郎

観測会の日はとても寒い日でした。でも寒いほうが星はよく見えるとお母さんが言っていたので、期待しました。

公民館に行ってみると、大きな望遠鏡が3台あってすごいなと思いました。

最初に星の会のお兄さんがお話をしてくれましたが、ちょうど学校で星の勉強をしていたので、質問にも答えられました。

その後外に出て望遠鏡で星を見ました。火星とかオリオン大星雲、スバル、プレアレス星団などいろいろな星が見られて、よかったです。

あと、寒かったので、温かいココアがうれしかったです。用意してくれた役員の人たち、ありがとうございました。

「星のかんさつ会」 3年 君和田 武

1月16日、公民館に星を見に行きました。最初に説明があって、いよいよ星を見る時がやってきました。さいしょに大きなぼうえんきょうで見たのはオリオンざでした。とてつもなく小さな星がかがやいていました。オリオンざの中央には黒い雲みたいなものが見えました。ぼくは「不思議だな〜」と思いました。あと、ほっきよく星が見られました。ほっきよく星は、いつもそこをうごかないんです。かがやいていました。

星の観測が終わって、先生から1月22日午後6時20分〜23分の間に、うちゅうステーションが見られると聞きました。ぼくは、22日にていぼうに見に行きました。少したったら見えました。大きくて赤、青、みどりの強い光でかがやいていました。とても感動しました。心にのこる思い出になりました。

須保居町の西宮神社は恵比寿様を祭り、通称は恵比寿神社である。恵比寿は一般的に座像が多いが、本尊は右手に釣竿、左手に鯛を持つ立ち像である。祠には文久二年（一八六二）新造と記載されているが、由来等は不明である。夷講は耐えて久しいが、町内では今でも十月に祭事を行っている。

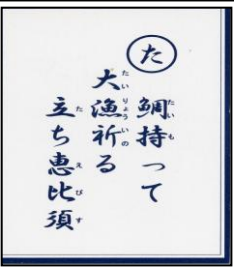
なお、昭和五十二年の改築時に「立ち恵比寿の木版」（縦三九センチ×横十九センチ）が発見された。左側に「常陸國鹿嶋」、右側に「大船津」と記されている。

須保居町の西宮神社建立に係わる書類等は不明である。現存する書類は、大正三年の修繕と昭和五十二年の改築に関するものである。

「えびす」は、恵比寿・夷・戒とも標記されるが、竜王や船霊とともに漁業の守護神として信仰されている。その後、海運の発達とともに都市や農村にも普及し、中世以降は七福神の一つに数えられている。なお、夷神を祭る行事は、商家の同業集団や農村の地域集団の祭祀組織に発展したのが夷で、祭事日は十月二十日が一般と言われる。

西宮神社は、須保居町の東南端（銚子屋商店裏）に位置し、本社は兵庫県西宮市社家町に鎮座し、蛭児大神を祭り、天照大神・大国大神・須佐之男大神を配祀する。

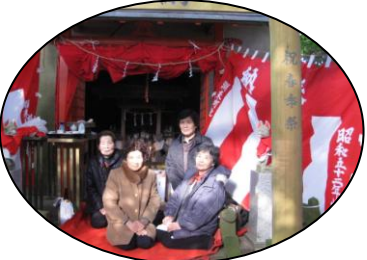
蛭児大神は、世に「えびすさん」として親しまれ、文献の初見は平安後期であるが、中世以来福神信仰の隆盛とともに社勢が伸張し全国に流布した。



とよつかるためぐりシリーズ④
西宮神社と立ち恵比寿

《中年男の独り言》

初めて「かるた大会」に参加したが、豊津についての知識不足の結果、札は何枚もとれませんでした。（物覚えも悪い！）これを機に、新たに豊津の歴史・文化等を勉強し継承していきたいと思います。まずは「とよつかるたウォーキングマップ」を片手に、散策から始めよう！



大船津文化を守る会の皆さんが神前において、おさかもり（「みろく」とも言われ、豊年をもたらすとされている目出度歌や踊りで、祭頭祭を嘶してお開きとなる）を奉納します。

初午祭は、近郊在住の多くの信仰家の人々が参拝に訪れ祈願しています。

祭例行事は、毎年二月の初午と、旧暦の九月十一日を秋の例祭として、氏子、御堂（区内の講者）の皆さんが境内に幟旗を立て、注連縄を飾り、御神酒や油揚げ、お餅などをお供えしてお祭りをします。

また、例祭には氏子のほか、大船津文化を守る会の皆さんが神前において、おさかもり（「みろく」とも言われ、豊年をもたらすとされている目出度歌や踊りで、祭頭祭を嘶してお開きとなる）を奉納します。

初午祭は、近郊在住の多くの信仰家の人々が参拝に訪れ祈願しています。

とよつかるためぐりシリーズ⑤
四ツ谷の「森の稲荷神社」 初午大祭

稲荷神社の歴史は古く、寛政年間（西暦一七八九〜一八〇〇年）に創建された霊験あらたかな由緒ある神社です。

昭和三十九年九月に、大船津出身の東京都江戸川区実業家、青野理三郎さんの浄財寄進と、近郷の信仰家及び氏子の寄進により新築され、現在の社殿となっています。

〃 鹿嶋市史より 〃

当社は郷内の守護神として、また食物の神、農業振興の神として、信仰崇敬されてきましたが、近世になると商工業が盛んになるにつれて、商売繁盛・家内安全・学業成就・病氣平癒・五穀豊穰など、福徳開運の万能の神様として、近郷在住の人々から広く信仰されています。



とよつだより

第20号

平成22年6月1日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

28回目の霞ヶ浦浄化キャンペーン 「北浦一周サイクリング」



伝統を受継ぎ二十八年
参加者全員が完走

五月十五日、二十八回目の霞ヶ浦浄化キャンペーン「北浦一周サイクリング」が行われました。やや風があり、気温十五度という肌寒い日でしたが、八十一名が元気に参加しました。

今回は、神宮橋を渡って延方から堤防を走り始め、北浦大橋を通り、掛崎地区から豊津小に戻る約三十キロのコースでした。

初夏の北浦の景色を楽しみながら、お昼は津賀城址公園でお弁当を広げました。立派な藤棚があり、その下で食べたお弁当は、さぞや美味しかったことでしょう。そして堤防・沿道には季節の花が風に揺れて、まるで私たちを応援してくれている様でした。美しい湖水を守るため、自分たちが『北浦の番人』という気持ちでこの活動が続けていきたいと思います。



今年度は残念ながら、六年間完走者がいなかったため、初めて参加した一年生二名に感想を聞きました

○出口大和くん

「おもしろかったけど、うでがつかれた。とちゅう、どうろのあなにはいっちゃったので、むずかしかった」

○大川侑也くん

「たくさんはしったし、じやりみちがあったので、つかれた。でも、かぞくでサイクリングして、たのしかった」

※二人とも、サイクリングを楽しみにし、前夜は早く寝、当日朝も早く目が覚めたそうです。最後まで遅れることなく、元気に先頭を走りきった二人。とても良い思い出になったことでしょう。六年間完走を目指し、がんばれ！

豊津まちづくりセンター 人事異動のお知らせ

今回の人事異動で、主事の大川かつ子さんが退職し、新たに黒須ゆきさんが採用となりました。
大川さん、十年間、お疲れ様でした。これからも地域住民として活動へのご参加、お待ちしております。
黒須さん、どうぞよろしく願います。

とよっキッズ

平成22年度の『とよっキッズ』は、4月10日の「三世代交流グラウンドゴルフ」を皮切りに、全13回の予定で計画しました。

これまで好評だった「リトルファーム（野菜作り）」や「ほたる見学」、「豊津ハイキング」などに

今年度は「水質検査学習（移動学習）」も新たにメニューに加わりました。

開催の都度、かわら版『そよかぜ』で参加者募集のご案内をします。ので、ふるってのご参加（ご協力）をお待ちしています。

まちづくり事業開始



生井 沢 豊
大船津新田 区 長

石 津 卓
大船津第三 区 長

小田 倉 貞三
大船津第二 区 長

遠 藤 二 郎
爪 木 区 長

根 本 久 男
大船津第一 区 長

区長紹介

本年度の区長さんを紹介します。
今年一年よろしくお願いいたします。



三世代交流ゴルフ

収穫が楽しみだな〜リトルファーム〜

5月9日、豊津まちづくりセンター内の菜園に、夏野菜の種まき・苗植えをしました。蒔いた種は、とうもろこし、枝豆、落花生の3種類、そして植えた苗は、なす、トマトの2種類です。

これから、6月にさつま芋の苗植えに合わせて草抜き作業を行い、8月には収穫祭、10月には芋掘りと続きます。

自分たちが蒔いた（植えた）野菜の生長を楽しむ（&味わう）ことも楽しみですが、野菜がどのような作業を経て成長・収穫されるのかを学ぶことも目的の一つです。子どもたちにとって、実りある事業になりますように。

この事業は、例年、地域の方の作業協力や、苗の提供などをいただいています。感謝するとともに、引き続きのご協力をお願いします。



ソフトボール大会

5月23日、ト伝の郷運動公園多目的グラウンドで、平成22年度ソフトボール大会を開催しました。

天気予報では、雨がいつ降り出してもおかしくない中での決行でしたが、参加者の気合いが勝るとともに、役員心がけが良かったことから、閉会式まで雨に降られることなく、終えることができました。

結果は次のとおり

☆優勝☆

大船津第二区

☆準優勝☆

大船津新田区



四月十日、豊郷まちづくりセンターの交流広場を会場に、豊津、豊郷、波野地区の小学生からシニアまでが一堂に会し、三地区合同の「三世代交流事業」を行いました。

三地区に共通する「少子高齢社会」という現状を踏まえ、世代を超えた地域のつながりに視点を置いてこの事業。約百名の参加で、広い豊郷交流広場いっぱいになり、和やかな雰囲気、四月の心地良い空気と共に、気持ちよく体を動かしました。

子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんたちにグラウンドゴルフを教えてもらいながら一緒にプレーし、終了後は、おばあちゃんたちの指導のもと昔なつかしい「すいとん汁」の調理を手伝いました。

出来上がったすいとん汁は、みんなの手作（？）すいとんを、満開の桜の下で、みんなで味わいました。

豊津・豊郷・波野の子どもたちとその親、そしてシニアの方々の交流のひとときでした。



三世代交流グラウンドゴルフとすいとん汁作り

四月から住民の皆さんの地域づくりのお手伝いをさせていただくことになりました。娘や息子が小学生の頃は、いろいろな事業に親子で参加させてもらい、楽しい思い出ばかりです。これからは、新しい薄井館長や頼りな高安主事、若い藤城主事と連携をとりながら楽しく事業を進めていきますので、皆さんよろしくをお願いします。（黒須）

★主事のひとり言★

「なあば流し」とは、爪木地区氏神の五穀豊穰を祈願して、神田に立てられた二本の竹の中央に稲わらで編んだ御神酒に見立てた桶が二つ吊り下げられているお飾りのことです。



以前は、二反歩の神田を袖引党、大名党、こっけ党の三党の二十一軒で、田植えから稲刈りまで農作業を行っていました。

現在は当番制となり、収穫されたお米は販売され、その代金は地区の祭りの費用に充てられています。

今年の当番にあたる袖引党の遠藤喜平さんは、「先人から伝えられてきた行事をこれからも大切に、そして農文化の遺産であるこのように努めていきたい。」と話されています。

これから季節、森林浴ならぬ「青田浴」で、身も心もリフレッシュできそうです。



⑤ 美しい神田の青田になあば流し

かるた巡りシリーズ⑥

とよつだより

第21号

平成22年11月1日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

「ふれあいと 笑顔あふれる 運動会」

大船津第一区 初優勝



区順位
優勝
大船津第一区 260点
二位
新田 260点
三位 大船津第二区



雨模様で心配していた体育祭も的確判断により無事開催されました。いつもとは天候のためプログラムも変更しましたが大雨前に終了しました。今回は常勝である大船津第二区が、四連覇を目指しての参加でしたが新田区と大船津第一区が対抗リレーの結果同点のためリレーでの順位により一区がひさしぶりの優勝を勝ち取りました。



もうすぐ1年生

優勝して

大船津第一区長 根本久男

あいにくの雨模様の天気でしたが、皆様の日頃の行いの良さとテルテル坊主の御利益のおかげでどうにか運動会を終えることが出来ました。

延期になったら優勝はなかったと思います。お陰で優勝トロフィーをもらえました。これも地区の皆様のご協力の賜だと感謝しています。これからもご協力のほどよろしくお願いします。



皆さん、まだまだお若いですね ～22年度敬老会～

まだ残暑の残る 9 月 1 9 日、平成 2 2 年度豊津地区敬老会が、1 4 0 名と多くの方の参加のもと、新仲家で開かれました。

今年度の豊津地区の対象者（昭和１５年４月以前に生まれた方）は２９９名で、米寿（８８才）は３名、喜寿（７７才）が９名、新敬老者（７１才）は２０名いらっしゃいました。

第1部では記念品贈呈や来賓からのお祝いの言葉、敬老者代表のあいさつなどが、第2部では、豊津小児童による作文発表やダンスの披露、敬老者の自慢の喉の披露など、賑やかに行われました。



▲新敬老者、ちょっとおすましてパチリ

とよつキッズ 移動教室 ～ 水質検査 ～



8月24日（火）、とよつ
キッズの事業では初めての移
動教室で茨城県霞ヶ浦環境科
学センターと筑波宇宙センタ
ーに行ってきました。



事前にまちづくりセンターの下で実験器具を使って汲んだ北浦の水を環境科学センターに持ち込み、臭いや透視度等の水質検査をしました。その後、宇宙センターでは、ガイド付きで施設見学をしました。この日は、子どもたちが水環境の大切さを再認識できた夏休みでした。

(水しつけんさに行って)

3年 原口さやか

水しけんさをじっさいにやってみて、北うらの水がよごれていることが分かりました。げんいんは、家からながされるきたない水だということが分かりました。なるべくきたない水をながさないようにすれば、北うらやかすみがうらの水もきれいになっていくと思います。水しつがよくなると、さかなや海の生き物がすみやすくなつてたくさんふえると思います。わたしたち一人一人がきをつければ、北うらの水がきれいになり、ちきゅうもきれいになって人びとがすみやすくなると思います。



楽々セミナー移動教室、東京消防庁、

十月三日、都民防災教育セミナー本所防災館（東京都隅田区）を体験見学してきました。参加した四十二名は、まず、地震・災害の発生する要因のメカニズムを教わり、その後、地震・煙・消火・暴風雨の各体験コーナーで地震や風水害などの体験をし、消火器の使い方や避難方法なども学びました。

最近は、地震も頻繁に起きており、またゲリラ豪雨が社会問題になるなど、不安が重なるばかりです。他所では大きな被害が報告されていますが、他人事とせず、自分たちの問題として、常に対応できるように心がけることが大事だと学びました。

●参加者の声

消防庁で四つの体験をしました。想像以上に怖かった地震体験、まず自分の安全確保、次に火の始末出口の確保と再確認する。

消防体験では、消火器の使い方、また消火の際、炎の回りではなく、炎の下を消す。知らなかった事も多くあり、いい経験になりました。

自由行動のアメ横では、活気があり楽しい一時を過ごせました。（青野昭子）

（青野昭子）

秋晴れの日、東京の本所防災館で模擬災害を体験学習してきました。一寸先も見えない程、煙の充満した室内からの避難時にはパニックになりそうになり、激しい暴風雨体験や震度7強の地震体験では災害の怖さを思い知らされました。意義あるこの珍しい体験は私にとって災害に対する心構えを意識させる一日になりました。

（根本礼子）

（根本礼子）



◆館長のつぶやき◆

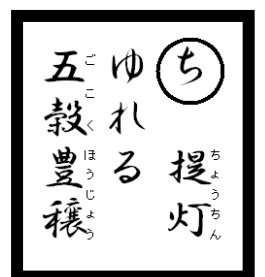
十月一日、栃木県河内郡上三川町の自治会が当センターのまちづくりについて視察に来ました。豊津の地区ぐるみのまちづくりに共感したとのこと。これもひとえに、ご協力いただいているまちづくり委員及び地区の皆さんのご支援ご協力のおかげと思います。今後ともよろしくお願いいたします。いつでも気軽に立ち寄り下さい。



今年センターにきり
いた多くの年寄りの
声援を受けて出発し
ました。

「提灯まち」と名付けられて鹿島神宮の祭事として毎年九月一日の夕方から夜にかけて行われています。各地区や団体などの奉納する大提灯を麦藁の火で焼く行事で、大神の渡御の道筋照らす灯りとして奉納され、青竹に飾り付けられた提灯を押したてて威勢よく練り歩く様子はとても勇壮です。大船津地区は鹿島の門前町として、一番最初に奉納しています。

この感動を赤ちようちん、六一会の皆さんや子ども会の協力を得て、毎年十一月に開催されるとよつまつりにおいても再現し地区の方々に披露していただいております



とよつかるためぐり
シリーズ⑦

とよつだより

第 2 2 号

平成23年3月1日発行

—編集・発行—

豊津地区まちづくり委員会

(広報記録専門部)

熱戦！かるた大会

一月三十日、豊津まちづくりセンターで「第六回とよつかるた大会」が開催されました。

寒い日が続く中でしたが、この日ばかりは幸いにも小春日和となり、地域の方々が多数参加しました。

参加者は、小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部の他、一般の部、シニアの部に分かれ、それぞれに熱戦が繰り広げられました。

かるた大会の後には、餅つきが行われ、つきたてのお餅をみんなでいただきました。最初は室内で食べる予定でしたが、暖かな天気でしたので、急きよ外で食べることにになり、より一層おいしく感じられたのではないのでしょうか。

事前の準備から当日の運営まで役員さんにご苦労されたことと存じますが、おかげで楽しく過ごせた一日でした。



● 幼児の部



1位 浅間 梓名ちゃん

● 小学校低学年の部



1位 額賀 寛未さん
2位 長岡 涼太くん
3位 藤枝 元輝くん

【優勝者の感想】

「うれしかったです」

● 小学校中学年の部



1位 藤城 歩夢 君
2位 君和田 潤貴 君
3位 君和田 睦ちゃん 武 君

【優勝者の感想】

「うれしいです。来年も連続優勝を目指すぞ」

● 小学校高学年の部



1位 藤枝 健太郎 君
2位 郡司 遥佳さん
3位 高橋 瑠名さん

【優勝者の感想】

「1回目はあまりとれなかったけど、2回目ではばんかいできてよかった。」

● 一般の部



1位 伏見 文さん
(市教育委員長)
2位 長岡 陽子さん
3位 根本 美穂さん

● シニアの部



1位 君和田 美智子さん
2位 齊藤 幸子さん
3位 黒須 はるさん 藤城 まささん

【優勝者の感想】

「二連勝です。どうもありがとうございました。来年もがんばります。」

レッツウォーキング

(新田かぐら)

♪新春ウォーキングでパクパク♪

スポーツ健康づくり部では、健康づくりと地域の伝統芸能を知るため、今年度は「夕涼みウォーキング」(八月一日、爪木・八朔祭の見学)、「東京ウォーキング」(九月二十六日、隅田川界隈・浅草散策)を実施してきました。そして一月二十三日には「新春ウォーキング」として、『新田かぐら』の見学を行いました。

『新田かぐら』は、「とよつかるた」や「鹿嶋市文化財愛護かるた」にも詠まれており、鹿島神宮御船祭の露払いとして行列の先導を務めるなど、地域に馴染みの伝統芸能ですが、実際に皆さんはご覧になったことがありますか？

今回のウォーキングは、新田の地藏院までと距離は短かったのですが、地藏院では新田区の若い皆さんによる祭頭囃しや立派な雌雄の獅子頭に頭を咬んでもらうサービスもあり、参加者はとても楽しく、そして有意義な時間を過ごしました。その後、悪疫退散・家内安全を祈って区内の家々を回る様子を見学しました。

参加者の中には、「新田かぐらを初めて見た」という方もいましたが、雌雄のかぐらに頭を咬まれると厄除けや家内安全のご利益があるとのことから、今年もいい一年になるといいですね。

新田区の皆さん、ありがとうございます。そして、これからもこの素晴らしい地域の伝統芸能を守っていただきたいと思います。



豊津地区高齢者移動研修

(十一月十一日)

秋晴れの中、参加者四十七名で西蓮寺(玉造)、茨城空港、アサヒビール守谷工場見学に行ってきました。西蓮寺では、静寂の中、紅葉はまだでしたが、大銀杏と重要文化財の仁王門、相輪塔を見て、参加者から「荘厳でよかった」との声が聞かれました。茨城空港では、神戸行きの飛行機を見送りながら、まだまだ元気でいてこの空港を利用して旅行したいと思った方々も多かった事と思います。守谷のレストランで昼食をとり、その後、ビール工場を見学しました。見学後は、出来立てのビールをいただきながら参加者の交流に話が盛り上がりしました。まだまだ元気な高齢者パワーに圧倒されながら、あらためて健康の大切さを認識した一日でした。



第十五回とよつまつり 開催♪

十一月七日、秋晴れの穏やかな日に「とよつまつり」が行われました。芸能発表では、楽器演奏やカラオケ、踊りと盛り沢山で、小学生男児による心が洗われる様な歌声や、ALTによる日本舞踊など、見事な出し物が多数ありました。また、館内では素晴らしい作品が多数展示されており、来館者を楽しませていました。この日は天候にも恵まれ、大勢の人で賑わい、豊津住民のパワーで溢れた一日でした。



フィルムケースとストローで「ピーピー笛」を作りました
(おもしろ理科先生)



～芸能発表のひとつ～
演じるのは、豊津小で英語を指導しているイタリア人
(ベラトラニ・エマヌエル)



楽学セミナーパソコン教室 ～年賀状作りに挑戦～

(十一月十三日、二十日)

●参加者の声

かわら版「そよかぜ」で、『年賀状作りに挑戦』を発見。もう年賀状の時期なんだなあ思いつつ、『参加費100円』に財布は反応した。民間だったら一回二千円位は払うのに安い。早速申し込んだ。でも、年賀状は手書きの温かみがあつていいなあと感じつつ、パソコンも便利だしいい機会だと思ひ、初日に挑戦。テキストにより講師からパソコンの操作、はがき入力、イラストの取り入れ方等を教わり、二日目は宛名住所入力、印刷の仕方などバッチリ(?)出来た。講習は無事終了楽しかった。しかし、二日～三日経ってから自宅でやってみたら途中でストップ。先に進まない。今年の年賀状は・・・と覚悟。また機会があれば参加したいです。講師、そしてセンター職員の皆さん、有難うございました。(坂本昌巳)



男の料理教室～移動研修～

(十一月二十九日、二十八人参加)

今年の移動研修は、東京築地市場と場外市場を視察しました。市場のセリは終了してしまつたので、各仲卸店を見学しましたが、通路を走る専用車がひっきりなしに猛スピードで走っているため、危ない目にも遭いました。店舗数や関連店、規模の大きさには驚きましたが、かなり老朽化しており、建て替え時期という都知事の話を感じました。市場と同じで場外にも色々な店舗があり、何を買つていいか解らなくなりましたが、普段買ひ物をしていないお父さん達には、いい目の保養になりました。その後は、銀杏並木が綺麗な神宮通りを通過して明治神宮の参詣、そして新設された羽田空港国際線ターミナルビルの見学など、楽しい一日を満喫しました。



<< 感謝 >>

大船津第一区の根本区長さんから、豊津まちづくりセンターに、ソフトボール用具一式を戴きました。ありがとうございました。



煙モクモク焼き鳥屋さん
は、今年も人気でした
(男の料理)



大正末期の様子



昭和初期の様子

とよつかるためぐり シリーズ⑧
一の鳥居より初詣
鹿島神宮一の鳥居は、東西南北に四つあり、「四至門」と言われていた。大船津にある一の鳥居は、西の鳥居にあたる。※東は明石、南は深芝、北は角折(神戸原)にある。
記録によれば、元禄二年(一六八九)、初代が建てられ、その後、何度か建て直されており、現在の鳥居は平成二年(一九九〇)に建てられた八代目(高さ・六・六五m)となる。ここ、大船津は鹿嶋の玄関口であり、船着場として発達し、延方・地藏河岸や千葉県の木下・佐原の間にも船便が開かれ、北浦を上下する船舶は必ず大船津に立ち寄ったと言われている。もちろん、鹿島神宮への参詣者は、まずこの鳥居から鹿島詣をしたのは言うまでもない。
※鳥居は神明鳥居といって、柱と笠木は円形、貫(ぬき)は角型でその端は柱の外に貫き出ている。鹿島神宮の鳥居はその代表である。



◆広報委員のつぶやき◆

春は別れ、そして出会いの季節といいますが、我が家でも手塩にかけたかわいい娘が遠方に旅立ち、寂しくなつてしまつた今日この頃です。これからは、今まで以上に夫婦仲良くしていかなければならないなと考えています。これからの楽しみは、「初孫との出会い」。孫に喜んでもらえるようにお小遣いを貯めていこう!

とよつだより

第 2 3 号

平成23年6月1日発行

—編集・発行—

豊津地区まちづくり委員会

(広報記録専門部)

センター職員 交替のお知らせ

薄井さんがセンター長（館長）を勇退し、四月一日付で、高安主事が新センター長となりました。それに伴い、爪木の遠藤さんが新たに主事として着任いたしました。引き続き、よろしくお願いいたします。

退任にあたって

薄井 正夫



新緑の候 皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび発生した東日本大震災では、甚大な被害を受けましたが、一刻も早い復興がされることを望みたいものです。

さて、私こと、この度三月三十一日をもって豊津まちづくりセンター長を退任いたしました。在任中は、皆様に公私にわたり大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

三年間、地域の皆様の学習の場、健康づくり、心の安らぎの場として親睦と融和を図るため、関係団体と連携を密にして取り組んできました。

この三年間、多くの出会いと想い出は、私にとって貴重な体験となりました。地域の皆様はもちろん、飯島委員長を始めとしたまちづくり委員の皆様には、温かいご支援ご協力をいただき、あらためて感謝申し上げます。また、センター職員には常に支えていただき、今後は、一委員としてまちづくり活動に関わっていきたく考えています。結びに、豊津地区まちづくり委員会の皆様のご活躍と、地域の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

謝辞

薄井さんには、三年間大変お世話になりました。

センター長として、まちづくりセンターの各種事業の推進はもちろんのこと、多方面からまちづくりに大きく貢献していただきました。

今後はお体に気をつけながらこれまでの経験から貴重なご意見・ご指導をいただければと願うところです。

薄井さん、どうもご苦勞様でした。



豊津の人々に 育てられ

高安 広子



このたび、若輩の私が、豊津まちづくりセンター長（公民館長）を仰せつかり、職責の重さを痛感いたしました。

さて、平成十四年に、新鹿嶋市総合計画を進める基本姿勢として「協働のまちづくり」が位置づけられ、平成十六年度からは、公民館にまちづくりセンターが併設されて住民主体の「まちづくり委員会」活動がスタートし、今年度で八年目となりました。

「協働のまちづくり！」という名のもとに、基礎づくりの歳月を牽引役となつて、これまでまちづくり委員会活動を盛り立ててくださった役員の方々をはじめ、多くの豊津地域の皆様から惜しみないご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。とともに、今年度はこれまでのまちづくり委員会事業を総括的な視点で見つめ直す年にしたいと思っております。

奇しくも、三月十一日に東日本大震災という未曾有の惨事が発生

ご挨拶

遠藤 和子



まだまだ分からないことばかりですが、地域の皆様のご指導を頂きながら頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

した訳ですが、北浦沿岸に住む住民として、今後、どのような防災の備えや、訓練をしていけばよいのか？など、地域の方々の話し合いなどを通して、ご意見やお気持ちを、まちづくり事業に反映させて、現実的な内容を盛り込んでいかなくてはと一市民としても思っております。

これからの市民活動は、行政からの依頼に依るといいう形態だけではなく、市民として何ができるかを主体的に考え、実践していくことが、より大切になってくるものと思われまふ。

そのためには、何が課題で、何に取り組むか、その「何か」に気づくことが必要ですが、まちづくりセンター（公民館）としては、その「気づき」のための学習機会をどのようにつくっていくかが問われているのだと思います。

何かに向かつて行動を起こすための学習があり、その成果として、私たちの暮らしの向上があるのだと考えております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

新区長さん紹介



▲ 1年間よろしくお願ひいたします
(写真上・左から)

爪 木 区 長 小沼義夫さん
大船津第2区長 内野芳男さん

(写真下・左から)
大船津新田区長 大川芳郎さん
大船津第3区長 伊原市衛さん
大船津第1区長 浅間利夫さん

平成二十三年度

役員紹介

委員長 飯島亘隆
副委員長 和田 勉
幹 事 松尾恵子
宮崎幸子
監 事 君和田正子
薄井正夫

「地域環境専門部」

部 長 坂本良明
副部長 伊原市衛

「スポーツ健康づくり専門部」

部 長 山町重信
副部長 大川 悟

「文化福祉専門部」

部 長 海老沢良政
副部長 高橋栄治

「広報記録専門部」

部 長 藤枝英夫
副部長 桐生進一

災害復旧市民号（軽トラック）をご利用ください

災害による復旧活動を支援するため、各まちづくりセンターに軽トラックが配備されています。被災ごみ等の運搬用として貸出していますので、ご利用ください。



利用日時：午前9時～午後4時30分（月曜日を除く）

手続き：まちづくりセンターに連絡の上、運転免許証の写しを添えて申請してください。なお、ガソリンは実費負担です。

<ごみの持ち込みについて>

- 瓦・ブロックなど → 北海道多目的球技場仮置場
- 一般ごみ（可燃・不燃ごみ・粗大ごみ） → 広域鹿嶋RDFセンター
- ※ 午前8時30分～正午、午後1時～4時（日曜日を除く）

（注意）木くず・家具類・小型家電製品（リサイクル家電を除く）などの被災ごみは、5月10日で受付を終了しました。今後は、「粗大ごみ」として出してください。自分で持ち込みできない場合は、シルバー人材センター（電話84-5515）の戸別回収（有料）をご利用ください。

畑仕事で汗流し

「第一回とよつキッズ」

今年も地域で子どもを育む「とよつキッズ」が、5月14日（土）に始まりました。数日間続いたぐずついた天気も、この日は一転、さわやかな五月晴れとなりました。

好天のもと集まった子供たちは、リトルファームの畑仕事に汗を流しました。今年はまだ初めての畑仕事に汗を流しました。今年はまだ初めての畑仕事に汗を流しました。今年はまだ初めての畑仕事に汗を流しました。

作業を地域の先生たちに教わり、慣れない手つきながら、みんなががんばりました。畑には、枝豆やトウモロコシ、スイカなどの種をまき、その上に土をかけ、最後にはマルチを長靴で踏み固めました。今から収穫のときが楽しみです。

畑仕事でお腹をすかした後は、ホットケーキづくりです。みんなで作って、いただいたホットケーキの味はまた格別のものだったでしょう。

この後も収穫までの間、地域の先生方に教わりながら、いろいろ畑の手入れをしていきますので、地域の皆さんも、まちづくりセンターにきたときには、枝豆などの成長ぶりを見てやってください。



5月恒例の北浦一周サイクリングは、震災の影響のため、9月に延期となりました。

とよつかるためぐり シリーズ⑨

③ 六地藏

こころをこめて
導き願う



六地藏とは、地藏菩薩の像を6体祀ったもので、仏教の六道輪廻の思想に基づき、六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上）それぞれを六種の地藏が救うとする説から生まれたものです。日本では、平安中期以来、六地藏の信仰が盛んになり、地藏堂や寺院、路傍、墓地などに祀られた六体の地藏や各所の地藏尊のうちから六か所を選んだものなど、いろいろな形態があります。また、合掌して像の他、蓮華や錫杖、香炉、数珠など持ち物も異なっています。

「とよつ親子かるた」で詠む六地藏は、爪木の最勝院に祀られています。山門をくぐって右側に並んでいるので、皆さんも一度お参りしてみませんか。

※「菩薩」とは、仏陀となるために修行中の者のことをいい、「地藏菩薩」は仏陀となることを延期して菩薩状態にとどまり、衆生の苦悩の救済を本願としたものです。



豊津クリーン

5月8日に実施しました。ご覧のとおり、沢山のゴミが回収され、豊津地区が綺麗になりました。参加された皆さん、お疲れ様でした。



とよつだより

第 2 4 号

平成23年11月1日発行

一編集・発行一

豊津まちづくり委員会

(広報記録専門部)

今年のスローガンは、君和田莉央さん（豊津小2年）の作品です

運動会 笑顔でつなぐ 豊津の絆

地域の絆、深まりました



絶対の天候に恵まれた十月八日、『第六回とよつふれあい運動会』が開かれました。

今年はプログラム構成を変え、小学生の種目を午前中に集め、午後は児童達も地域の一員として各種目に参加するスタイルになりました。新しい種目も加わり、参加する人も、応援する人も、終始、和やかそして賑やかに進められました。しかし、「区対抗種目」になるとそれぞれの勝負魂に火がつくのか、白熱した戦いが随所に見られました。

結果は、区対抗の四種目中、リレーを含めた三種目で一位になった爪木Aチームが見事、優勝を飾りました。

未就学児から高齢者まで、共に笑い、語り、汗を流し、そして協力し合うこの『ふれあい運動会』、無事、終わることができました。参加された皆さん、豊津小の先生方を始めとした実行委員の皆さん、お疲れ様でした。

来年も楽しい運動会にしましょうね。



第6回 ふれあい運動会



今年もやりました！

北浦一周サイクリング

東日本大震災の影響で延期していた「北浦一周サイクリング」を、九月十日に行ないました。

今年は地震のために北浦西岸（行方側）が通れないため、北浦一周は出来ず、豊津小学校から白浜少年自然の家までの往復コースとなりました。

九月の開催ということでまだ残暑が厳しく、大変暑い中でのサイクリングとなつてしまい、参加した児童、保護者達も大分疲れたようです。しかし、心配していた熱中症もなく、全員無事に完走できました。

その中でも六年間完走し続けた児童が五人おり、閉会式では表彰を受け、大変誇らしげでした。

（六年間完走者）

青野加奈・郡司遥佳・藤城奈々
藤枝健太郎・大川歩美（敬称略）

豊津地区敬老会が開かれました

まだまだ残暑の残る9月18日、「平成23年度豊津地区敬老会」が、138名と多くの方の参加のもと今年も新仲家を会場に開かれました。

今年度の豊津地区の対象者（昭和16年4月以前生まれの方）は306名で、米寿（88才）は5名、喜寿（77才）が20名、新敬老者（71才）は27名いらっしゃいました。

第1部では、記念品贈呈や来賓からのお祝いの言葉、敬老者代表の挨拶などがあり、第2部では、豊津小児童による作文発表や歌の披露、地域の方の踊り、敬老者の自慢の喉の披露などが賑やかに行われました。

また、鹿嶋警察署管内は交通事故が多いことから、鹿嶋警察署交通課長から交通安全に関する話がありました。豊津地区の高齢者の皆さんはお元気で、活動的な方が多いので、くれぐれも交通事故に遭わないようお気をつけください。



▲参加された新敬老者の皆さん

○ぼくは、移動教室に参加して来ました。東京消防庁では、暴風雨の体験をしてとばされそうになり、とてもこわかったです。あと、東京タワーにエレベーターでのぼりました。東京タワーは高かったからちよつとこわかったです。こんどはスカイツリーに行きたいです。（二年 大川侑也さん）

○防災館では、大地震の映画を観たり、暴風雨体験をしたり、消火器の使い方を学んだり、地震の体験をしました。今回やった体験は、ふだんの生活ではやらないような感じがしました。けど、もし火事になったり、津波そして台風、地震がおこってしまった時は、今回の体験を生かしたいと思いました。そして改めて津波や水害などのおそろしさを学びました。（五年 君和田睦さん）

八月四日、東京消防庁での防災体験と東京タワー見学を目的とした移動教室に行ってきました。学校での避難訓練等とちよつと違う貴重な体験をしたキッズたち、この体験を忘れずにしてほしいですね。

参加者の感想



とよつキッズ移動教室 （二十八人参加）

ゴミ分別教室

豊津地区ではゴミ分別がされてなくて引き取ってくれないゴミ袋が散見されていることから、まちづくり委員会において話題となり、地域環境部と文化福祉部が共催で市の環境課の職員に講師をお願いしてまちづくりセンターで講義をしていただくことになりました。8月7日（日）豊津クリーンを125名の参加で綺麗にした後、子どもたち12名を含め総勢48名の参加を得て、何故分別が必要かの目的について理解を深めました。ゴミ処理センターではRDFという設備で固形燃料を再生している関係上、可燃物の中に対象外の物が混じっていると処理する刃が破損するなど大きな問題が発生するので分別をしっかりとしていないと回収出来ない。協力をお願いしますとの事でした。説明の後、意見交換も活発に行われました。分別の大切さを再認識しました。



東京ウォーキングと赤坂界隈

（四十四人参加）

九月二十五日、毎回参加者から好評を得ている「東京ウォーキング」を実施しました。今回は、江戸時代に紀州徳川家の中屋敷だった東京御所の周辺と赤坂界隈を巡る約7キロのコースです。当日は、気持ちの良い天気でした。迎賓館前から出発し、左手に御所の石垣を見ながら、青山一丁目の交差点を左折。TBS放送センターまで歩き、センター前広場（赤坂サカス）で昼食をとりました。午後の出発まではそれぞれに自由時間を楽しみ、中には日枝神社まで足を伸ばされた方もいたようです。午後は、豊川稲荷を参拝し、出発地点の迎賓館前に戻りました。それぞれに日々の運動不足を感じながらも、気持ちの良い汗をかいいた一日でした。参加された皆さん、お疲れ様でした。



▲素晴らしい迎賓館の門の前で記念撮影

◆主事のつぶやき◆
一年という時間は早いもので、去年の今頃は、何をしていたか考えると、あれもこれもついこの間のことのように見える。子どもたちもそれぞれ巣立ち、少し寂しいような、うれしいような…。さて、来年の今頃は、いったいどんなことを思い出しているのかな。そのために公私ともに一日一日を充実させよう！

幕末から明治初年にかけて、水戸学のお膝元である常陸国には、尊皇攘夷・廃仏毀釈の嵐が吹き荒れました。「天狗党の乱」は、元治元（一八六四）年に筑波山で挙兵した水戸藩内外の尊皇攘夷派（天狗党）によつて起こされた一連の争乱です。天狗党の末路は、維新史において会津戦争と並ぶ悲劇とされています。

天狗党の墓は、大船津の大じょう辺田の東側中腹にあります。天狗党の一隊約八〇人がこの地から延方方面に逃げる際、付近で幕府の追討軍と交戦。この墓は、その時に捕虜になり処刑された二十三人のもので、明治維新後に建てられたものです。天狗党の墓は、市の指定史跡になっています。

天狗党のことは意外と知られていませんが、福井県や岐阜県などにもその爪痕が数多く残されており、茨城県の近代史に大きな傷跡を残しています。



ぬれぎぬを着せられて散る天狗党



とよつかるためぐり

シリーズ⑧

とよつだより

第 2 5 号
平成24年3月1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

元気アップ！ 新春かるた大会

今年で七回目を迎える「豊津かるた大会」ですが、今年は例年と違った意味合いがあったのではないのでしょうか。

昨年三月十一日の東日本大震災から間もなく一年がたとうとしています。液状化によってでこぼこになった道路、地震で傾いた塀、まだ修理の終わらない瓦屋根など、地震の傷跡はまだまだ残っています。

豊津地区は、市内でも比較的被害の少なかった地域ではありますが、それでも被災による沈滞感が漂っていました。

こうした中で行われたかるた大会は、少なからず住民の元気アップにつながったのではないのでしょうか。

かるた大会には、未就学児からシニアまでの幅広い層から参加があり、賑やかに競技が行われ、かるたの後には、雑煮、あんころもち、きな粉もちが振る舞われました。

地区住民が集まって楽しく過ごしたこの一日が、参加者の心身を元気にし、復興への意気込みが増したと感じました。

各部門の成績

☆未就学児の部

優勝 君和田 茉歩 ちゃん

二位 原口 明音 ちゃん

三位 宮崎 湧 ちゃん

☆小学校一・二年の部

優勝 大川 侑也 君

二位 山本 柚希 さん

三位 君和田 莉央 さん

☆小学校三・四年の部

優勝 高橋 里梨子 さん

二位 藤城 歩夢 君

三位 君和田 潤貴 君



優勝者のひとこと

☆小学校五・六年の部

優勝 青山 昂正 君

二位 君和田 睦 さん

三位 郡司 遥佳 さん

☆一般の部

優勝 君和田 勁 さん

二位 青山 和子 さん

三位 君和田 元浩 さん

☆シニアの部

優勝 君和田 美智子 さん

二位 石上 千代 さん

三位 斉藤 幸子 さん



避難訓練を実施

一月三十一日、災害への心構えを育むことを目的に、豊津小学校と地域との合同避難訓練を行いました。

(参加者Ⅱ豊津小児童・先生、及び地域住民四十一人)

当日、十時二十五分、「体育館へ避難してください」という校内放送から訓練が開始。まず、小学生が体育館へ避難。その後、学年ごとに決められた役割をこなし、召集係の六年生や先生方が、校庭に集まった地域の方々を既にマットを敷いた体育館へ地区ごとに誘導しました。

校長先生から、「豊津地区は、これまで何度も水害に見舞われた地域。災害はいつ起きるかわからないので、心構えは必要です」と、東日本大震災を経験して、学校も防災教育を重視している話がありました。

その後、講師としてお招きした鹿嶋消防署員から、昨年三月十一日の震災時の実体験の話や、巨大津波に襲われた岩手県釜石市で約三千人の小・中学生が無事に難を逃れた『釜石の奇跡』の話があり、心構えや訓練、そしてその実践がいかに重要か、参加者は再確認をしました。

また、豊津地区は高い場所がないため、水害の際は、鹿島まちづくりセンターなど、台地部の公共施設が避難所になるとの説明もありました。

講話の後で行われた質疑応答では、避難する際は、軽トラック等での乗り合いも有効だとか、災害の種類によって対応は異なるが、まずは落ち着いて行動することが大事などとも教わりました。

最後は、「災害時は『焦らず、慌てず、諦めず』で乗り切ること事が大事」との飯島委員長の話で、今回の訓練を終えました。

この貴重な避難訓練、今回限りで終わらせることなく、二回目・三回目と続けていくことが重要である、と学校と考えるが一致しましたので、次回以降の開催時期や内容などについて、今後、学校と協議を進めていきます。その時には、多くの方の参加をお待ちしております。

※この訓練のことは、茨城新聞(二月四日付)に掲載されました。



とよつまつり

平成23年11月6日(日)



よさこいソーラン



作品展示

天候にはあまり恵まれませんでした
が、今年度も皆様のご協力により、
盛大にとよつまつりを開催しました。



模擬店



明るい農村



提灯



秋の深まりを感じる十一月二十六日、小学生十一名、大人十七名で高萩市の土岳・花貫溪谷に行ってきました。土岳は小滝沢登り口から出発して山頂を目指します。途中、斜面が急で木の根や岩が多く滑りやすい場所もあるので、安全面から小学生に大人が補助で付く班と大人の班に分かれて登りました。歌を口ずさみながら登る元気な子どもたちに励まされながら無事到着。山頂からは阿武隈山地の山々が三百六十度広がり、素晴らしい景色でした。

豊津ハイキング

土岳・花貫溪谷

今回で三回目の『男の料理視察研修ツアー』は、「あんこう鍋を食べに行こう!」と決まりました。東日本大震災以来、北茨城市平潟漁港への客足が少なくなり、あんこう鍋を食べに来る客が激減したという記事が茨城新聞に掲載されていました。そのようなことから、同じ県民として何とか協力できないか、一助になればないか、という気持ちから行き先を決定しました。十一月二十一日の当日は天気にも恵まれ、現地を訪れて震災の傷跡を見ました。ガレキはほとんど片付けられていましたが、建物のブロッコだけが残っている悲惨な状態を目の当たりにし、震災の傷の大きさを実感しました。

その後は、気分を変えて本来の目的であるあんこう鍋へ。穏やかな太平洋を眺めながら美味しくいただき、平潟魚港を後にしました。

とよつかるためぐり (特別編)

一月二十八日、「とよつかるた」に詠まれる場所を巡る『新春ウオーキング』を行いました。(参加者二十三人)

一の鳥居から出発した参加者は、大船津大塚辺田近くに着くとセンターで作った大助人形五体を立て、家内安全や悪魔払いを祈りました。これは「人形送り」と呼ばれ、害虫や悪疫の災厄を除くため、わらなどで作った素朴な人形に身体にいたけがれなどを託し、むら境に立てたり、川などに流したりする風習です。昔は多くの地区で行われ、爪木地区でも行われていたようですが、近年は少なくなっているようです。

その後、祭神として菅原道真公を祀っている鶴来天神にお参りしました。ここは、緑ヶ丘区にあります。古くから爪木区の皆さんが護っている社です。

鶴来天神の後は、城山公園で休憩し、根本寺を経由して、センターへ戻りました。最後に甘酒も振る舞われ、参加者は疲れを癒しました。



※人形送りについては、茨城新聞(二月一日付)に掲載されました。



◆広報委員のつづき◆

今年は、かるた大会の後に繭玉飾りを実施。初めて体験する子どもたちがほとんどでしたが、上新粉で作った紅白の繭玉を用意した枝に付け、きれいな餅花ができました。五穀豊穰を祈願するこの餅花。豊津地区に多くの実りを与えてくれるでしょう。そう願いながら、ついお餅を食べ過ぎ。身体への実りは、もう十分なのですが……

とよつだより

第 2 6 号

平成24年6月15日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

過去からの教え

豊津地区まちづくり委員長
飯島 亘 隆



深緑の候、豊津地区の皆様には益々ご清栄のことと推察申し上げます。また、まちづくり委員会事業には、日頃から深い理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

日本が世界に例を見ないスピードで、少子高齢化と進んでいます。豊津地区は市内でもこの傾向の強い地区であり、自治体の最小単位である町内会の加入率は約六十七%(当委員会調べ...区費納入世帯数より)と全市内とほぼ同率です。今後も高齢化の進展により、組織と運営の改編がないと、加入(組織)率は更に低下すると思われます。

さて、豊津は水辺に位置し、古来より稲作を営んできました。水稲は連作障害もなく、毎年の青田から黄金への変化は貴重な風景です。また稲作は、地域環境の保持にも大きく寄与しています。まさに「宝の草」です。更に、水辺は生物発祥の地であり、豊かな生物種の宝庫でもあります。生物の多様性が叫ばれますが、ミツバチの不足により果物の交配に苦労したのは数年前です。

生物の形態は単純であり、美しく、無駄がなく、神の創造物とする宗教もあります。しかし、数々の天変地異や生存の為に美しい生体を作ったとの説が有力です。そして、全生物が四億年の遺伝子を蓄積し、動物は妊娠期間中に進化の全てを再現(発生反復説)していると言われます。

生物四億年の歴史の一員である我々は、水辺の豊かな生物種に囲まれ、稲作文明が造り上げた地域集落の知恵があり、遺伝子に刻まれた「共生」と思われます。

今年度の区長さん紹介

平成二十四年度の豊津地区の区長さんたちです。昨年度も副区長としてお世話になりましたが、今年度もどうぞよろしくお願いたします。

(▼写真右側から) 敬称略

- ・額賀 清孝 爪木区長
- ・松岡 美光 大船津第一区長
- ・久保原茂男 大船津第二区長
- ・坂本 良明 大船津第三区長
- ・大川 喜美 大船津新田区長

※区長さん方のご尽力により大船津の産業道路沿いに防犯灯がつけられました。
ありがとうございました。



地域の皆様に感謝

豊津まちづくりセンター長
高安 広子

青田の美しい季節となりました。

「豊津地区まちづくり委員会」と言う名のもとに、牽引役となってくださっているまちづくり委員さんをはじめ、地域の皆様のご協力をいただき、活動がスタートしてから八年余が経過します。あらためて、豊津地区の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年は、「鹿嶋市まちづくり懇話会」のまちづくりに関するアンケートを実施した時に、併せて豊津独自のアンケートも行い、貴重な御意見をたくさんいただきました。ありがとうございます。

ゴミの分別や、側溝の臭い、防災のこと、地域の子どものことなど、自分たちの住んでいる『豊津』に対する思いを、ヒシヒシと感じ取ることができました。それらは、地域課題として、あるいは将来を見据えた御意見として真摯に受け止め、まちづくりに活かしていければと考えております。
今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

平成二十四年度 地域環境専門部の取り組みについて

地域環境専門部部長 坂本 良明

マナーの欠けている人々により、道路や堤防沿いには、空き缶、空きビン、空きペットボトルなどが捨てられています。平成二十四年度も引き続き、「豊津クリーン作戦」を展開し、地域の環境美化に努めたいと思います。

昨年三月十一日に発生した東日本大震災は、想像を絶する被害をもたらしました。災害は、いつ起こるかわかりません。昨年度は、『災害への心構えを育むこと』をテーマに豊津小の生徒と地域住民との合同避難訓練を行いました。豊津地区は、これまで台風等によって何度も水害に見舞われた地域です。本年度も、消防署や市職員の派遣協力を得て、防災教育や避難訓練を計画しています。

また、豊津地区は、北浦、鰯川に面し、大船津の住宅街には、流れ川や御手洗都市下水路があり、水害等の危険箇所が多い地域でもあります。毎年二月には、区長・副区長さん方のご協力をいただき、危険箇所の点検を行っています。その中で、地域で改善の不可能な場所は、市役所に要望し、昨年度も道路の歪みや、流れ川のフェンス等、すぐに補修していただくことができました。安心して暮らせる地域を作ること、そこに住む人々の願いです。
今後とも一層のご協力をお願いします。

▼五月十三日実施の豊津クリーン

- 参加者 一七二人(うち児童六人)
- 収集ごみ 可燃物 八袋
- 不燃物 二十六袋

※豊津クリーンの今後の予定

八月五日(日)・一月十三日(日)
ともに午前八時からです。



とよつきッズ（リトルファーム）

夏のように暑かった五月二十六日、今年度一回目のリトルファームを行いました。公民館敷地内の畑に、プチトマトとスイカの苗、それに大豆の種を植え（播き）ました。大豆は、秋に収穫して豆腐作りをする予定です。楽しみです。

※「とよつきッズ」では、ほたる見学会やキャンプ、石けん作りなど、多くの事業を予定しています。元気な豊津っ子、集まれ！



六月三日 ソフトボール大会



優勝 爪木 A チーム
準優勝 大船津 第二区 チーム

男の料理教室

第一回目の活動を四月十五日に実施しました。参加者は新人一人を加えて十四人。メニューは①まぐろの手こね寿司、②餃子、③イカとキュウリのサラダ、④天ぷら、⑤お吸い物の五品です。会員が各々単品の講師となり、班分けも自然のまに形づくられ、和気藹々の中で作られてお膳に配膳されました。

本会は料理を勉強するだけではなく、日頃のお家で料理をつくる奥様の苦勞を体験し、感謝する気持ちを持つことも目的としています。今後二回計画していますので、積極的に参加をしていただきますようお願いいたします。



▲ 真剣な表情は職人



▲ 味はもちろん最高

豊津ハイキング感想

- ・ 歩くのはつかれたけれど、景色がきれいだった。 六年 米川 桃加
- ・ 岩の上に乗ったり、川で遊んだりしたのが楽しかった。また、最後に食べた豚汁がおいしかった。 六年 浅間 美穂
- ・ 景色がきれい、きれいな冷たい水があつてすごかった。 四年 海老沢 更紗
- ・ 景色がきれいで、歩くのはつかれたけど、また行きたい。 四年 松岡 綺羅
- ・ つかれたけれど楽しかった。 六年 君和田 武
- ・ 登りがすごく大変だったけれど、山頂から見た景色がすごくきれいだったので良かったです。 六年 大内 碧海
- ・ 歩くのがつかれたけれど、山頂に着いて景色を見たとき、とてもきれいで歩いたかよかったと思えました。山町さんもおもしろかったです。 六年 松岡 怜奈
- ・ 登りからとてもきつかったです。子ども達はとても元気で、ついて行くのに必死でしたが、山頂に着いてから見た景色を見て、とても気持ちがよかったです。 大川 美恵
- ・ 登り始めは、小川の音など周りを楽しみながら登る事ができました。山頂までは、すごく大変だったけれど、山頂の景色を見ながらのおべんとうは、おいしかったです。 松岡 理恵

・ 歩くのには良いコースでした。特に登りは、滝や山合いを流れる水音や、周囲の景色に変化があり良かったです。久しぶりの春のハイキングに参加させていただきありがとうございました。お世話になりました。 大川 かつ子

とよつかるためぐり シリーズ⑫

③ るんると夢を語ろう 公民館



去る四月二十七日、まちづくり総会を開き、二十四年度事業計画を決定しました。広報記録専門部は、年三回の「とよつだより」発行を計画しています。今号が年度当初ということで、まちづくり委員長とセンター長に抱負を語っていただきました。今回の「とよつかるためぐり」は、ここ豊津公民館（豊津まちづくりセンター）を取り上げます。

平成七年四月、『湖上にひびけ 和してつどい 楽しく語り 学びあう声』を願って開館したこの施設は、今年度で十八年目に入りました。その願いどおり、地域の皆さんが気楽に立ち寄り、地域をより良くしようという夢を語り合い、実践を行う地域の拠点として、公民館は役割を存分に果たしてきました。市内の公民館では、後の方に造られた施設ですが、その活動は市で一・二を競う優良施設と常に評されています。



高齢者スポーツ大会結果（六月八日）

- 結果（三位まで）を紹介します。
- △グラウンドゴルフの部▽
 - 一位 遠藤幸子さん 二位 黒須はるさん
 - 三位 君和田隆さん
 - △輪投げの部▽
 - 一位 大川初枝さん 二位 遠藤実さん
 - 三位 根本敏子さん
 - △クロッケーの部▽
 - 一位 新田 A チーム 二位 新田 C チーム
 - 三位 大船津 A チーム

とよつだより

第 2 7 号

平成24年11月1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

第七回とよつふれあい運動会

大空の下未来へ羽ばたけ豊津の子

十月六日、雨を心配しながらも「第七回とよつふれあい運動会」が無事、盛大に開かれました。昨年に引き続き、午前は児童達の運動会、午後は地域の運動会として、未就学児から高齢者まで、ワイワイ楽しく展開されました。また、来年度の新入生も八名が参加してくれ一緒に楽しんでくれました。

最大の関心事の区対抗ですが、四つの対抗種目中、「区対抗リレー」を除く三種目で優勝した新田区が、うれしい、うれしい（ふれあい運動会での）初優勝を飾りました。

【優勝区コメント】

大川誠二 新田副区長

今回、地区対抗において、我が新田チームは初優勝をすることができました。近年の成績からして優勝など考えもしませんでした。皆協力し、精一杯頑張った結果だと思っています。過去、あと一步のところで優勝を逃した悔しい思いがあり、今回の優勝には特別の思いを持って、皆で喜びを分かち合いました。

全体を通して感じたことは、午後の部において、地域の自由種目にほとんど全ての生徒が違和感なく積極的に参加し、楽しんでいる姿が過去の六回より鮮明に感じられ、ふれあい運動会が年々充実し、定着しつつあることを実感した一日でした。



とよつキッズ 活動紹介

とよつキッズも八回の計画をたて余すところ最後の十一月の手作り豆腐づくりのみとなりました。これまで大人の皆さんの沢山の応援をいただきありがとうございます。

七月二十八日、健康教室と三世代交流食事を実施。今回は、市役所の保健師さんから健康講話（生活習慣病予防のための食生活ポイント等）を受けた後、DVDを見ながらステップ体操を行いました。

このステップ体操から子ども達も加わり体操の後は、子ども達が作り、そして配膳したカレーライスを仲良く一緒に食べました。



事業月日	事業名	子ども	大人	合計
5月19日	豊津ハイキング	8	14	22
5月26日	リトルファーム種まき苗植え	18	17	35
6月23日	ホテル見学会	49	43	92
7月28日	健康教室&三世代交流食事会	6	44	50
8月4日～5日	体験学習	26	27	53
8月19日	石鯛づくり&ピザづくり	5	17	22
9月9日	おもしろ理科先生	8	14	22

続きました! 第三十回

北浦一周 サイクリング

今回が記念すべき三十回目となる「北浦一周サイクリング」(豊津スポーツ父母の会・豊津地区まちづくり委員会の共催事業)は、震災の影響から昨年に引き続き九月に行われました。

ここ数年は、北浦大橋や鹿行大橋まで行って引き返す北浦半周に留まっていたが、今年は三十回記念という事で原点に返り、北浦一周を目指しました。走行距離が七十kmを超える事からか、一・二年生の参加はなかったのですが、それでも三年生以上の児童や保護者、先生、まちづくりセンターの職員等、九月二十九日の朝、元気に豊津小学校を出発しました。

堤防が工事のところは、下に降りて細い道をくねくね行くといい、決して走りやすいコースではありませんでしたが、参加者全員が完走する事ができました。

た。北浦一周をやり遂げた子どもたちは、皆満足げでした。

六年間完走者は三名で、賞状とクリスタルの盾が、またこの間のサイクリングへの貢献に対し、箕輪礼子さんと山町重信さんへ感謝状と盾が贈られました。

北浦浄化を訴え続けてきたこの事業、昔のようにきれいな北浦になるまで、今後四十回も五十回も続く事を願い、第三十回目の北浦一周サイクリングを閉じました。

皆さん、お疲れ様でした。

【六年間完走者の感想】

○君和田武くん

「完走できてうれしかったです。」

○浅間美穂さん

「疲れたけど完走できて良かったです。」

○大内碧海さん

「六年間続けてきて良かったです。」

「六年間続けてきて良かったです。」



【箕輪礼子さんの話】

「命の水・北浦を守りたい」昭和五十八年十月十日。延方スポーツ少年団と合同で第一回の北浦一周サイクリングを行いました。以後一度も中止することなく第三十回を迎えることができました。感謝です。」

【第一回に参加した郡司典子さんの話】

「第一回サイクリングに参加した私の小学生時代、まだ子供達が自転車乗り回すのは豊津近辺だった頃、北浦一周は胸をドキドキさせる大イベントでした。この素晴らしい大イベントが、これからも深く皆の心に歴史を刻んでいくことを願っています。」

今年も楽しく敬老会を開催

九月十六日、「平成二十四年度豊津地区敬老会」が新仲家で開かれ、一二四名の方が参加されました。(対象者は、七十二歳以上の方、二八八名)

式典では、米寿の三名、喜寿の十二名に褒状が渡され、その後は、小学生の作文発表や踊り・カラオケの披露を見ながら、楽しい時間を過ごされました。皆さん、ご長寿おめでとうございます。



AED講習を実施

豊津まちづくりセンターにもあるAED。聞いたことはあるけど

使い方は知らない人が多いはず。そのようなことから、九月十九日、鹿嶋消防署で講習を行いました。

参加者の声

講習があると聞き、気軽に参加。AEDを目にする事は多く、音声誘導指示で容易に操作できると信じていたが、何もできない情けなさが心をよぎる。受講前に、AEDが必要な場に遭遇しなかった事に安堵。受講後は、仲間とテキストで復習し、何時でも人様のお役に立てるように努力せねばと思った。(ブルース・ハーモニカ・クラブ 山形勝美)



爪木地区で避難道を整備しました

十月十三日、爪木地区で避難訓練の準備として原向き坂(土地改良事務所前から浄水場へ向かう坂)の環境整備を行いました。



東日本大震災後、各地で避難訓練等が行われていますが、ここ豊津地区でも、昨年度、小学校体育館への参集訓練と消防署職員からの講話を受けました。今年度は、地区ごとに台地部への避難訓練を予定しており、その第一弾として、爪木地区で十一月十八日に実施します。既に「そよかぜ(特別号)」で案内していますので、多くの方々の参加をお願いします。※大船津、新田地区も、年明けに実施する予定です。

とよつかるためぐり シリーズ⑬



座(ふ) 普渡寺に
わす 宝物の
船越地蔵

鎌倉時代の建長四年(一二四九)、忍性良観上人が鹿島の大神の神託を受け、神木の南枝を切り取り、仏像を彫って海上交通安全を祈願し、普渡寺が創建されたといわれています。

普渡寺は、「ふつと」という言葉に連想されるように、渡し場の寺、港の寺として広く庶民の間に信仰されましたが、現在は無住寺(住職のいないお寺)となっています。忍性上人と関係がある「船越地蔵」は所在不明ですが、江戸時代中期の地蔵尊を安置しています。また、本尊である木造十一面観音立像は、平成二十二年一月に市指定文化財に指定されています。

普渡寺は、現在、大船津公会堂として、老人会や町内の集会のほか、子ども達向けのそろばん塾の会場としても広く利用されています。



へ広報委員のつぶやき♪
「避難とは、難を避けることで、必ずしも避難所へ行くことではない」、「とつさの判断はとつさにできない」、「いざという時に、何もかも役所が面倒見てくれると考えているのは、日本人だけ」等々、講師の発言にうなずいたり、苦笑いしたり。六十人を超える方々が参加した十月二十七日の『豊津地区防災講座』で的一幕。自助(自分で守る)、共助(協力して助け合う)、公助(行政等の助けを受ける)という言葉もありますが、「自分の身は自分で守る」が基本。そのために、準備をしておくことが必要とあらためて学びました。

とよつだより

第 2 8 号

平成25年3月1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

① いの一番
一の鳥居より
初詣

新春恒例
とよつかるた大会



各部門の順位

へ幼児の部へ

一位 新岡 姫ちゃん

二位 柏葉 龍穂くん

三位 柏葉 巧磨くん

へ小学生低学年の部へ

一位 宮崎 渚ちゃん

二位 根本 悠宇くん

三位 君和田 由奈ちゃん

へ小学生中学年の部へ

一位 額賀 寛末さん

二位 長岡 涼太君

三位 根本 莉久君

へ小学生高学年の部へ

一位 君和田 睦さん

二位 佐藤 賢吾君

三位 君和田 潤貴君

へ一般の部へ

一位 青山 昂正さん

二位 伏見 文さん

三位 柏葉 朋子さん

へシニアの部へ

一位 君和田 美智子さん

二位 生井沢 恵子さん

三位 君和田 君江さん



新春の一月二十七日(日)、寒中ながら穏やかな日に、公民館では「はい!」「取った!」という元気な声が響き渡りました。
今回で第八回目を迎える「とよつかるた大会」。
幼児からシニアまで、総勢で六十名が参加し、賑やかに開催されました。
まだ小学校に入っていない幼児の部もちゃんとひらがなが読めました。
小学生は低学年、中学年、高学年に分かれ、熱戦が繰りひろげられました。特にこのクラスは接戦が多く、同じ取り札による順位決定戦も行われました。
一般の部は中学生が圧倒的に強く、昨年に続き中学生が優勝しました。
シニアの部はゆっくりとした雰囲気を感じながらも、札を取るときには一瞬のきらめきを見せていました。
かるた大会の後は、例年どおり地域の方々がついてくれたお餅をいただきながら、熱戦を振り返りました。

「また来年も勝てるようにがんばります。」

「あまり練習できなかったけど、勝ててうれしかったです。」

「しばらく優勝できなかったもので、うれしかったです。」



避難訓練の様子が、茨城新聞(2/2)に載りました



地域住民と合同で避難訓練を行った豊津小の児童＝鹿嶋市城山の鹿島城山公園

昨年十一月十八日に爪木地区で、本年一月三十日に大船津地区で避難訓練が行われました。
爪木地区は事前に避難路の整備を行い、当日は田園都市センターで消火訓練を行った後、浄水場まで歩いて行きました。
大船津地区は、豊津小学校と合同で行いました。平日の日中だったこともあり、参加者は比較的高齢の方が多かったのですが、児童たちと城山公園まで仲良く、元気に歩きました。
なお、新田地区の避難訓練は、三月二日(土)に予定しています。

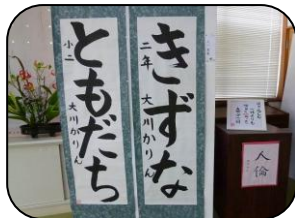
爪木・大船津(小学
校合同)で避難訓練



【大船津】

【爪木】

【爪木】



「第十七回とよつまつり」が十一月四日（日）に実施されました。写真で、一部を紹介します。

当日はお天気に恵まれ、クロケ―場での芸能発表会では、坂本善次さんの企画施工した豪華なステージが映え、司会の久保原茂男さんの名進行のもと、思い出に残る発表会でした。ささやかではありますが、お楽しみ抽選会も行い、参加された皆さんに喜んでいただきました。

来年度も沢山のご参加をいただき、豊津地区の楽しいお祭りにしたいと思っております。



豊津公民館がNHKで放映（1/18）

ご覧になりましたか？地元
の旬の食材を使った新メニュー
を創作する番組『キッチン
が走る』。この回は、「冬の
漁師町でサプライズ・イタリ
アン・茨城・鹿島」という
タイトル。食材に、鹿島灘はまぐり、北浦のわかさぎ、そして三つ葉が取り上げられました。

豊津公民館は、駐車場キッチンカーでの調理と会議室での食事風景が、再放送を含めて、三回、放映されました。最後は、黄昏の中に爪木の堤防が映し出されました。



秋の鎌倉路をウォーキング！（11/25）

鎌倉エリアは、全国的に人気の観光地、ウォーキングスポットですが、一年の中でも秋はベストシーズン。このウォーキングも、募集したところ、あつという間に定員（四十七人）に達しました。

天候に恵まれ、凄い人出の中でしたが、円覚寺や高德院（鎌倉の大仏）、長谷寺などを巡る他、小町通りなどの散策時間もあり、参加者はそれぞれに鎌倉の歴史と自然、そして名物（美味？）を満喫してきました。



上手に豆腐ができたぞ！（2/3）

今年度最後の「とよつキッズ」。今回は、秋に自分たちで収穫した大豆を使つての豆腐とおからドーナツ作り。インフルエンザで参加者が減ってしまいましたが、みんな初めての体験だけに、ワクワク。楽しく、そして美味しくできました。



○大豆からおから、とうふが作れるなんてはじめて知りました。おいしかったです。また作りたいです。（君和田理澄さん）

○とうふ作りやドーナツ作り、とても楽しかったです。（宮崎涼くん）

とよつかるためぐり シリーズ⑭

③ 古屋町に
安産祈る
子安様



④ 大船津郷
安泰祈る
鎮守の社



風も風ぎて暖かな一月十九日、「新春ウォーキング」とよつかるためぐり」を行いました。コースは、まちづくりセンター子安様・大船津稲荷神社・鹿島神宮・神武殿・御手洗池・まちづくりセンター十km弱。



この「子安様」、昔は十二月十三日に縁日が開かれていたそうですが、場所はわかりませんか？読み札にある「古屋町」とは現在の南町第二で、大船津稲荷神社とは背中合わせに位置します。妊婦の安産を守護する神様が祀られ、南町第二の皆さんが管理をしています。

「大船津稲荷神社」は、大船津村時代の鎮守様で、毎年二月の初午と十月二十二日のお祭りには、幟が立てられます。また、毎月一日と十五日には、「文化を守る会」の方々が太鼓や念仏で祈願をしてくれています。

（つぶやき）

一月三十日の小学校と大船津地区の合同避難訓練。副題は『自分の命は、自分で守ろう』。災害時に限らず、日常でも、規則正しい生活、適度な運動、交通ルール等、守るべきとされていることはいろいろあります。全年度も、様々なまちづくり事業が展開されます。健康作りや趣味作り、交流の拡大、等々の目的をもって、皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

とよつだより

第 2 9 号

平成25年6月15日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

第三十一回北浦一周サイクリング



H25.5.25

三年ぶり

五月に実施

薫風の中 北浦浄化を訴える

五月二十五日(土) 朝八時三十分、「北浦一周サイクリング」(豊津スポーツ父母の会と豊津地区まちづくり委員会の共催)の参加者が、『湖はみんなの宝』、『北浦浄化にご協力をお願いします』と、おなじみになった言葉と共に豊津小学校を出発しました。

天気は五月晴れ。北浦一周サイクリングが五月に戻ってきたことをお祝いしているかのようでした。ここ二年間は東日本大震災の影響を受け、九月に実施してきましたが、今年は堤防の復旧もほぼ完了し、例年通りの五月実施となりました。

参加者の心がけが良かったのか天気は好天でしたが、風が強く、行きは逆風となつてペダルをこぐ足も重たくなりましたが、元気に北浦浄化を訴えながら、北浦の堤防を走って行きました。北浦公民館で昼食をとり、一息入れたところで帰路につき、午後四時三十分頃に豊津小学校へ戻ってきました。久しぶりに参加した一年生(二人)も、元気に帰ってきました。完走した子どもたちや保護者は、皆満足げな顔をしていました。

今年の六年間完走者は一人だけで、閉会式で表彰を受けました。講評で、箕輪礼子先生が一年生から走っている子どもたちに手を挙げてもらったところ、参加のなかった二・三年生を除き、全ての学年で完走賞の候補者がいました。可能性のある子どもたちは、ぜひ六年間完走してもらいたいところです。

この事業は、昨年第三十回と区切りの年でしたが、今年は四十回を目指す最初の年となりました。北浦がまた昔のきれいな姿を取り戻すまで、この「北浦一周サイクリング」を四十回・五十回と続けていってほしいと願いながら、心地よい疲れとともに三十一回目のサイクリングを終えました。

参加された皆さん、お疲れさまでした。

来年も多くの方の参加をお待ちしています。

よろしくお願いします。



3年ぶりに参加の1年生→



やっ と 学 校 に
ゴ ー ル イン !



陰から見守るバイク隊



藤城歩夢君の感想

一年生の時、完走賞を狙って参加したけれど、本当にもらえてうれしかったです。



生井沢会長から
歩夢君に賞状の授与

六年間完走賞

藤城歩夢君

高尾山を楽しんできました

今年の『豊津ハイキング』は、五月十八日、高尾山（八王子市・標高五九九m）へ行ってきました。

都心から近く、ケーブルカーやリフトも整備されていることから、大人気の山です。

新緑真っ盛りの時期という事もあり、大変な人混みでしたが、絶好のハイキング日和に恵まれ、高尾山の自然、そして森林浴を思い思いに楽しんできました。（参加者…二十九人）



参加者の感想

★緑がとってもきれいで、楽しかったです。（生井沢直美さん）
★自然がきれいで、眺めがよかったです。（生井沢桃花さん）
★ケーブルカーに乗れて、うれしかった。（松岡綺羅さん）



元気に とよつキッズ

五月十一日、とよつキッズの事業『リトルファーム』が、文化福祉専門部の皆さんの指導のもとにスタートしました。

まちづくりセンター前の駐車場脇に、スイカの苗を植え、トウモロコシの種をまきました。当日は小雨に降られてしまいましたが、子ども達が十三名、大人も十三名と沢山の参加を得て、楽しく実施できました。また、作業後にはホットケーキを皆で作りと、美味しくいただきました。どれも収穫できるか、今後の生長具合がとても楽しみです。それまで、時々見守ってあげてください。



（注）『とよつキッズ』は鹿嶋市が小学生を対象に実施している『放課後子どもプラザ事業』の豊津版。子ども達の安全安心な居場所作りを推進するもので、地域の人たちの交流事業などを実施しています。次は、六月二十九日に「ほたる見学会」を予定しています。

頑張りました ソフトボール

六月二日、恒例の『ソフトボール大会』をト伝の郷運動公園で開催しました。肌寒い日でしたが、グラウンドに立つと、老若男女、明日の筋肉痛も恐れず、持てる力を発揮し、頑張りました。結果は、次のとおりです。

優勝（初優勝）▼
大船津第一区
準優勝
爪木区A



今年も豊津クリーンにご協力を

地域の美化活動として行っているこの『豊津クリーン』ですが、今回もマナーの守れない人によって道路や堤防に放置されているゴミや空き缶、空き瓶などを回収しました。豊津地区（特に堤防など）は、他の地域の方に釣り場などでも利用される機会も多く、花火大会や御船祭なども行われる会場でもありますので、環境美化には特に注意をしたい場所です。

今回の参加人数は、一八人でした。次回は 八月四日、その次は来年一月十二日、いずれも午前八時からです。皆さん、引き続きのご協力をよろしくお願い致します。



まだまだ若い 元気いっぱい

高齢者スポーツ大会

六月六日、神野ふれあい公園で行った結果は次のとおりです。皆さん、和気あいあいとしながらも、勝利を目指して頑張りました。お疲れ様でした。（敬称略）

グラウンドゴルフの部

優勝 大川あい
準優勝 秋竹千代
第三位 根本芳子

クロッケーの部

優勝 新田A
準優勝 新田B
第三位 大船津C

輪投げの部

優勝 大川あい
準優勝 根本敏子
第三位 遠藤実



とよつかるためぐり シリーズ⑫

いの一の鳥居より
初詣



一之鳥居は、昨年十二月、老朽化のために解体されましたが、来年九月に行われる御船祭の記念事業として建設されました。一之鳥居については諸説ありますが、古くは平安時代から水中に設置されていたとも言われ、船で鹿島神宮を訪れる人々にとって恰好の目印になっていたそうです。今回、往時をしのいで水中に建設された鳥居は、朱塗りに仕上げられた耐候性鋼材で、川底からの高さ十八・五メートル、幅二十二・五メートル。旧鳥居の約二・五倍の大きさになるそうです。（水中の鳥居では、日本一！）

六月一日の竣工祭では、鳥居の上を通過するように鎗矢が放たれたほか、餅まきなど、各種奉祝行事が盛大に行われました。冬の天気が良い日なら、富士山や東京スカイツリーを眺めることもできるそうです。鹿嶋の新しい観光スポットになるかも知れませんね。



餅まきの様子



へ広報委員のつぶやき

医師に太りすぎを注意され、子どもからは「このままでは倒れちゃうよ」と言われながらも、うなずくだけで全く痩せる気配なし。煙草は止めたが、酒はグツと我慢して週三日に。でも、これからはビールが美味しくなる季節。旨い酒を飲むためにも、皆さん、健康には気を付けましょう！

とよつだより

第 3 0 号

平成25年11月1日発行
—編集・発行—
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

豊津のみんなで楽しみました♪

☆ 成 績 ☆

優勝	新田区
準優勝	大船津第1区
第三位	爪木区 A



「第八回とよつふれあい運動会」を終えて
大会長（小学校校長） 幡谷 栄

『この笑顔 みんなになぐ
豊津の子』というテーマのもと、
「第八回とよつふれあい運動会」
を盛会に実施することができまし
た。参加・観覧された多くの皆様はじめ、大会開
催関係者の方々に感謝申し上げます。

さて、今回は前記のテーマのように子ども達の
笑顔が随所に見られ、それが地域の方々の大きな
力になったような気がしています。この運動会を
通して、地域の輪が広がり、子ども達が未来に羽
ばたく大きな礎になったように思います。

平成二十五年十月十二日、素晴らしい秋晴れの中
で行われた「第八回とよつふれあい運動会」。

未就学児から高齢者まで、多くの参加者・応援者
で盛大に盛り上がり、楽しい一日になりました♪

今年の地区対抗は、昨年に引き続き、新田区が嬉
しい優勝をかざりました。

皆さん、お疲れ様でした。

第八回 とよつふれあい運動会

優勝コメント

新田区副区長 内田 早苗

秋晴の下、第八回ふれあい運
動会が盛大に行われ、我が新田
区はみんなの協力の中、「玉入
れ」・「食いしんぼう パンざ
い」・「つなひき」と良く頑張
り、優勝となりました。しか
も、昨年に続き二連覇でした。
これも地区のみんなの絆・協力
の賜物。これからも地区の絆を
確かなものにしたいと思いま
す。開催関係者の方々、子ども
達、地区の皆さん、御苦労様で
した。



▼優勝した新田区チーム



地域の輪！



お父さんがクイズチャンピオン！
賞品の素晴らしい自転車を、小学
生の息子が嬉しい初乗り！

楽しく朗らかに敬老会

←参加された新敬老者

まだ残暑が残る九月十五日、『平成二十五年度豊津地区敬老会』が、百二十九名と多くの方の参加のもと、新仲家で開催されました。今年度の豊津地区の対象者（昭和十七年四月一日以前に生まれた方）は二百九十一名（男性百二十一名・女性百七十名）で、米寿（八十八歳）は八名、喜寿（七十七歳）が十九名、新敬老者（七十二歳）は十八名いらっしゃいました。



第一部では、米寿・喜寿の方々へ記念品の贈呈や来賓からのお祝いの言葉、敬老者代表のあいさつなどがあり、第二部では、豊津小児童による作文発表や地域の方の歌と踊り、新敬老者の自慢の喉の披露、歌謡ショーと賑やかに終わりました。中でも、「YOSAKOIとよつ」

の皆さんによる踊りでは、会場が拍手と掛け声で一体となり、楽しい時間を過ごしました。



【敬老会メモ】

○鹿嶋市の敬老者〓九六五名

（市人口の約十五％）

○鹿嶋市の最高齢〓一〇三歳

○豊津地区の最高齢〓九八歳

（浜田かねさん）

とよつキッズ活動中

今年も「とよつキッズ」は、いろいろな事業に取り組んでいます。今回は、体験学習と移動教室を紹介します。

●体験学習（七月二十四・二十五日）

昨年に引き続き、一泊の体験学習を行いました。今年は白浜少年自然の家でバーベキューやホテルの観察、ピザ・ポトフ作りを体験しました。

※参加〓三十一名（子ども十三名）

【参加者の感想】

・ピザがおいしかった。夜こっそり女子の部屋へ行ったのが楽しかった。いろいろな話が面白かった。

（長岡涼太）

・体験学習が面白かった。夜起きているのが楽しかった。お風呂が豪華だった。（君和田理澄）



●移動教室（八月六日）

茨城県霞ヶ浦環境科学センターで、北浦と流川のの水の水質検査をし、つくばエキスポセンターを見学してきました。

※参加〓三十一名（子ども十一名）

北浦の水は、大船津・新田・爪木の三ヶ所を取りましたが、どれもあまりきれいではありませんでした。流川の水はそれに比べると比較的きれいで、透明でしたが、汚れ具合を化学的に測定するといずれも同じ汚れ具合なのが意外でした。



流川に浄化看板を新たに設置

六月十八日、流川に新しく「環境浄化」を啓発する看板十枚を設置しました。今までの看板は四年前、豊津小児童が作成・設置したものでしたが、塗装がはげ落ちて見にくくなってしまったので、再度、環境浄化を呼び掛けようと、新たに同小児童が絵を描いて、豊津まちづくりセンターが設置したものです。



流川の水路も、震災で被害を受けましたが、今年度、改修工事が行われ、きれいに完成しました。私たちの流川にいつまでもきれいな水が流れ続け、毎年、ホテルを楽しめることを期待します。

健康習慣実践講座

七月二十七日、高齢者教室事業で「健康習慣実践講座」を行いました。始めに歯科衛生士による口腔教室では、口の動きを高める話や歯ブラシを使用して正しい歯磨きの仕方や口の体操（歯つらつ体操）の実技、それからステップ体操と盛り沢山の内容でした。（二十一人参加）口の元気は、身体の健康や老化防止、生きがいに深く関わっています。現在、誤嚥（ごえん）性による肺炎で亡くなる高齢者が多いことから、口腔ケアで口の健康度を高めておくと、重大な病気の予防につながることも教えてもらいました。これからますます元気に健康な生活を送るためにも、日頃から意識して取り組むことの大切さを感じました。



とよつかるためぐり（番外編）

十月二十日、レッツウオーキング（かるた巡り）立ち恵比須・お薬師さま（を）を実施しました。あいにくの天候で、車での移動に変更しましたが、二十一名が地域の貴重な文化を訪ねてきました。

まず、爪木のお寺（最勝院）で、お薬師さま（医薬を司る仏様）と六地藏（六体の地藏菩薩）、淡島様（女性の守神）を、そして近くにある道祖神（旅人の守神）をお参りしました。お薬師さまでは、一月八日と十月八日の毎年二回、『薬師如来祭』が行われ、護摩がたかれるそうです。



▲薬師如来像

その後、四谷にある森の稲荷を経て、須保居町にある立ち恵比須へ。地元の飯島委員長から立ち恵比須についての簡単な説明を聞き、「文化を守る会」の皆さんによる『お酒もり』が披露されました。立ち恵比須では、毎年十月に祭事が行われているとのこと。



▲森の稲荷



（つぶやき）

この「とよつだより」も今回で三十号を数えます。年三〓四回の発行ですので、かれこれ十年になります。歴代広報記録部員が、まちづくり委員会の活動を、地域の皆様にわかりやすくお知らせすることを目標に頑張ってきた結果だと自負しています。今後も、地域の喜びや楽しみ等をお知らせしていきます。誤字脱字等もあろうかと思いますが、引き続き寛容な心でお付き合いのほどよろしくお願い致します。（F）

とよつだより

第 3 1 号
平成26年3月1日発行
—編集・発行—
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

頑張りました！ かるた大会

一月二十六日、五十四人の参加のもと、『第九回とよつかるた大会』を開催しました。競技開始前は和やかなムードだったものの、車座になって開始の挨拶をすると、勝負心が見え隠れ。皆さん、必死な形相でかるたに挑みました。かるた取り終了後は、恒例の餅つき大会。重い杵にフラフラする子もいましたが、皆で餅を楽しくつきあげ、美味しく、そしてお腹いっぱいいただきました。餅つきや調理をお手伝いしてくれた皆さん、ありがとうございました。



- 【幼児の部】
優勝 柏葉たくまさん
「緊張しなかったけど、いっぱい汗をかいだ」
二位 宮崎ゆうさん
三位 大川ゆめかさん
- 【低学年の部】
優勝 山町美羽さん
「楽しかったです」
二位 柏葉龍穂さん
三位 浅間あずなさん
- 【中学年の部】
優勝 山本柚希さん
「初めて優勝できたので、うれしかった」
二位 君和田莉央さん
三位 宮崎渚さん



- 【高学年の部】
優勝 藤城歩夢さん
「図書券がもらえてうれしかった」
二位 額賀寛未さん
三位 佐藤賢吾さん
- 【一般の部】
優勝 佐藤紀子さん
「皆さんが控えめだったので、優勝できました」
二位 柏葉則穂さん
三位 松岡理恵さん
- 【シニアの部】
優勝 君和田君江さん
「楽しくできました」
二位 柏葉秋穂さん
三位 久保原茂男さん



小学校と合同で 防災避難訓練

▼ 熱心に防災講話を聞く参加者たち



一月二十日、『豊津地区住民防災避難訓練』を行いました。小学校に集合し、市交通防災課の職員から災害時の心構え等の防災講話を聞いた後、避難経路の確認をしながら鹿野中学校に向けて歩いて避難しました。北浦や鰐川に面する豊津地区の最大の心配事は「水害」。平日の開催という事で、一般参加者の平均年齢は高かったのですが、地域全体で防災に対する知識・経験値を高めようという意気込みをうかがい見る事ができました。参加された皆様、お疲れ様でした。

三年前の大地震、大津波。まだまだ、あの恐ろしさが目に焼き付いている。しかも、津波が高松地区の一部にまで押し寄せた紛れもない事実である。今回、消防団、小学校、地区合同での水害を想定した避難訓練に参加した。避難の心構えや避難方法等の学習後、鹿野中までの避難道を確認しながら歩いた。途中、道路横断等に危険な場所はないか、今災害が発生したら何をすべきかと思いつつ、有意義な体験ができた。その中で、家族での話し合いや役割、非常持出し物の置き場所、連絡方法、ペットの搬出、避難経路、近所への声かけなど、大事だと思った。災害は、いつやってくるかわからない。災害時に混乱しないように、家族での決め事が必要と思った。

『確認するなら、今でしょ！』

(地域環境専門部 坂本昌己)

【参加者の感想】

・高い場所に行けば安心。そのためにも、訓練は必要だと思った。

(荒野昭)

・鹿野中（避難場所）までの道のりを、お互いに声を掛け合いながら避難しました。助け合いは大事。

(郡司由一)



第十八回とよまつり

今回も盛大に開催

昨年の十一月三日、好天の下、『第十八回とよまつり』を豊津まちづくりセンターで行いました。

作品展は朝九時から、模擬店は九時半からの開始でしたが、野菜販売や模擬店のテント前には開店を待ちきれない人が多く見受けられました。

まつりというと、食欲をそそる良いにおいが漂う模擬店に注目が行きがちですが、まちづくりセンターで活動するサークルや子どもたちの素晴らしい作品展示にも、多くの人が集まりました。

また、ここ数年行っている子どもたちの提灯もちも、昨年六月に竣工した一の鳥居まで囃すなど、たいへん盛り上がりました。

午後からは、地区の方々の芸能発表です。素晴らしい彩られた舞台の上で、今年も素敵な歌や演奏、踊りが演じられたほか、大きな笑いに包まれた愉快な発表もあり、あつという間の二時間でした。

最後はお楽しみの抽選会。皆さん、豪華(?)賞品をお土産にまつりを後にしていきました。



たわらぼっち編み方講習

皆さんは『棧俵(さんだわら)』ってご存じですか?『俵ぼっち』と聞けばわかる人もいるでしょうか。

『棧俵』は、俵の両端につけるわらで編んだ円いふたのことで、昔から神座や神饌の容器として、また正月には年神の幣束を刺したり、鏡餅をのせるのに使われたりもする縁起物でもあります。

お正月を前に、縁起物でもある棧俵を編んで、部屋の飾りや実用品としてはどうかと、君和田一郎さん(爪木)を講師にお願いし、十二月七日、講習会を開きました。丁寧な教え方とお手伝いで、参加者の皆さんは苦労しながらも直径約二十センチの棧俵が無事完成しました。



▲センターの玄関には、君和田さんの見事な作品を展示中



三世代交流のそば打ち体験

今年度の『男の料理』は、これまでに六回の行事を実施しました。その中で、とよつキッズとの共催による『そば打ち体験』を紹介します。

十一月下旬に入念に事前打ち合わせを実施。けんちゃん汁と天ぷらをつくる事に決定して、役割分担。そして、十二月八日の当日、鰯川で取れ立てのピンピンと跳ねていたエビとクチボソを天ぷらに揚げました。そば打ち体験では子ども七人、保護者等八人、男の料理会員十人と総勢二十五人の協力

で、美味しい料理ができました。これからも、『男の料理』ではいろいろな企画をたて、楽しく活動をしていきたいと思いますので、皆さんの参加をお待ちしております。



☆ 皇居ウォーキング ☆

今年度の『悠々健康づくりウォーキング』は、十一月十七日(日)、三十七名の参加で、皇居周辺をコースに行いました。天候にも恵まれ、皇居周辺の素晴らしい紅葉を眺めながらウォーキングを楽しみ、約二時間半にわたって、爽やかな汗を流しました。

○ウォーキングコース○

日比谷公園内「松本楼」で昼食後
皇居前丸の内キッテ見学→大手門→本丸跡
地→大奥跡地→北はね橋門→イギリス大使館
前→半蔵門→桜田門

有名な松本楼の銀杏の紅葉(銀杏だから黄葉?)はとても素晴らしく、また手入れの行き届いた美しい皇居周辺の散策は、目の保養と共に、歴史の勉強にもなりました。

来年のウォーキングが、今から楽しみです。



『ピラティス』を体験!

二月十六日(日)、『ピラティス教室』を開きました。この『ピラティス』とは、エアロビクスの激しい動きと違い、太極拳やヨガのようなゆっくりとした動きでストレッチを中心とした内筋肉(インナーマッスル)をしなやかに鍛える運動です。

この運動は、姿勢と肩こり・腰痛等を改善し、心と体をアクティブに成長させ、美容と健康に欠かせない存在とのことです。解剖学を重視したエクササイズだから効果は抜群とのこと、年齢は関係なく、マット一枚あれば簡単にできることから、参加した老若男女(二十八人)は楽しんで体験しました。

終了後、参加者にとつたアンケートでは、機会があれば再度、まちづくりセンターで『ピラティス』をやりたいという声が多くありました。

健康管理は、まず自分自身が気をつけたいね!



【つぶやき】『異常気象』という言葉が聞かれるようになって久しくなりませんが、昨今は『爆弾低気圧』とか『南岸低気圧』という言葉が茶の間の話題に。交通機関が麻痺する位のドカ雪が二週続けて降り、予定が狂ってしまった方も多かったことと思います。幸いにも、この鹿行地方は雪の影響が少なかつたので何よりでしたが、こうなると次の関心事は、この夏。身体に因應るので、どうぞ記録的な猛暑など勘弁してください。お願いします。

公民館の使命と組織

公民館だより第1号（抜粋）

「公民館発展には村民の協力が肝要」

昭和26年1月23日

昔からの諺に「60の手習」という言葉があります。何と意味の深い言葉でせう。凡そ人間は總べて未完成なものであります。世の中は時々刻々と進展して参ります。今日の自分は明日になれば既に古びた存在でございます。世の中に順応して行く為にも私共は「60の手習」の心情が必要ではないでせうか。

お互に学校に在学してゐた時分は恵まれた環境の中で勉強にいそしんで参りましたが、いざ社會に飛び出して参りますとなかゝ思ふ様に勉強も出来なくなつて参ります。

各紙新聞を読んでも雑誌を読んでも或はラヂオにより又は友達同志の談笑の中からも自己錬成の材料を掴み得ることが出来ますしこれが立派な一つの社會教育に合致することにもなりますが、社會教育のもう一つの部面は公民館が主体となつて多くの人々が欲求してゐる共通の事柄を知らしめ或は研究して行く方法を計画し實行して行くことにあるのであります。

公民館は實にこの二つの面を兼ね具えて時勢の要求により生まれたものでありますして公民館の發展如何は一にかゝつて村民各位の協力の如何によるものであります。

村内には青年団とか婦人會とか或はPTAとかその他各種の文化団体がございます。これらの各種文化団体は各々独自の目的使命を持って活発に活動しているのでございます。各々が何の連絡協調もなしに勝手に思ひ思ひなことをやつてゐたのでは何時迄たつても村の發展などは期し得られる筈もございません。こうした各種団体の連絡調整を図りまして村全体が明るく健全に發展して行くように仕向けて行くのも公民館の大きな仕事の一つでございます。

人間は働くばかりが能ではございません。時には何もかも打ち忘れてみんなで愉快に過ごす時がほしいものです。それが能率的であり次の活動へのエネルギーともなるのです。公民館では、この世の中が、明るく、美しく、楽しいものたらしめる為に時々レクリエーション（健全娛樂）を計画致します。皆さん喜んで御参加下さい。

又、公民館は村の茶の間の役割を果します。仕事の余暇に或は雨降りの休み日等に村民の皆様が誘ひ合せて公民館に集りお互に打ちくつろいで村の當面した問題を話し合ひ民主的にわが村をおこそうといふ氣運をつくりお互が話し合つてゐる間に各々の教養や知性も高まれば立場立場で責任を果すといふ一致協力の美風もわいて参ります。皆さんが集まる為には将来碁や将棋のような娛樂設備も整へたいと思ひます。

とにかく公民館は村民各位のものでございます。よりよい豊津村を建設する為に皆様の手により公民館が立派に發展致しますよう御協力をお願い致します。尚本村公民館の組織は次の通りでございます。

館長	君和田 源一	副館長	大川 禎一
會計	成毛 善衛	主事	生井澤 一男
書記	坂本 勉	教養部長	岡見 保
図書部長	小松崎 廣	集會部長	坂本 新一郎
生活科学部長	小倉 ひさ	産業部長	根本 善一
体育厚生部長	小倉 太一	運営審議会委員長	内田 五一
			（裏面につづく）

豊津地区内の文化財
省略

豊津地区人口と世帯数の推移

大字別の人口と世帯数

平成16年4月1日現在

住民基本台帳人口及び外国人登録者数から算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	338	550	527	1,077
大船津（新田）	50	100	105	205
爪木	119	229	218	447
鹿島区域計	16,493	23,461	21,968	45,429
大野区域計	6,720	9,426	9,325	18,751
合 計	23,213	32,887	31,293	64,180

大字別の人口と世帯数

平成18年4月1日現在

住民基本台帳人口及び外国人登録者数から算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	335	527	512	1,039
大船津（新田）	51	93	102	195
爪木	119	221	204	425
鹿島区域計	17,026	23,669	21,970	45,639
大野区域計	7,149	9,663	9,612	19,275
合 計	24,175	33,332	31,582	64,914

大字別の人口と世帯数

平成20年4月1日現在

住民基本台帳人口及び外国人登録者数から算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	335	511	502	1,013
大船津（新田）	49	89	99	188
爪木	118	211	197	408
鹿島区域計	17,580	23,777	22,079	45,856
大野区域計	7,626	9,952	9,884	19,836
合 計	25,206	33,729	31,963	65,692

大字別の人口と世帯数

平成22年4月1日現在

住民基本台帳人口及び外国人登録者数から算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	329	486	482	968
大船津（新田）	52	86	96	182
爪木	122	202	196	398
鹿島区域計	18,273	24,015	22,273	46,288
大野区域計	7,968	10,038	10,075	20,113
合 計	26,241	34,053	32,348	66,401

大字別の人口と世帯数

平成24年4月1日現在

※住民基本台帳人口より算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	322	438	464	902
大船津（新田）	50	77	89	166
爪木	126	200	191	391
鹿島区域計	18,953	24,346	22,531	46,877
大野区域計	8,270	10,088	10,132	20,220
合 計	27,223	34,434	32,663	67,097

大字別の人口と世帯数

平成26年4月1日現在

※住民基本台帳人口より算出(外国人を含む)

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	316	423	436	859
大船津（新田）	51	78	87	165
爪木	134	206	201	407
鹿島区域計	19,854	24,587	23,017	47,604
大野区域計	8,612	10,161	10,261	20,422
合 計	28,466	34,748	33,278	68,026

大字別の人口と世帯数

平成17年4月1日現在

住民基本台帳人口及び外国人登録者数から算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	332	533	516	1,049
大船津（新田）	50	95	103	198
爪木	119	224	209	433
鹿島区域計	16,741	23,510	21,992	45,502
大野区域計	6,923	9,543	9,502	19,045
合 計	23,664	33,053	31,494	64,547

大字別の人口と世帯数

平成19年4月1日現在

住民基本台帳人口及び外国人登録者数から算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	329	519	514	1,033
大船津（新田）	49	90	100	190
爪木	117	215	201	416
鹿島区域計	17,284	23,719	22,009	45,728
大野区域計	7,394	9,839	9,777	19,616
合 計	24,678	33,558	31,786	65,344

大字別の人口と世帯数

平成21年4月1日現在

住民基本台帳人口及び外国人登録者数から算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	335	500	486	986
大船津（新田）	50	86	100	186
爪木	119	202	195	397
鹿島区域計	17,932	23,851	22,158	46,009
大野区域計	7,796	9,969	9,993	19,962
合 計	25,728	33,820	32,151	65,971

大字別の人口と世帯数

平成23年4月1日現在

※住民基本台帳人口より算出

地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	326	470	474	944
大船津（新田）	50	77	94	171
爪木	127	202	198	400
鹿島区域計	18,536	24,145	22,365	46,510
大野区域計	8,162	10,102	10,148	20,250
合 計	26,698	34,247	32,513	66,760

大字別の人口と世帯数

平成25年4月1日現在

※住民基本台帳人口より算出(外国人を含む)

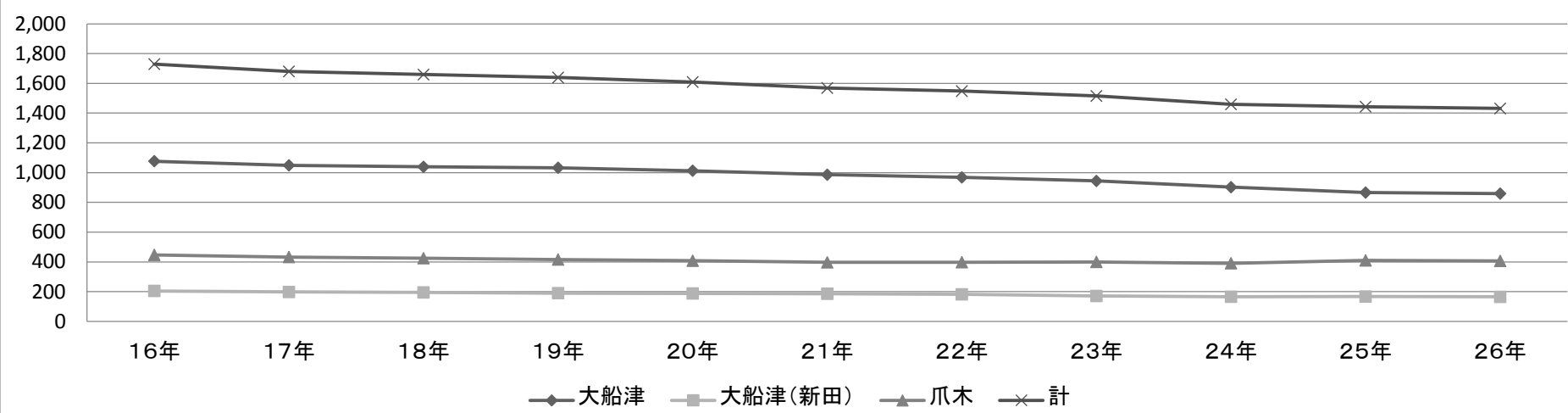
地 区 名	世帯数	男	女	総 数
大船津	315	430	436	866
大船津（新田）	51	78	89	167
爪木	131	206	204	410
鹿島区域計	19,533	24,527	22,952	47,479
大野区域計	8,488	10,164	10,246	20,410
合 計	28,021	34,691	33,198	67,889

豊津地区人口数の推移

大字別の人口数推移（平成１６年～２６年）

地 区 名	１６年	１７年	１８年	１９年	２０年	２１年	２２年	２３年	２４年	２５年	２６年
大船津	1,077	1,049	1,039	1,033	1,013	986	968	944	902	866	859
大船津（新田）	205	198	195	190	188	186	182	171	166	167	165
爪木	447	433	425	416	408	397	398	400	391	410	407
計	1,729	1,680	1,659	1,639	1,609	1,569	1,548	1,515	1,459	1,443	1,431

大字別の人口数推移グラフ



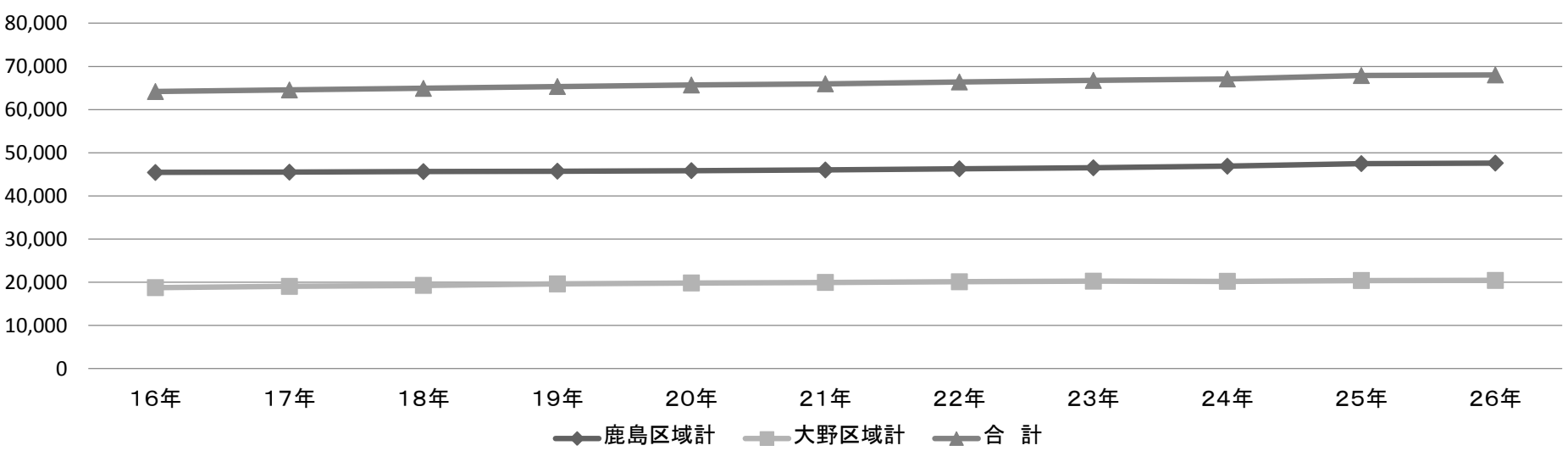
豊津地区の大字別人口数の推移を鑑みると平成１６年４月から平成２６年４月までの１０年間では、大船津地区が７９．８％で減少傾向にあり、大船津新田地区が８０．５％で同じく減少傾向にあり、爪木地区が９９．１％で減少傾向にあるものの他地区と比べると減少率は少なくなります。豊津地区全体でみると８２．８％で世帯数は変わらないのに人口が減って少子化は進んでいるように思います。

鹿嶋市区域人口数の推移

区域別の人口数推移（平成１６年～２６年）

区 域 名	１６年	１７年	１８年	１９年	２０年	２１年	２２年	２３年	２４年	２５年	２６年
鹿島区域計	45,429	45,502	45,639	45,728	45,856	46,009	46,288	46,510	46,877	47,479	47,604
大野区域計	18,751	19,045	19,275	19,616	19,836	19,962	20,113	20,250	20,220	20,410	20,422
合 計	64,180	64,547	64,914	65,344	65,692	65,971	66,401	66,760	67,097	67,889	68,026

区域別の人口数推移グラフ

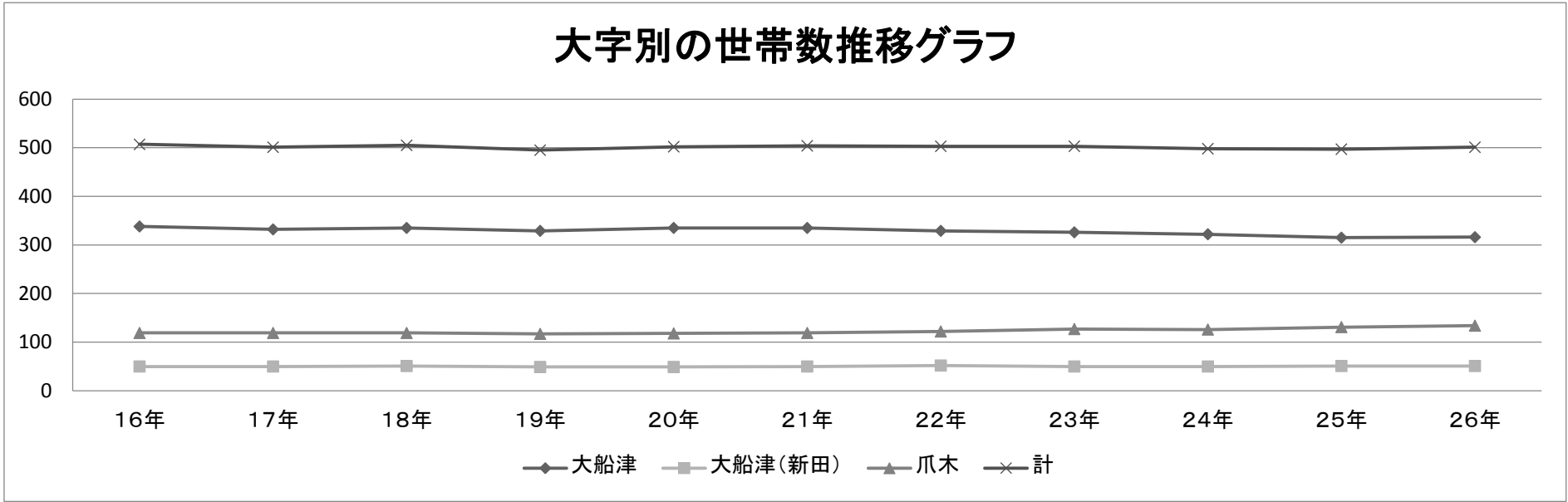


鹿嶋市区域別人口数の推移を鑑みると平成１６年４月から平成２６年４月までの１０年間では、鹿島区域が１０４．８％で約５％の増加傾向があり、大野区域が１０８．９％で約９％の増加傾向にあります。鹿嶋市全体でみると１０６．０％でやはり６％を超す増加がありました。自然増よりは、大野区域に高齢者の流入が多いようです。

豊津地区世帯数の推移

大字別の世帯数推移（平成１６年～２６年）

地 区 名	１６年	１７年	１８年	１９年	２０年	２１年	２２年	２３年	２４年	２５年	２６年
大船津	338	332	335	329	335	335	329	326	322	315	316
大船津（新田）	50	50	51	49	49	50	52	50	50	51	51
爪木	119	119	119	117	118	119	122	127	126	131	134
計	507	501	505	495	502	504	503	503	498	497	501

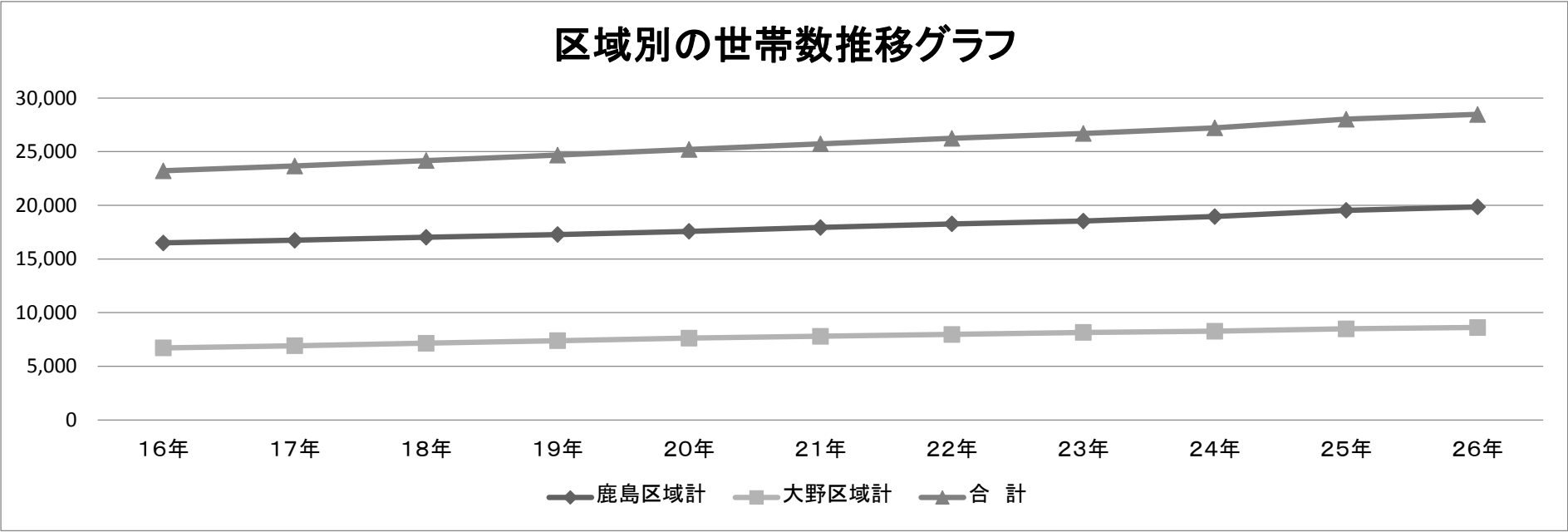


豊津地区の大字別世帯数の推移を鑑みると平成１６年４月から平成２６年４月までの１０年間では、大船津地区が９３．５％で減少傾向にあり、大船津新田地区が１０２．０％で微増しており、爪木地区が１１２．６％で増加の傾向があります。しかし、豊津地区全体でみると９８．６％で若干の減少はあるもののほとんど変化がなく、新住民の流入はほとんどありません。

鹿嶋市区域世帯数の推移

区域別の世帯数推移（平成１６年～２６年）

区 域 名	１６年	１７年	１８年	１９年	２０年	２１年	２２年	２３年	２４年	２５年	２６年
鹿島区域計	16,493	16,741	17,026	17,284	17,580	17,932	18,273	18,536	18,953	19,533	19,854
大野区域計	6,720	6,923	7,149	7,394	7,626	7,796	7,968	8,162	8,270	8,488	8,612
合 計	23,213	23,664	24,175	24,678	25,206	25,728	26,241	26,698	27,223	28,021	28,466



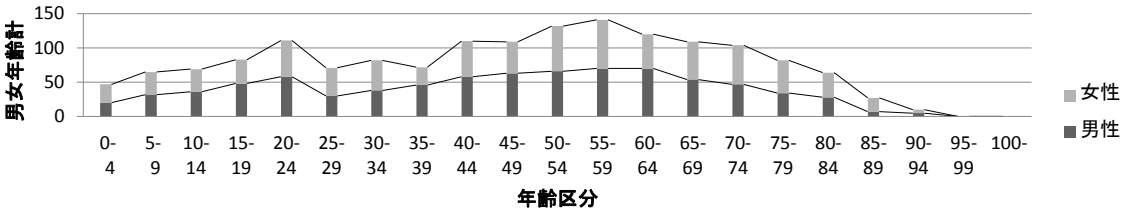
鹿嶋市区域別世帯数の推移を鑑みると平成１６年４月から平成２６年４月までの１０年間では、鹿島区域が１２０．０％で、２０％の増加、大野区域が１２８．２％で２８％の増加傾向にあります。鹿嶋市全体でみると１２２．６％でやはり２２％を超す増加がありました。自然増よりは、大野区域に高齢世帯の流入が多いようです。

豊津地区年齢別構成表

平成20年3月31日

年齢区分	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	計
男性	20	32	36	48	58	30	38	46	58	63	66	70	70	54	47	34	28	7	5	0	0	810
女性	27	33	33	35	53	41	44	26	52	46	66	71	50	55	57	48	36	20	5	0	0	798
計	47	65	69	83	111	71	82	72	110	109	132	141	120	109	104	82	64	27	10	0	0	1,608

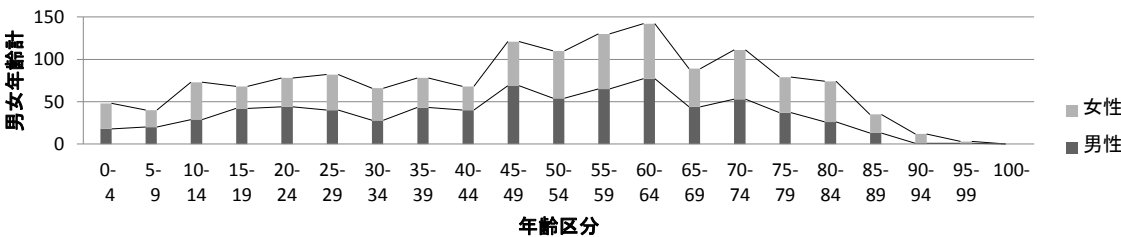
平成20年世代別グラフ



平成23年3月31日

年齢区分	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	計
男性	18	20	29	42	44	40	28	43	40	69	54	65	77	44	53	37	26	13	1	1	0	744
女性	30	20	44	26	34	42	38	35	28	52	56	65	65	45	58	42	48	22	11	2	0	763
計	48	40	73	68	78	82	66	78	68	121	110	130	142	89	111	79	74	35	12	3	0	1,507

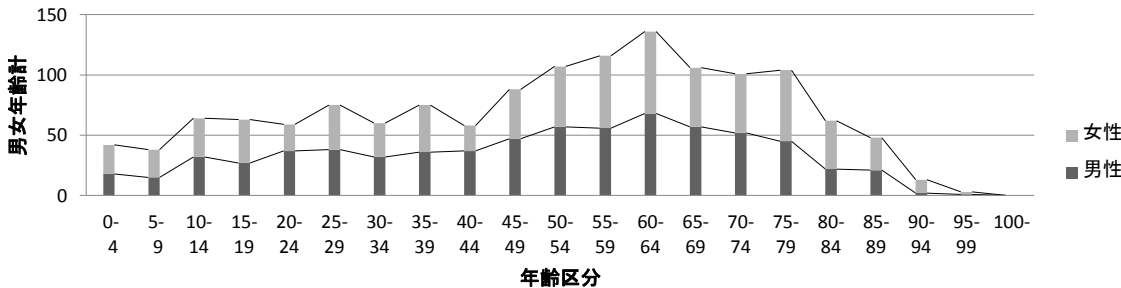
平成23年世代別グラフ



平成26年3月31日

年齢区分	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	計
男性	18	15	32	27	37	38	32	36	37	47	57	56	68	57	52	45	22	21	2	1	0	700
女性	24	23	32	36	22	37	28	39	21	41	50	60	68	49	49	59	40	27	11	2	0	718
計	42	38	64	63	59	75	60	75	58	88	107	116	136	106	101	104	62	48	13	3	0	1418

平成26年世代別グラフ



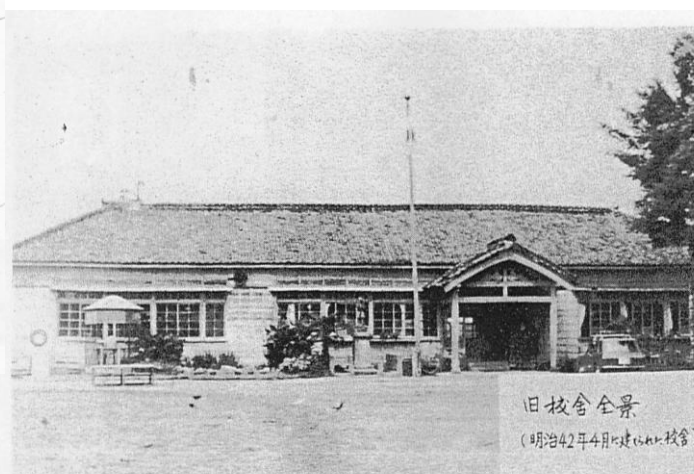
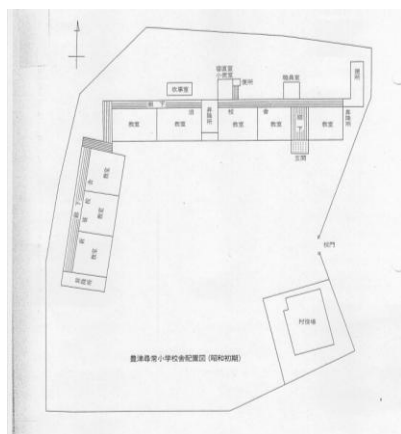
3 豊津小学校の沿革・豊津村沿革史碑の全文

豊津小学校の沿革

(鹿嶋市立豊津小学校 平成 26 年度「学校経営概要」から抜粋)

明治 11 年	9 月	5 日	大船津 2358 番地に創立。大船津小学校と称す
明治 22 年			豊津村誕生。豊津尋常小学校に改称
明治 42 年			大船津 2328 番地 1 に建設
大正 8 年			役場が移転。教室使用
昭和 16 年	4 月	1 日	豊津国民学校と改称
昭和 22 年	4 月	1 日	豊津村立豊津小学校と改称
昭和 29 年	9 月 15 日		鹿島町立豊津小学校と改称
昭和 39 年	4 月		給食室落成
昭和 42 年	3 月		校歌制定
昭和 45 年	10 月	9 日	職員室・2 教室増築
昭和 46 年	6 月	8 日	鉄筋 2 階建校舎竣工
昭和 47 年	8 月 31 日		プール完成
昭和 51 年	8 月 18 日		特別校舎・体育館竣工。百周年祭
平成 7 年	9 月	1 日	鹿嶋市立豊津小学校と改称
平成 8 年	4 月		学校給食自校式を取りやめ給食センター化
平成 18 年	10 月	8 日	第 1 回「とよつふれあい運動会」開催
平成 19 年	7 月		大規模改修工事開始（現校舎）
平成 20 年	4 月 28 日		新校舎使用開始

〒314-0036 鹿嶋市大船津 2328 番地の 1
 TEL 0299-82-1139
 FAX 0299-83-5239
 E-mail toyotusho@kashima.ed.jp
 URL <http://www.sopia.or.jp/toyotu/>



豊津尋常小学校（豊津小学校所蔵）

豊津小学校
 明治四十二年四月、現在校舎に移ル、学級編成（複式三学級）

豊津村沿革史碑

豊津小学校正門左側に、昭和二十九年九月十五日建立の「豊津村沿革史碑」がある。合併を記念してのこのような碑は、旧豊津のみである。ここにその全文を紹介してみよう。

本村ハ鹿島郡ノ中央二位シ 大船津・爪木及ビ新田ノ三部落ヨリ成リ 東西七町 南北一里余 面積二六三町歩 戸数三一三戸 人口一、八八七人 東北ハ鹿島町ノ丘陵二続セラレ 南西ハ浪逆浦及ビ北浦ヲ隔テテ延方村ト相對シ神宮橋ニヨリ連繫セラル

コノ地ニ 孝徳天皇ノ大化五年 鹿島神宮ノ所領ニ属シ 中臣氏世襲ス 第六十一代朱雀天皇ノ承平三年中 平国香常陸大掾ニ任ゼラレ ソノ氏族分レテ鶴来岡ニ城砦ヲ築ク 数代ニシテ潰エルヤ ソノ家臣中 三部落ニ移住セシモノ中核トナリ 荒野ヲ開拓シ邑作りヲ始メム 当時常陸大掾ノ支配鹿島氏ノ支配ヲ受ケ天正ノ末佐竹氏ノ所領トナル徳川幕府トナルヤ土井侯ノ所領ヲ經テ慶長十八年旗本麾下ノ采邑トナリ松平内蔵介外数氏ノ支配スル所トナル

明治四年七月藩ヲ廢シ県トナルヤ宮谷県ノ管轄トナル 同五年十一月宮谷県廢セララルヤ新治県ニ属シ 更ニ同八年五月新治県廢セララルヤ茨城県ノ管轄ニ移ル 同十二年郡区改正ニヨリ 戸長役場ヲ成毛勇助宅ニ置キ鹿島郡役所ノ管下ニ属ス 同二十二年四月一日市町村制実施セラレ自治制トナルヤ大船津・爪木ノ二大字トナシ豊津村ト称セリ 初メ村役場ヲ須保居町ニ置キタルモ 大正十五年八月小学校前二三二八番地ニ新築移転ス

我国ハ昭和二十年八月十四日大東亜戦争ニ敗レ ポツダム宣言ヲ受諾シ幾多ノ領土ト百万ノ将兵ヲ失フ 内ニハ農地ノ改革六三学制ノ施行等ノ改変アリ 行政活動又愈複雑多岐トナルノ実情ニ照シ 運営ノ合理化ト住民ノ福祉ヲ考慮シ町村合併ヲ刻下ノ急務ナリトシ 茲ニ県下ニ魁テ本村及ビ鹿島町・高松村・波野村・豊郷村ノ一町四ヶ村ガ相携ヘテ対等ニ合体シ鹿島町ノ名ヲ冠シ 昭和二十九年九月十五日ヲ以テ其発足ヲ見タリ茲ニ沿革ノ大要ヲ記シテ後世ニ伝フ

昭和二十九年九月十五日

公民館長	大川 渉撰	
村 長	根本文次郎	校正
鹿島町助役	東 常彦	書



豊津地区歴代区長名簿（昭和50年度～平成26年度）

年度	大船津第一	大船津第二	大船津第三	大船津新田	爪木
昭和50年	坂本 茂吉	宮田 丑之助	柏葉 剛司	大川 熹	君和田 寛美
51	黒須 又男	宮田 丑之助	浜田 富哉	大川 熹	君和田 寛美
52	黒須 又男	宮田 丑之助	浜田 富哉	大川 喜男	君和田 正輔
53	藤枝 栄男	根本 西三郎	篠塚 敏雄	大川 喜男	君和田 正輔
54	藤枝 栄男	根本 西三郎	篠塚 敏雄	内田 三郎	君和田 正輔
55	大川 東一	君和田 喜一	海老沢 清吾	内田 三郎	君和田 正輔
56	大川 東一	君和田 喜一	海老沢 清吾	生井澤 久	遠藤 正
57	関 貞雄	郡司 高之助	大川 清一	生井澤 久	遠藤 正
58	内野 忠寿	郡司 高之助	大川 清一	岩崎 馨	君和田 穰
59	猿田 裕	岡野 帯巳夫	内田 寿一	岩崎 馨	君和田 穰
60	猿田 裕	岡野 帯巳夫	内田 寿一	宮崎 清	君和田 安雄
61	内田 源司	岡野 帯巳夫	成毛 英司	藤岡源左衛門	君和田 安雄
62	内田 源司	青野 重秋	成毛 英司	大川 久一郎	小沼 敏夫
63	山口 佐一	本宮 輝雄	内田 次雄	岩崎 耀	小沼 敏夫
平成元年	内野 忠寿	本宮 輝雄	内田 次雄	吾妻 功一	佐藤 庄之助
2	藤枝 泰一郎	小田倉 奥男	小亀 勇	大川 金作	佐藤 庄之助
3	吉川 敬之助	内野 長一	飯田 嘉一	藤城 堅吾	君和田 一郎
4	松尾 政信	青塚 幸一	海老沢 義男	青野 啓	君和田 一郎
5	黒須 初男	笹本 正朔	鈴木 和夫	内田 勝男	君和田 良朗
6	和出 嘉一	信太 敏男	小亀 勇	大川 孝雄	君和田 良朗
7	宮崎 博	岡野 帯巳夫	海老沢 貞夫	大川 昭二	君和田 勇
8	野沢 政朗	石上 方雄	海老沢 文夫	大川 徹	君和田 武司
9	桐生 勝男	久保原 久雄	高瀬 善夫	藤城 衛	小沼 五郎
10	飯島 昌寿	藤枝 藤雄	小亀 勇	大川 卓	斉藤 孝夫
11	坂本 昭寿	松岡 義勝	青山 敬一	青木 金司	君和田 新司
12	鈴木 和四郎	青山 敏男	海老沢 明	大川 浩之	遠藤 実
13	内田 三郎	小泉 秀雄	坂本 善次	藤城 正男	高安 茂
14	宮内 太一	根本 昭	中村 重信	大川 胖	君和田 藤作
15	大川 専一	額賀 敏雄	海老沢 勝男	大川 文夫	額賀 富雄
16	宮崎 富雄	石上 方雄	山口 昭三	青野 稔	額賀 富雄
17	小倉 俊明	岡野 要司	藤枝 太一	青野 市郎	小沼 文雄
18	関 修司	田中 基臣	根本 四郎	大川 長男	君和田 正
19	椎名 均	飯島 亘隆	隅田 祐司	宮崎 勇	小沼 誠
20	大川 健治	笹本 征作	成毛 勇助	青木 和夫	君和田 由光
21	小松崎 孝	山中 文男	柏葉 秋穂	青野 浩雄	浅間 信夫
22	根本 久男	小田倉 貞三	石津 卓	生井澤 豊	遠藤 二郎
23	浅間 利夫	内野 芳男	伊原 市衛	大川 芳郎	小沼 義夫
24	松岡 美光	久保原 茂男	坂本 良明	大川 喜美	額賀 清孝
25	橋本 幸夫	岡野 帯一	坂本 昌己	大川 誠二	君和田 又一
26	内野 安彦	安重 松雄	木村 正彦	内田 早苗	君和田 昇

豊津地区まちづくり委員会歴代役員名簿（平成16年度～26年度）

年度	委員長	副委員長	地域環境 専門部長	スポーツ 健康づくり 専門部長	文化福祉 専門部長	広報記録 専門部長	幹事	監事
			副部長	副部長	副部長	副部長	幹事	監事
16	額賀 富雄	君和田元浩	青山 敏男	岡 野 実	根 本 芳子	和 田 勉	松尾 恵子	大川 一雄
			岡 野 要司	柿 木 重正	海老沢良政	黒 須 ゆき	宮 本 恵子	糟 谷 純子
17	額賀 富雄	君和田元浩	青山 敏男	岡 野 実	海老沢良政 根 本 芳子	和 田 勉	松尾 恵子	大川 一雄
			大川 一雄	柿 木 重正	藤 枝 正子 宮 崎 幸子	黒 須 ゆき	宮 本 恵子	糟 谷 純子
18	額賀 富雄	君和田元浩	青山 敏男	岡 野 実	海老沢良政	和 田 勉	松尾 恵子	大川 一雄
			大川 一雄	遠 藤 操	君和田元浩	黒 須 ゆき	宮 本 恵子	糟 谷 純子
19	君和田元浩	飯 島 亘隆	額賀 富雄	山 町 重信	海老沢良政	和 田 勉	松尾 恵子	青山 敏男
			飯 島 亘隆	安重松雄	青 野 次雄	浜 田 善久	宮 本 恵子	黒 須 ゆき
20	飯 島 亘隆	和 田 勉	根 本 四郎	山 町 重信	海老沢良政	和 田 勉	松尾 恵子	黒 須 ゆき
			隅 田 祐司	安重松雄	青 野 次雄	浜 田 善久	笹 本 晴美	宮 崎 幸子
21	飯 島 亘隆	和 田 勉	根 本 四郎	山 町 重信	海老沢良政	浜 田 善久	松尾 恵子	黒 須 ゆき
			隅 田 祐司	安重松雄	青 野 次雄	君和田正子	笹 本 晴美	宮 崎 幸子
22	飯 島 亘隆	和 田 勉	坂 本 良明	山 町 重信	海老沢良政	浜 田 善久	松尾 恵子	宮 崎 幸子
			石 津 卓	大 川 悟	君和田貢	藤 枝 英夫	笹 本 晴美	君和田正子
23	飯 島 亘隆	和 田 勉	坂 本 良明	山 町 重信	海老沢良政	藤 枝 英夫	松尾 恵子	君和田正子
			伊 原 市衛	大 川 悟	高 橋 栄治	桐 生 進一	宮 崎 幸子	薄 井 正夫
24	飯 島 亘隆	和 田 勉	坂 本 良明	山 町 重信	海老沢良政	藤 枝 英夫	松尾 恵子	君和田正子
			松 岡 美光	大 川 悟	高 橋 栄治	桐 生 進一	宮 崎 幸子	薄 井 正夫
25	飯 島 亘隆	和 田 勉	坂 本 良明	山 町 重信	海老沢良政	桐 生 進一	松尾 恵子	君和田正子
			坂 本 昌己	大 川 悟	君和田正治	藤 枝 英夫	宮 崎 幸子	薄 井 正夫
26	飯 島 亘隆	和 田 勉	坂 本 良明	山 町 重信	和 田 勉	桐 生 進一	松尾 恵子	君和田正子
			坂 本 昌己	大 川 悟	君和田正治	藤 枝 英夫	宮 崎 幸子	薄 井 正夫

※H16年度・・・地域環境専門部（名称は地域づくり専門部）

文化福祉専門部（名称は福祉環境専門部）

H17年度・・・文化福祉専門部（名称は文化教養専門部・福祉専門部）

歴代公民館（まちづくりセンター）職員名簿（昭和47年度～平成26年度）

凡例 ■豊津小教頭 □職員

年 度	館 長	主 事	主 事	主 事	主 事
昭和47	小 沼 温	■伊藤常雄			
48	小 沼 温	■伊藤常雄			
49	小 沼 温	■伊藤常雄			
50	小 沼 温	■伊藤常雄			
51	小 沼 温	■伊藤常雄 (～51.11)	成毛あさ		
52	小 沼 温	■田谷榮近	成毛あさ		
53	猿 田 裕	■田谷榮近	内野典子		
54	猿 田 裕	■田谷榮近	内野典子		
55	猿 田 裕	■小森一夫	高安広子	□坂本昌己 (～56.5)	
56	猿 田 裕	■小森一夫	高安広子	□小島了輔 (56.6～)	
57	内 野 茂	■原田時男	高安広子	□小島了輔	
58	内 野 茂	■原田時男	高安広子	□小島了輔	
59	藤枝泰一郎	■原田時男	大川富貴子	□小島了輔	
60	藤枝泰一郎	■根本健一郎	大川富貴子	□小島了輔	
61	藤枝泰一郎	■根本健一郎	大川富貴子	□小島了輔	
62	藤枝泰一郎	■根本健一郎	大川富貴子	□小島了輔	
63	藤枝泰一郎	■根本健一郎	大川富貴子	□小島了輔	
平成元年	藤枝泰一郎	■池田友男	大川富貴子	□小島了輔	
2	藤枝泰一郎	■池田友男	大川富貴子	□小島了輔	
3	藤枝泰一郎	■中島忍	大川富貴子	□小島了輔	
4	藤枝泰一郎	■中島忍	大川富貴子	□小島了輔	

歴代公民館（まちづくりセンター）職員名簿（昭和47年度～平成26年度）

凡例 ■豊津小教頭 □職員

年 度	館 長	主 事	主 事	主 事	主 事
5	藤 枝 泰 一 郎	■木之内まさ枝	大 川 富 貴 子	□方波見正夫 (～H6. 6)	
6	藤 枝 泰 一 郎	■木之内まさ枝	大 川 富 貴 子	□ 高 田 均 (H6. 7～)	
7	藤 枝 泰 一 郎		大 川 富 貴 子 (～H8. 6)	□ 宮 崎 洋 子	□ 柳 堀 一 敏
8	箕 輪 礼 子	本 宮 和 子	□ 遠 藤 文 子	□ 給 前 一 夫	
9	箕 輪 礼 子	本 宮 和 子	□ 遠 藤 文 子	□ 給 前 一 夫	
10	箕 輪 礼 子	本 宮 和 子	□ 小 澤 恵 子	□ 給 前 一 夫	
11	箕 輪 礼 子	本 宮 和 子	□ 小 澤 恵 子	□ 給 前 一 夫	
12	□ 田 川 美 代 子	本 宮 和 子	大 川 か つ 子	□ 浜 田 善 久	
13	□ 田 川 美 代 子	本 宮 和 子	大 川 か つ 子	□ 浜 田 善 久	
14	□ 田 川 美 代 子		大 川 か つ 子	□ 浜 田 善 久	高 安 広 子
15	□ 田 川 美 代 子		大 川 か つ 子	□ 浜 田 善 久	高 安 広 子
16	石 上 方 雄	本 宮 和 子	大 川 か つ 子		高 安 広 子
17	石 上 方 雄	本 宮 和 子	大 川 か つ 子		高 安 広 子
18	石 上 方 雄	本 宮 和 子	大 川 か つ 子		高 安 広 子
19	石 上 方 雄	本 宮 和 子	大 川 か つ 子		高 安 広 子
20	薄 井 正 夫	藤 城 知 子	大 川 か つ 子		高 安 広 子
21	薄 井 正 夫	藤 城 知 子	大 川 か つ 子		高 安 広 子
22	薄 井 正 夫	藤 城 知 子	黒 須 ゆ き		高 安 広 子
23	高 安 広 子	藤 城 知 子	黒 須 ゆ き	遠 藤 和 子	
24	高 安 広 子	藤 城 知 子	黒 須 ゆ き	遠 藤 和 子	
25	高 安 広 子	藤 城 知 子	黒 須 ゆ き	遠 藤 和 子	
26	高 安 広 子	藤 城 知 子	黒 須 ゆ き	遠 藤 和 子	□ 君 和 田 毅

※ 平成26年度から市の再任用職員を地区公民館(まちづくりセンター)に配属

あとがき

10周年記念誌編集後記

今年度の総会時に、10周年の記念誌作成を提案し、年内には、各戸に配布したいと思っていましたが、こんなに早く完成したことは、ひとえに編集に携わった、まちづくり委員及び編集委員の皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。

まちづくり委員長の立場から今回の10周年記念誌編集委員会の委員長の任にあたりましたが、“とよつの力”の総集編が今後まちづくりの20年先・30年先の道しるべになればと思います。

亘隆

豊津地区まちづくり委員会10周年、まことにめでとうございます。懐かしい館長や主事の皆さんの原稿をいただき、手作りの記念誌が完成いたしました。私自身は、編集の副委員長として携わらせていただき、とても嬉しく思っております。

私は平成12年から広報委員として昨年まで活動いたしました。活動できた理由は、

- ① 楽しく編集会議等ができたこと
- ② 地域の皆さんの活躍を写真を通して紹介したかったこと
- ③ 良き先輩良き仲間に恵まれていたこと

です。

今回の記念誌の中に「とよつまちづくりセンターだより」の10年間の活動の記録を整理してまとめました。この記事を読み返して、ご自身の活躍やご家族の活躍を懐かしんでいただき、これからの豊津まちづくりの活動についても、地区と家族の皆で協力して頑張っていこうという活力の一助になればと願っております。

これからも豊津地区の皆で協力しあいながら、楽しい活動をしていきたいと思っております。

勉

まちづくりセンターが「地域管理型」に移行して、早いもので10年になるんですね。小さい地区だけに密度の濃い活動が展開されていると自負していますが、他の地区の人から『豊津は、模範的なまちづくり委員会活動ですね』とあらためて言われると、嬉しいやら、恥ずかしいやら。

しかし、「地域管理型」の立ち上げ当時のご苦労は、かなりのものだったと思われます。恐らく、毎日毎日、どうすればうまく機能するのだろうか？等と、議論・検討を繰り返されたのではないのでしょうか。心から、敬意を表するとともに、感謝いたします。

さて、現在のまちづくり委員会活動も、役員さんと各事業に協力いただく皆さんで成り立っていますが、メンバーが固定化してきている傾向を感じるのは私だけではないはずです。豊かな自然やきれいな水辺を次世代に残していこうとするのと同じように、この素晴らしい活動を20年・30年と続けていけたらいいなと思います。この10周年記念を機に、さらに充実した活動が展開されるよう、微力ながら参加・協力していきますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

進一

今年の夏は暑かった。俺だけかと思いつつ、涼しくなれば忘れてしまう。こんなものさ・・・記念誌づくりとして携わったが委員の皆さんの協力で発行となった。

あれから10年か。そんなに経ったのかと徐々に記憶が戻ってきた。どうか記念誌を茶の間の片隅にでも置いてもらい、家族で一年一年を語り合ってもらえるとありがたい。暑かった分、焼酎も美味しくいただけた・・・これも俺だけか？

昌己

「地域住民によるまちづくりセンターの運営」というのを初めて聞いたときは、正直本当にうまくいくのかと疑問視をしていた。

当時私はまだ一住民としての関わりにすぎず、どうせまた行政主導型に戻ってしまうのだろうと考えていた。

しかし、まちづくり委員会発足当時の役員の方々は、「地域住民によるまちづくり」を真摯に捉え、住民運動会、とよつまつりなどを始めとし、自分たちの手でまちづくりを展開してきた。

私も5年位前からまちづくり委員会に関わってきたが、当初自分が思っていた以上に住民パワーがあることが実感できた。地域の住民活動を自分たちで進めていくことの大変さがある一方で、それ以上の楽しさがあることを知った。

今年度から事務局に市職員が加わったように、多少はまちづくり委員会も変化していくのかもしれないが、自分たちの事を自分たちでやるといった根本は変えず、今後もまちづくり委員会が発展していく事を望んでやまない。

英夫

10周年記念誌の編集に関わり、とよつだよりを顧みて、毎年の事業やお知らせ等々が思い伝わってきます。豊津だからこそできる事業、なかでも、地域の交流の場であるとよつふれあい運動会は、小学校の子どもたちの元気な姿、応援の姿、おじいさんやおばあさんの笑顔など、家族で楽しんでいる微笑ましい様子が浮かんできます。この様な豊津地区には、昨今、言われている無縁社会（家族、地域、会社などにおける人との絆が薄れ、孤立する人が増えている社会）とは、縁のないことと思います。そして、地域の特色を活かしたふれあい運動会が、永く続くことを願っています。私自身、これからも、地域活動にできる限り協力し、参加して行きたいと考えているこの頃です。

正治

豊津地区に嫁ぎ、30数年が過ぎました。振り返ってみますと二人の子供を授かり、この地区でなければ体験できなかったであろういろんな行事を通し、豊津小学校・まちづくりセンター・地域の方々にお世話になり、親子共々育てて頂きました事に感謝いたしております。

また、10周年記念誌作成にあたり広報記録専門部に席がある事で関わらせて頂きありがとうございました。

正子

地区の皆さんの支えにより、まちづくり委員会のスポーツ健康づくり専門部に携われたことに心から感謝申し上げます。

また、スポーツ健康づくり専門部を代表する、山町部長の人柄（キャラクター）は、学校と地区がつくる「ふれあい運動会」において、子ども達と住民の関係をつなぐ大きな役割を果たしています。これからも、山町部長には、ご活躍を心から願っています。

さて、私達専門部は子どもから高齢者までが、身体を動かすことへの関心と健康への意識を持って日々の暮らしの中に運動を身につけることを強く意識してきました。私も、この数年来、主に夜間になります、産業道路の歩道を歩いています。時には星を眺めながら、時には歌いながら、時には愚痴をこぼしながら、時には自転車とすれ違いながら、往復5キロの道のりを1時間掛けて歩きます。でも、たまには雨が降るとほっとします。これって本音です。歩いていると腹痛を起こすこともあります。その時は、ネオン輝くパチンコ店をお借りします。助かります。これは、歩くことで腸に刺激が加わるからだと思います。歩くことは、二足歩行が始まった人類の原点だと思います。このように、色々な事を考えたり思い起こしたりする時間を作るには、歩きが一番です。

豊津地区は、北浦（鰐川）の堤防に沿って歩くのが一番です。春は緑のジュウタン、秋には黄金色に実った稲穂、湖面を彩る夕焼け、冬の澄んだ空気の中に雪をかぶった世界遺産の富士山、湖面に浮かぶ朱色の一の鳥居、9月2日には12年毎の御船祭、夏の湖上を照らす花火大会。これほど色彩豊かで、その時々景色が広がる地区はありません。四季折々の自然豊かな処を自分の意思で歩ける喜びを味わえるのは、最高だと思います。堤防に咲く、桜、タンポポ、アザミ、水仙の花々。皆さんも、外に出てみてください。そこには、これまでと違った豊津が広がるでしょう。

先日、何十年振りかで筑波山に登りました。日頃の一步が、活かされました。皆さんも是非「先ずは一步」お試し有れ。

悟

まちづくりになる前の最後の市職員として、田川館長と4年間、移行に向けた公民館活動を行い、その後は広報委員として参加してきました。当時、体育祭等は地区の悩みであった少子・高齢化等で参加減少していた16町内を6地区対抗に変更したこと、地区体育祭を小学校との合同に向けて試験的に開催した事を思い出します。

公民館業務が初めは不慣れでしたが、地区の皆さんのご協力で好きなように企画・立案できましたことは、本当に幸せでした。今後とも「とよつまちづくり」の活躍をご祈念するとともに、微力ながら参加・協力して行きたいと思います。

善久

豊津まちづくり委員として「10周年記念誌」作成に携わらせて頂きまして、感謝しています。私が、委員になってからの当初の頃から現在を思い返しますと、豊津まちづくりの活動は、とても活発に思います。地域ぐるみで行事が行われ、いろいろな皆さんの老若男女の方々の協力により、地域の歴史が作られてきているとつくづく感じています。幼い頃参加した子どもが大きくなり、まちづくり活動に参加するなど、とても親子共々地域に育ててもらったと感じています。これからも未来のある豊津まちづくり活動に協力できたらと思っています。

典子

このたび「豊津のあゆみ」10周年の記念誌が発刊の運びとなりました。

これもひとえに、皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。長きに渡り地域づくり、まちづくりにご尽力くださった多くの豊津の人々、また、職員の方々に深く御礼申し上げます。原稿をお寄せくださった皆様、編集委員の方々、ご苦労様でした。

広子

10周年記念誌発行おめでとうございます。

微力ですが、これからも地域の皆さんの協力を得ながら豊津地区にそくした魅力あるまちづくり事業を目指していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ゆき

この3月に定年を迎え、再任用の赴任先が豊津まちづくりセンターと告げられた時は、何か運命的なものを感じました。平成16年4月にまちづくり市民センターに異動になり、最初の担当になったのが豊津まちづくりセンターで、自分の入る隙間が無いくらい、市民協働の運営が出来ている先進的な地域でした。

平成16年度から始まった、地域管理型のまちづくりセンターも10年の節目を迎え、その総括として、まちづくり委員会で「豊津10年のあゆみ」を作成することになり、自分がその事務局になろうとは、考えもしませんでした。

「とよつだより」を何回も見ていて感じたことは、この豊津地区は鹿嶋でも先進的な取り組みをしていることが良くわかります。ひとえにこのことは、地区まちづくり委員・センター職員はじめ地区住民の皆様のご尽力とご協力の賜物と敬意を表す次第です。

最後に、この仕事に携わったことに何か運命的なことを感じるとともに、これまで豊津地区まちづくり事業に関わってきた多くの人々に敬意と感謝を申し上げます。

毅



君和田

浜田

藤枝

桐生

大川

坂本

君和田

黒須

和田

飯島

高安

君和田

郡司



挿絵提供
藤枝 泰一郎 氏

豊津地区まちづくり委員会10周年記念誌編集委員名簿

委員長	飯島 亘隆 (まちづくり委員長)
副委員長	和田 勉 (まちづくり副委員長) 桐生 進一 (広報記録部長)
委員	藤枝 英夫 (広報記録副部長) 坂本 昌己 (地域環境副部長)
委員	君和田 正治 (文化福祉副部長) 大川 悟 (スポーツ健康づくり副部長)
委員	君和田 正子・浜田 善久・郡司 典子 (広報記録専門部)
事務局	高安 広子 (センター長)・君和田 毅・黒須 ゆき (センター職員)

平成26年10月 豊津地区まちづくり委員会発行